第1192号 本文

官報

昭和五年十二月十七日
第千百九十二號 水曜日

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

勅令

朕大藏省官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和五年十二月十六日
内閣總理大臣臨時代理
外務大臣 男爵 幣原喜重郎
大藏大臣 井上準之助

勅令第二百三十八號
大藏省官制中左ノ通改正ス
第六條ノ五中「事務官九人」ヲ「事務官十一人」ニ改ム
第九條中「屬八百六十八人」ヲ「屬八百七十二人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕東京帝國大學官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和五年十二月十六日
内閣總理大臣臨時代理
外務大臣 男爵 幣原喜重郎
文部大臣 田中隆三

勅令第二百三十九號
東京帝國大學官制中左ノ通改正ス
第二條ノ二中「教授ハ專任二百三十一人」ヲ「教授ハ專任二百三十二人」ニ改ム
第二條ノ三中「助教授ハ專任百五十九人」ヲ「助教授ハ專任百六十一人」ニ改ム
第四條ノ三中「助手ハ專任二百九十四人」ヲ「助手ハ專任二百九十六人」ニ改ム
第五條中「書記ハ專任七十三人」ヲ「書記ハ專任七十四人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕大正八年勅令第十四號東京帝國大學各學部ニ於ケル講座ニ關スル件中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和五年十二月十六日
内閣總理大臣臨時代理
外務大臣 男爵 幣原喜重郎
文部大臣 田中隆三

勅令第二百四十號
大正八年勅令第十四號中左ノ通改正ス
經濟學部ノ部中「社會政策 一講座」ノ次ニ「經濟史 一講座」ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕九州帝國大學官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和五年十二月十六日
内閣總理大臣臨時代理
外務大臣 男爵 幣原喜重郎
文部大臣 田中隆三

勅令第二百四十一號
九州帝國大學官制中左ノ通改正ス
第二條ノ三中「助教授ハ專任八十九人」ヲ「助教授ハ專任九十人」ニ改ム
第五條中「書記ハ專任三十六人」ヲ「書記ハ專任三十七人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕官立商業大學官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和五年十二月十六日
内閣總理大臣臨時代理
外務大臣 男爵 幣原喜重郎
文部大臣 田中隆三

勅令第二百四十二號
官立商業大學官制中左ノ通改正ス
別表東京商科大學ノ項中助教授ノ欄「八人」ヲ「十人」ニ、助手ノ欄「七人」ヲ「十人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

制令

學校組合令中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

昭和五年十二月一日
朝鮮總督 子爵 齋藤實

制令第十四號
學校組合令中左ノ通改正ス
第二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ府ノ區域ハ之ヲ學校組合ノ區域ト爲スコトヲ得ズ

本文

第四條ノ二　學校組合ノ區域ノ全部ガ府ノ區域ト爲リタルトキハ其ノ學校組合ハ消滅ス

學校組合ノ區域ノ一部ガ府ノ區域ト爲リタルトキハ其ノ區域ハ學校組合ノ區域ヨリ離脱ス

學校組合ノ區域ノ大部分ガ府ノ區域ト爲リタル爲學校組合ヲ存續セシムルコト不適當ナリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ學校組合會ノ意見ヲ徴シ其ノ學校組合ヲ廢止スルコトヲ得

第四條ノ三　前條第一項ノ場合又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ學校組合ヲ廢止シタル場合ニ於テハ學校組合ノ事務及財產ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府之ヲ承繼ス

前條第二項ノ場合ニ於テ處分ヲ要スル財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル學校組合會及府ノ敎育部會ノ意見ヲ徴シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ道知事之ヲ定ム

第四條ノ四　學校組合ノ分合、消滅又ハ區域變更ノ場合ニ於テ學校組合ノ事務ニ關シ必要ナル事項ハ本令ニ規定スルモノノ外朝鮮總督之ヲ定ム

第七條第二項第七號中「使用料」ヲ「使用料、手數料」ニ改ム

第七條ノ二　學校組合會ハ學校組合ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡守、島司其ノ他ノ關係官廳ニ提出スルコトヲ得

第七條ノ三　學校組合會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

學校組合會ノ意見ヲ徴シテ處分ヲ爲スベキ場合ニ於テ學校組合會成立セズ、招集ニ應ゼズ若ハ意見ヲ答申セズ又ハ學校組合會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ當該官廳ハ其ノ意見ヲ俟タズシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第九條中「及組合會議員ノ選擧」ヲ「竝ニ組合會議員ノ選擧及其ノ取締」ニ改ム

第九條ノ二　特別ノ事情アル組合ニ於テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ總會ヲ以テ組合會ニ代フルコトヲ得

組合員ノ總會ニ關シテハ組合會ニ關スル本令ノ規定ヲ準用ス

第十條第二項中「道長官」ヲ「道知事」ニ、「三年」ヲ「四年」ニ改メ同條第四項ヲ削ル

第十二條　組合會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ郡守若ハ島司ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ管理者ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル組合會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認ムルトキハ管理者ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スベシ

第十二條ノ二　組合會ノ議決明ニ公益ヲ害シ又ハ組合ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ郡守若ハ島司ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ管理者ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ直ニ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル組合會ノ議決仍明ニ公益ヲ害シ又ハ組合ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ管理者ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消スコトヲ得但シ前項ノ規定ニ依リ更ニ再議ニ付スルコトヲ妨ゲズ

第十二條ノ三　組合會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ管理者ハ道知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得前二條ノ規定ニ依リ組合會ノ議決ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第十二條ノ四　組合會ニ於テ議決スベキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セザルトキ又ハ管理者ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ管理者ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

第十二條ノ五　前二條ノ規定ニ依ル處分ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スベシ

第十五條　削除

第十六條中「道長官」ヲ「道知事」ニ改ム

第十七條中「道長官」ヲ「道知事」ニ改ム

第二十條ニ左ノ一項ヲ加フ

組合ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第二十三條中「當該官吏吏員」ヲ「當該管理者又ハ吏員」ニ改ム

第二十五條中「組合費及使用料」ヲ「組合費、使用料及手數料」ニ改ム

第二十六條中「地方費」ヲ「道」ニ改ム

第三十一條第一項中「郡守」ヲ「郡守又ハ島司」ニ、「道長官」ヲ「道知事」ニ改メ同項但書ヲ削ル

第三十三條中「道長官」ヲ「道知事」ニ、「使用料」ヲ「使用料、手數料」ニ改ム

第三十六條中「道長官」ヲ「道知事」ニ改ム

附　則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十六條ノ改正規定ハ道制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル學校組合ニシテ府ノ區域ヲ包含スルモノハ之ヲ廢止ス

前項ノ學校組合ノ事務及財產ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府之ヲ承繼ス

本令施行ノ際現ニ學校組合ノ管理者ノ職ニ在ル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ際必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

（參照）

大正二年（十月三十日）制令第八號學校組合令抄錄

第二條第一項

學校組合ヲ設置セムトスルトキハ發起人ハ區域ヲ定メ組合規約ヲ作リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第七條第二項

組合會ノ議決スヘキ事件ノ槪目左ノ如シ

七　法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料組合費及夫役現品竝其ノ賦課徴收ニ關スル事

第九條　前四條ニ定ムルモノヲ除クノ外組合會及組合會議員ノ選擧ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十條第二項及第四項

管理者ハ組合員中ヨリ道長官之ヲ命ス其ノ任期ハ三年トス

府ノ區域ヲ包含スル學校組合ニ在リテハ府尹其ノ管理者ノ職務ヲ行フ

第十二條　組合會ノ議決其ノ權限ヲ超エ、法令若ハ組合規約ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ管理者ハ道長官ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決ヲ取消シ其ノ事件ヲ處理スルコトヲ得

組合會成立セサルトキ、會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ管理者ハ道長官ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處理スルコトヲ得

第十五條　管理者ノ職務ヲ行フ府尹ハ府ノ官吏ヲシテ學校組合ノ行政ニ關スル事務ニ從事セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ職務關係ハ國ノ行政ニ關スル職務關係ノ例ニ依ル

第十六條第三項

費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經テ道長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十七條　有給ノ管理者及吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經テ道長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ム

第二十三條　組合費ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該官吏吏員ハ組合員ノ家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　組合費及使用料ノ賦課徴收ニ關スル事項ニ付テハ組合規約中ニ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第二十六條　組合費其ノ他組合ニ屬スル徴收金ハ地方費ノ徴收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徴、還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第三十一條第一項

組合ハ第一次ニ於テ郡守之ヲ監督シ第二次ニ於テ道長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ朝鮮總督之ヲ監督ス但シ府尹管理者ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ第一次ニ於テ道長官之ヲ監督シ第二次ニ於テ朝鮮總督之ヲ監督ス

第三十三條　左ニ揭クル事件ハ道長官ノ許可ヲ受クヘシ

五　使用料、組合費及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事

第三十六條　道長官ハ組合管理者ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

訓　令

◎南洋廳訓令第三十三號

南洋廳及所屬官署

南洋廳減額旅費規則中左ノ通改正ス

昭和五年十月十八日

南洋廳長官　横田　鄕助

第六條第二項ヲ左ノ如ク改ム

他ノ用務ニ依リ出張ヲ命セラレ旅費ノ支給ヲ受クルトキハ其ノ間ノ日數ヲ除キ日割ヲ以テ月額旅費ヲ支給ス病氣又ハ私事ノ故障ニ依リ缺勤引續十日ヲ超ユルトキ其ノ超過日數ニ付亦同シ

附　則

本令ハ昭和五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎南洋廳訓令第三十四號

郵便局

外國郵便爲替取扱手續ハ之ヲ廢止ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十一月一日

南洋廳長官　横田　鄕助

告　示

◎文部省告示第二百四十號

東京高等蠶絲學校ニ於テ開設スヘキ蠶絲業經營講習會ノ要項左ノ如シ

昭和五年十二月十七日

文部大臣　田中　隆三

一、會期　自昭和六年二月二十四日至三月五日十日間

一、場所　東京高等蠶絲學校

一、題目及講師

蠶絲業敎育ノ趨勢	文部省實業學務局長	木村　正義
蠶絲業政策	農林省蠶絲局長	小平　權一
蠶絲業ノ將來	農林省蠶絲局蠶業課長	明石　弘
乾繭倉庫	農林省蠶絲局繭絲課長	原　辰二
蠶絲業金融	橫濱正金銀行頭取	兒玉　謙次
協同組合論	東京帝國大學敎授農學博士	那須　皓
產業ノ合理化	慶應義塾大學敎授	向井　鹿松
工場管理一班	文部省囑託	佐藤　富治
蠶絲業ノ合理化	東京高等蠶絲學校敎授	鈴木　美雄
蠶絲業統計	東京高等蠶絲學校敎授	福本　福三
繭絲市場統制論	東京高等蠶絲學校敎授	石川　隆一郎
產業能率批判	東京高等蠶絲學校助敎授	島田　嘉吉
製絲能率論	東京高等蠶絲學校助敎授	中川　房吉
繭及生絲ノ原價計算	東京高等蠶絲學校講師	小林　行昌

一、講習員資格

蠶絲業敎育ニ從事スル者、蠶絲業技術者、蠶絲業ニ關スル實務ニ從事スル者

一、講習員ハ講習科目ノ全部ヲ履修スルコトヲ要ス

一、講習員ハ前記ノ資格ヲ有スル者ニ就キ地方長官之ヲ選定ス

一、地方長官講習員ヲ選定シタルトキハ本人ノ職氏名ヲ記載シタル選定書ヲ昭和六年二月二十日迄ニ東京高等蠶絲學校ヘ差出スヘシ

一、講習員ハ開會前日迄ニ會場ニ出頭シ宿所職氏名ヲ屆出テ且講習ニ關スル心得等承合スヘシ

一、講習員ニハ聽講日數ヲ考査シ證明書ヲ授與ス

◎農林省告示第五百五十九號

昭和三年七月十日左記專用漁業權ノ拋棄アリタリ

昭和五年十二月十七日

農林大臣　町田　忠治

免許番號　第七三三二號
漁業權者　靜岡縣榛原郡吉田村吉田　代表者
　吉田漁業組合
漁場ノ位置　靜岡縣榛原郡吉田村吉田及川崎
　町細江ノ地先

◎農林省告示第五百六十號

狩獵法第一條第三項ニ依リ左ノ通鳥類ノ捕獲ヲ禁止ス

昭和五年十二月十七日

農林大臣　町田　忠治

一、やまどり
一、禁止ノ區域　愛媛縣西宇和郡伊方村、町見村、三机村、四ツ濱村、神松名村及三崎村一圓
一、禁止ノ期間　自昭和五年十二月二十七日
　至昭和八年十月三十一日

◎遞信省告示第二千八百六十五號

昭和五年十二月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

昭和五年十二月十七日

遞信大臣　小泉又次郎

名　稱	位　置
布土郵便局	愛知縣知多郡河和町

◎遞信省告示第二千八百六十六號

昭和三年（十一月）遞信省告示第二千五百十八號林義則施設私設無線電信無線電話ノ機器裝置場所ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和五年十二月十七日

遞信大臣　小泉又次郎

機器裝置場所　仙臺市北五番町一九七番地ノ四

◎遞信省告示第二千八百六十七號

昭和五年（十月）遞信省告示第二千三百九十五號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中左ノ通改正ス

亞米利加地方ノ部「キュバ」共和國ノ項ニ左ノ通加フ

四　隱語ヲ以テ記載シタル電報ハ使用隱語書名ヲ局用記事トシテ附記傳送スル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

五　電報ハ檢査ニ附セラル

昭和五年十二月十七日

遞信大臣　小泉又次郎

◎遞信省告示第二千八百六十八號

昭和五年十二月十日ヨリ大正十四年（九月）遞信省告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所名等中「札幌丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

第 1192 号 本文

昭和五年十二月十七日　遞信大臣　小泉又次郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
神奈川縣相模丸託送（神奈川縣相模丸）	JFUC	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第二千八百六十九號

昭和五年十一月二十五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所名等中「勝浦丸託送」ノ項ヲ削除ス

昭和五年十二月十七日　遞信大臣　小泉又次郎

◎遞信省告示第二千八百七十號

本日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置シ無線電報ニ限リ之ヲ取扱フ

昭和五年十二月十七日　遞信大臣　小泉又次郎

名稱	位置	定繫港
關西丸無線電信取扱所	岸本汽船株式會社所屬汽船關西丸	大阪

◎遞信省告示第二千八百七十一號

本日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所名等中「勝浦丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和五年十二月十七日　遞信大臣　小泉又次郎

局名	呼出符號
關西丸	JJOC

◎鐵道省告示第三百五十四號

昭和五年十二月二十日ヨリ岡崎多治見間及瀨戸記念橋高藏寺間ニ於テ左ノ各號ニ依リ自動車ニ由ル運輸營業ヲ開始ス

昭和五年十二月十七日　鐵道大臣　江木翼

一、停車場及粁程

停車場名	所在地
岡多線	
岡崎	（東海道本線既設停車場）
紡績前	岡崎市戸崎町
明大寺	同市明大寺町
岡崎康生町	同市康生町
岡崎本町	同市本町
神明社前	同市能見町
伊賀八幡	同市伊賀町
井田町	同市井田町
大樹寺前	愛知縣額田郡岩津町大字大樹寺
三河岩津	同縣同郡同町大字岩津
天神橋	同縣碧海郡上鄕村大字川端
下渡刈	同縣同郡同村大字渡刈
上渡刈	同縣同郡同村同大字
下市場	同縣西加茂郡擧母町大字下市場
樹木	同縣同郡同町大字擧母
擧母西町	同縣同郡同町同大字
擧母昭和町	同縣同郡同町同大字
擧母北口	同縣同郡同町同大字
擧母梅ヶ坪	同縣同郡同町大字梅ヶ坪
上原	同縣同郡猿投村大字四鄕
四鄕	同縣同郡同村同大字
下伊保	同縣同郡保見村大字下伊保
殿貝津	同縣同郡同村大字殿貝津
伊保堂	同縣同郡同村大字伊保堂
上伊保	同縣同郡同村大字上伊保
保見篠原	同縣同郡同村大字篠原
保見大畑	同縣同郡同村大字大畑
八草	同縣同郡同村大字八草
南山口	同縣愛知郡幡山村大字山口
北山口	同縣同郡同村同大字
殿川町	瀨戸市大字瀨戸
瀨戸記念橋	同市同大字
瀨戸公園	同市同大字
品野口	愛知縣東春日井郡品野町大字下品野
品野坂上	同縣同郡同町同大字
品野本町	同縣同郡同町同大字
品野	同縣同郡同町同大字
上半田川口	同縣同郡同町大字中品野
下半田川	同縣同郡同町大字下半田川
市之倉	岐阜縣土岐郡市之倉村
笠原口	同縣同郡多治見町
下ノ町	同縣同郡同町
多治見昭和橋	同縣同郡同町
多治見	（中央本線既設停車場）
高藏寺線	
瀨戸記念橋	（前掲停車場）
瀨戸電前	瀨戸市大字瀨戸
瀨戸京町	同市同大字
中水野	愛知縣東春日井郡水野村大字中水野
東谷山前	同縣同郡同村大字十軒家
十軒家	同縣同郡同村同大字
鹿乘橋	同縣同郡高藏寺町大字高藏寺
高藏寺本町	同縣同郡同町同大字
高藏寺	（中央本線既設停車場）

	粁程
岡崎紡績前間	一粁七分
紡績前明大寺間	一粁七分
明大寺岡崎康生町間	零粁六分
岡崎康生町岡崎本町間	零粁五分
岡崎本町神明社前間	零粁六分
神明社前伊賀八幡間	零粁四分
伊賀八幡井田町間	零粁七分
井田町大樹寺前間	零粁四分
大樹寺前三河岩津間	二粁四分
三河岩津天神橋間	零粁九分
天神橋下渡刈間	一粁六分
下渡刈上渡刈間	一粁五分
上渡刈下市場間	四粁二分
下市場樹木間	一粁三分
樹木擧母西町間	一粁一分
擧母西町擧母昭和町間	零粁三分
擧母昭和町擧母北口間	零粁六分
擧母北口擧母梅ヶ坪間	一粁二分
擧母梅ヶ坪上原間	一粁九分
上原四鄕間	零粁八分
四鄕下伊保間	一粁五分
下伊保殿貝津間	一粁一分
殿貝津伊保堂間	零粁六分
伊保堂上伊保間	一粁一分
上伊保保見篠原間	一粁六分
保見篠原保見大畑間	一粁八分
保見大畑八草間	一粁四分
八草南山口間	二粁四分
南山口北山口間	一粁零分
北山口殿川町間	二粁八分
殿川町瀨戸記念橋間	零粁四分
瀨戸記念橋瀨戸公園間	零粁九分
瀨戸公園品野口間	一粁五分
品野口品野坂上間	零粁九分
品野坂上品野本町間	零粁七分
品野本町品野間	零粁二分
品野上半田川口間	二粁六分
上半田川口下半田川間	三粁四分
下半田川市之倉間	二粁一分
市之倉笠原口間	二粁七分
笠原口下ノ町間	零粁四分
下ノ町多治見昭和橋間	零粁九分
多治見昭和橋多治見間	零粁七分
瀨戸記念橋瀨戸電前間	零粁五分
瀨戸電前瀨戸京町間	零粁九分
瀨戸京町中水野間	三粁二分
中水野東谷山前間	零粁八分
東谷山前十軒家間	零粁四分
十軒家鹿乘橋間	一粁六分
鹿乘橋高藏寺本町間	一粁一分
高藏寺本町高藏寺間	零粁二分

二、前號ノ停車場中岡崎、岡崎康生町、擧母昭和町、瀨戸記念橋、品野、多治見及高藏寺ノ各停車場ニ於テハ一般運輸營業ヲ、三河岩津、市之倉及中水野ノ各停車場ニ於テハ旅客、小荷物及貨物ヲ、其ノ他ノ各停車場ニ於テハ旅客ニ限リ取扱ヲ爲ス

岡崎、岡崎康生町、擧母昭和町、瀨戸記念橋、品野、多治見及高藏寺以外ノ各停車場ヨリ乘車スル旅客ニ對シテハ第一號ノ自動車線內普通乘車券ニ限リ發賣ヲ爲ス

三、自動車線內ニ於テハ團體旅客ノ取扱ヲ爲サス

四、自動車線ヲ經由シ東海道線方面ト中央線方面トノ相互間ニ發著スル貨物ハ之カ取扱ヲ爲サス

五、手荷物、小荷物、旅客附隨小荷物及貨物ノ運賃計算ノ場合ハ左ノ粁程ニ依ル

岡崎	岡崎康生町間	十二粁零分
岡崎康生町	三河岩津間	十五粁零分
三河岩津	擧母昭和町間	三十二粁七分
擧母昭和町	瀨戸記念橋間	六十粁六分
瀨戸記念橋	品野間	十二粁六分
品野	市之倉間	二十四粁三分
市之倉	多治見間	十四粁一分
瀨戸記念橋	中水野間	十三粁八分
中水野	高藏寺間	十二粁三分

◎鐵道省告示第三百五十五號

大正九年十一月鐵道省告示第九十九號國有鐵道旅客及荷物運送規則中左ノ通改正シ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十二月十七日　鐵道大臣　江木翼

第九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ規定ハ自動車區間ニ於テハ之ヲ適用セス、鐵道ト航路又ハ自動車ト連絡ノ場合ニ於テハ鐵道ノミノ粁程ニ依リ途中下車回數ヲ定ム

第十七條第二項中「航路」ノ次ニ「又ハ自動車」ヲ加フ

第二十五條ノ二　岡崎多治見、瀨戸高藏寺間ノ各驛間ニ於ケル自動車ノ三等普通旅客運賃ハ左ノ如シ（別表第一號）

第二十七條「（別表第一號）」ヲ「（別表第二號）」ニ改ム

第二十九條中「職工定期乘車券」ノ次ニ左ノ如ク加フ

自動車定期乘車券　三等

第三十條中「及學生定期乘車券」ヲ「、學生定期乘車券及自動車定期乘車券」ニ改ム

第三十一條中「常時乘用トシテ」及「通學用トシテ」ノ次ニ「鐵道及指定シタル航路ニ於テ」ヲ、又「通勤用トシテ」ノ次ニ「鐵道ニ於テ、自動車定期乘車券ハ一般旅客ニ對シ通勤又ハ常時乘用トシテ自動車區間ニ於テ」ヲ加ヘ、「（別表第二號）」ヲ「（別表第三號）」ニ改メ、別表末尾ニ左ノ如ク加フ

自動車定期乘車券運賃表	
一箇月	自動車普通旅客運賃ヲ六十倍シタルモノヨリ二割五分ヲ低減ス
三箇月	一箇月運賃ノ三倍
六箇月	一箇月運賃ノ六倍
十二箇月	一箇月運賃ノ十二倍

第四十五條中「（別表第三號）」ヲ「（別表第四號）」ニ改メ、同別表末尾ニ左ノ如ク加フ

自動車回數乘車券運賃表
自動車普通旅客運賃ヲ十六倍シタルモノヨリ一割五分ヲ低減ス

第二編第三章第二節表題ヲ「客車、船室及自動車」ニ改ム

第九十一條中「客車」ノ次ニ「又ハ自動車」ヲ加ヘ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ自動車貸切最低運賃ハ一發著區間毎ニ一車ニ付十五圓トス

第九十一條ノ二　自動車貸切ノ場合ニ於テ貸切申込者ノ都合ニ依リ該車輛ヲ同一驛ニ三十分以上滯留セシムルトキハ別ニ定ムル留置料金ヲ收受ス

第九十一條ノ三　自動車貸切ノ場合ニ於テ該車輛ヲ空車ニテ廻送スルトキハ其ノ全粁程ニ對シ別ニ定ムル廻送料金ヲ收受ス

第百三條第二項中「客車」ノ次ニ「、自動車」ヲ加フ

第百四條中「當該列車又ハ汽船出發地」ヲ「當該列車、汽船又ハ自動車出發地」ニ改ム

第二編第四章第七節表題及第百二十一條中「列車又ハ汽船」ヲ「列車、汽船又ハ自動車」ニ改ム

第百二十二條第一號、第二號及第三號本文中「列車又ハ汽船」ヲ「列車、汽船又ハ自動車」ニ改ム

第百二十三條及第百二十四條中「列車又ハ汽船」ヲ「列車、汽船又ハ自動車」ニ改ム

第百五十條ノ二　驛員ヲ配置セサル驛ヨリ乘車スル旅客ノ手荷物ハ著驛ニ至ル順路ノ最寄手荷物取扱驛ヨリ之ヲ運送ス

驛員ヲ配置セサル驛著旅客ノ手荷物ハ著驛ニ至ル順路ノ著驛寄手荷物取扱驛迄之ヲ運送ス

第百五十條ノ三　驛員ノ配置數僅少ナル驛ニ發著スル旅客ノ手荷物ニ付テモ亦前條ニ準シ取扱フコトアルヘシ

第百五十九條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　品名、荷造、發著區間、荷送人及荷受人ヲ同ウシ且同一列車、汽船又ハ自動車ヲ以テ同時ニ運送スルモノ（一回ニ付二箇以上二十箇以內）

第百六十二條中「其ノ重量六瓩以內ノモノ」ノ下ニ「及自動車線內發著ノモノ」ヲ加フ

第百八十七條中「第百五十一條」ノ前ニ「第百五十條ノ二、第百五十條ノ三」ヲ加フ

第三編第七章第四節中「列車又ハ汽船」ヲ「列車、汽船又ハ自動車」ニ改ム

第11192号 本文

別表第一號

岡崎・高藏寺・多治見間自動車區間旅客運賃表

驛名 運賃 驛名	○多治見	多治見昭和橋	下ノ町	笠原口	市之倉	下半田川	上半田川口	○品野	品野本町	品野坂上	品野口	瀨戸公園	○高藏寺	高藏寺本町	鹿乘橋	十軒家	東谷山前	中水野	瀨戸京町	瀨戸電前
○岡崎	1.45	1.43	1.40	1.40	1.33	1.28	1.18	1.13	1.13	1.10	1.08	1.03	1.23	1.23	1.20	1.15	1.15	1.13	1.05	1.03
○紡績前	1.40	1.38	1.35	1.35	1.28	1.23	1.15	1.08	1.08	1.05	1.03	1.00	1.20	1.18	1.15	1.13	1.10	1.08	1.00	98
明大寺	1.35	1.33	1.33	1.30	1.23	1.18	1.10	1.03	1.03	1.00	1.00	95	1.15	1.15	1.13	1.08	1.08	1.05	98	95
○岡崎康生町	1.35	1.33	1.30	1.30	1.23	1.18	1.08	1.03	1.03	1.00	98	93	1.13	1.13	1.10	1.05	1.05	1.03	95	93
岡崎本町	1.33	1.30	1.28	1.28	1.20	1.15	1.08	1.00	1.00	98	95	93	1.13	1.13	1.08	1.05	1.03	1.03	93	93
神明社前	1.30	1.30	1.28	1.25	1.20	1.15	1.05	1.00	98	98	95	90	1.10	1.10	1.08	1.03	1.03	1.00	93	90
伊賀八幡	1.30	1.28	1.25	1.25	1.18	1.13	1.05	98	98	95	93	90	1.10	1.10	1.05	1.03	1.00	1.00	90	90
井田町	1.28	1.28	1.25	1.23	1.18	1.13	1.03	98	95	95	93	88	1.08	1.08	1.05	1.00	1.00	98	90	88
大樹寺前	1.28	1.25	1.23	1.23	1.15	1.10	1.03	95	95	93	90	88	1.08	1.05	1.03	1.00	98	98	88	85
三河岩津	1.23	1.20	1.18	1.18	1.10	1.05	95	90	90	88	85	80	1.00	1.00	98	93	93	90	83	80
天神橋	1.20	1.18	1.15	1.15	1.08	1.03	93	88	88	85	83	80	98	98	95	90	90	88	80	78
下渡刈	1.15	1.13	1.10	1.10	1.03	98	90	83	83	80	78	75	95	95	90	88	85	85	75	75
上渡刈	1.13	1.10	1.08	1.08	1.00	95	85	80	80	78	75	70	90	90	88	83	83	80	73	70
下市場	1.00	1.00	98	95	90	85	75	70	68	68	65	60	80	80	78	73	73	70	63	60
樹木	98	95	93	93	85	80	73	65	65	63	60	58	78	78	73	70	68	68	58	58
擧母西町	95	93	90	90	83	78	70	63	63	60	58	55	75	73	70	68	65	65	55	53
○擧母昭和町	95	93	90	90	83	78	68	63	63	60	58	55	73	73	70	65	65	63	55	53
擧母北口	93	90	88	88	80	75	68	60	60	58	55	53	73	73	68	65	63	63	53	53
擧母梅ヶ坪	90	88	85	85	78	73	65	58	58	55	53	50	70	68	65	63	60	58	50	48
上原	85	83	80	80	73	68	60	53	53	50	48	45	65	63	60	58	55	55	45	43
四郷	83	80	80	78	70	65	58	50	50	48	48	43	63	63	60	55	55	53	45	43
下伊保	80	78	75	75	68	63	53	48	48	45	43	40	58	58	55	50	50	48	40	38
殿貝津	78	75	73	73	65	60	50	45	45	43	40	35	55	55	53	48	48	45	38	35
伊保堂	75	73	70	70	63	58	50	43	43	40	38	35	55	53	50	48	45	45	35	33
上伊保	73	70	68	68	60	55	48	40	40	38	35	33	53	50	48	45	43	40	33	30
保見篠原	68	68	65	63	58	50	43	35	35	35	33	28	48	48	45	40	40	38	30	28
保見大畑	63	63	60	58	53	48	38	33	30	30	28	23	43	43	40	35	35	33	25	23
八草	60	58	55	55	48	43	35	28	28	25	23	20	40	40	35	33	30	30	20	20
南山口	55	53	50	50	43	38	28	23	23	20	18	15	33	33	30	25	25	23	15	13
北山口	53	50	48	48	40	35	25	20	20	18	15	13	30	30	28	23	23	20	13	10
殿川町	45	43	40	40	33	28	20	13	13	10	8	5	25	23	20	18	15	13	5	5
○瀨戸記念橋	43	43	40	38	33	28	18	13	10	10	8	5	23	23	20	15	15	13	5	5
瀨戸電前	45	43	40	40	33	28	20	13	13	10	8	5	23	20	18	15	13	13	5	
瀨戸京町	48	45	43	43	35	30	23	15	15	13	10	8	20	20	15	13	10	10		
中水野	55	53	50	50	43	38	30	23	23	20	18	15	13	10	8	5	5			
東谷山前	58	55	53	53	45	40	33	25	25	23	20	18	10	10	5	5				
十軒家	58	58	55	53	48	40	33	25	25	25	23	18	8	8	5					
鹿乘橋	63	60	58	58	50	45	38	30	30	28	25	23	5	5						
高藏寺本町	65	63	60	60	53	48	40	33	33	30	28	25	5							
○高藏寺	65	63	63	60	53	48	40	33	33	30	30	25								
瀨戸公園	43	40	38	38	30	25	15	10	10	8	5									
品野口	38	35	33	33	25	20	13	5	5	5										
品野坂上	35	33	33	30	23	18	10	5	5											
品野本町	53	33	30	28	23	18	8	5												
○品野	33	33	30	28	23	15	8													
上半田川口	28	25	23	23	15	10														
下半田川	18	18	15	13	8															
市之倉	13	10	10	8																
笠原口	5	5	5																	
下ノ町	5	5																		
多治見昭和橋	5																			

○瀨戸記念橋	殿川町	北山口	南山口	八草	保見大畑	保見篠原	上伊保	伊保堂	殿貝津	下伊保	四郷	上原	擧母梅ヶ坪	擧母北口	○擧母昭和町	擧母西町	樹木	下市場	上渡刈	下渡刈	天神橋	三河岩津	大樹寺前	井田町	伊賀八幡	神明社前	岡崎本町	○岡崎康生町	明大寺	紡績前
1.03	1.00	93	90	85	83	78	73	70	68	65	63	60	55	53	50	50	48	45	33	30	25	23	18	18	15	15	13	10	10	5
98	95	90	88	80	78	73	68	65	65	63	58	55	50	48	48	45	43	40	30	25	23	20	13	13	10	10	8	8	5	
93	93	85	83	78	73	68	65	63	60	58	53	53	48	45	43	43	40	35	25	23	18	15	10	8	8	5	5	5		
93	90	83	80	75	73	68	63	60	58	55	53	50	45	43	40	40	38	35	23	20	15	13	8	8	5	5	5			
90	90	83	80	73	70	65	63	60	58	55	50	50	45	40	40	40	35	33	23	18	15	13	8	5	5	5				
88	88	80	78	73	68	65	60	58	55	53	50	48	43	40	38	38	35	33	20	18	13	10	5	5	5					
88	88	80	78	70	68	63	60	58	55	53	48	48	43	38	38	38	33	30	20	15	13	10	5	5						
85	85	78	75	70	65	63	58	55	53	50	48	45	40	38	35	35	33	28	18	15	10	8	5							
85	85	78	75	68	65	60	58	53	53	50	45	43	40	35	35	33	30	28	18	13	10	8								
80	78	70	68	63	60	55	50	48	45	43	40	38	33	30	28	28	25	23	10	8	5									
78	75	68	65	60	58	53	48	45	45	40	38	35	30	28	25	25	23	20	10	5										
73	73	65	63	55	53	48	45	43	40	38	33	33	28	23	23	23	18	15	5											
70	68	60	58	53	50	45	40	38	35	33	30	28	23	20	18	18	15	13												
58	58	50	48	43	38	35	30	28	25	23	20	18	13	10	8	8	5													
55	55	48	45	38	33	30	28	25	23	20	15	15	10	5	5	5														
53	53	45	43	35	33	28	25	20	20	18	13	10	8	5	5															
53	50	43	40	35	33	28	23	20	20	15	13	10	5	5																
50	50	43	40	33	30	25	23	20	18	15	10	10	5																	
48	45	40	38	30	28	23	18	15	15	13	8	5																		
43	43	35	33	25	23	18	15	10	10	8	5																			
40	40	33	30	25	20	15	13	10	8	5																				
38	35	28	25	20	18	13	8	5	5																					
35	33	25	23	18	15	10	5	5																						
33	33	25	23	15	13	8	5																							
30	28	23	20	13	10	5																								
25	25	18	15	10	5																									
20	20	13	10	5																										
18	18	10	5																											
13	10	5																												
10	8																													
5																														

備考……○ハ驛員配置驛ヲ示ス

◉鐵道省告示第三百五十六號

昭和五年三月鐵道省告示第百四十六號公務ヲ以テ旅行スル陸海軍軍人、軍屬其ノ他ニ對スル運賃割引方第三號中「（航路ヲ含ム）」ヲ「（自動車及航路ヲ含ム）」ニ改メ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十二月十七日

鐵道大臣　江木　翼

◉鐵道省告示第三百五十七號

自動車線貨物運送規則左ノ通定ム

昭和五年十二月十七日

鐵道大臣　江木　翼

自動車線貨物運送規則

第一條　省所管ノ自動車線ニ於ケル貨物ノ運送ニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除キ本規則ニ依ル

自動車線ト省所管ノ鐵道又ハ航路（以下單ニ鐵道ト稱ス）ト通シ運送（以下單ニ通シ運送ト稱ス）スル場合鐵道ニ於ケル運送ニ付テハ特ニ定アル場合ヲ除キ貨物運送規則ニ依ル

第二條　左ニ掲グル貨物ハ運送ノ引受ヲ爲サズ

一　一箇ノ高二・四二米、幅一・七五米又ハ重量二千瓩ヲ超ユルモノ
二　特種貴重品、甲種ノ火藥類竝小口扱ニ對シ等級ノ定ナキモノ
三　運送ニ付特殊ノ管理ヲ要スルモノ

第三條　左ニ掲グル貨物ハ省ニ於テ特ニ承諾シタル場合ニ限リ運送ノ引受ヲ爲ス

一　一箇ノ長四・〇〇米又ハ重量千五百瓩ヲ超ユルモノ及通シ運送スル貨物ニシテ一箇ノ重量及容積ガ貨物運送規則第五十九條第一號乃至第六號ノ制限ヲ超ユルモノ
二　水ニ容レタル活魚竝汚穢品
三　自動車線ニ於ケル運送時刻ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ
四　鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル貨物ニシテ鐵道ニ於ケル運送列車又ハ連絡船ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ
五　運送經路ヲ荷送人ニ於テ指定スルモノ
六　通シ運送スル貨物ニシテ鐵道ヲ臨時列車ニ依リ運送ノ請求アルモノ

第四條　貨物ノ扱種別ハ小口扱及車扱トス

第五條　前條ノ扱種別ハ荷送人ノ選擇ニ依リ之ヲ定ム但シ貨物運送規則第四條第二號（鐵道ヲ特別小口扱トシテ通シ運送スル場合ハ同條第一號）ニ掲グル貨物ハ小口扱ニ依ルコトヲ得ズ

通シ運送スル場合ノ扱種別ハ自動車線ニ於ケルモノト鐵道ニ於ケルモノト各相異ルコトヲ妨ゲズ

第六條　一口ト爲シ得ベキ貨物ノ制限ニ付テハ貨物運送規則第五條第一號及第二號ノ例ニ依ル但シ鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル場合ハ八廰—十廰又ハ十三廰—十五廰ノ貨車一車ニ積載シ得ル數量ノモノタルコトヲ要ス

第七條　貨物ノ引渡期間ハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

通シ運送スル場合ノ引渡期間ハ自動車線ト鐵道トヲ通算（鐵道ノ特別小口扱ニ連絡スルトキハ全區間ヲ通ジ特別小口扱ノ引渡期間ニ依ル）シ鐵道ノ例ニ依リ之ヲ算出ス

第十二條ニ依リ一口ノ貨物ヲ分割シテ引受ケタル場合ノ引渡期間ハ最後ノ引受ノ時ヨリ之ヲ起算ス

輸送期間ハ營業粁程ニ依リ之ヲ計算ス

第八條　荷送人ハ左ニ掲グル場合ニ限リ貨物託送ノ際一口毎ニ運送狀ヲ提出スルモノトス

一　引換證ヲ請求スル場合
二　代金引換ノ取扱ヲ請求スル場合
三　要償額ヲ表示スル場合

通シ運送スル場合ハ鐵道ヲ貨切扱トスルモノニ限リ運送狀ヲ提出スルモノトス

運送狀ヲ要セザル貨物ノ受託方及運送狀ノ樣式ニ付テハ鐵道ノ例ニ依ル

第九條　貨物ノ荷造及容器ニ付テハ鐵道ノ例ニ依ル此ノ場合車扱貨物ニ付テハ自動車線內ノミヲ運送スルモノ及鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スルモノニ限リ鐵道ニ於ケル貨切扱貨物ノ例ニ依ル

第十條　貨物ノ荷札（又ハ之ニ代ルベキ表示、以下同ジ）ニ付テハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル但シ自動車線內發著ノモノニ限リ其ノ枚數ハ各扱トモ貨物ノ一端ニ一枚トシ、又車扱貨物ニ對シテハ集貨付ノ場合ト雖配達付ニシテ且集配作業ニ支障ナシト認ムルトキヲ除キ貨主ニ於テ之ヲ附スベキモノトス

第十一條　荷送人ヨリ秤量ノ委託又ハ繼送通知ノ請求アルトキハ鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル場合ニシテ秤量驛又ハ繼送驛ガ鐵道線內ナルトキニ限リ鐵道ノ例ニ依リ之ニ應ズ

第十二條　一口ノ貨物ガ自動車ニ積付クベキ狀態ニ於テ長二・五三米、幅一・七五米若ハ高二・四二米又ハ重量千五百瓩ヲ超ユルトキハ運送ノ都度分割シテ貨物ノ引受ヲ爲シ又ハ引取ヲ求ムルコトアルベシ

第十三條　貨物ノ積込及取卸ハ各扱トモ省ノ負擔トス但シ左ニ掲グル貨物ニ在リテハ事宜ニ依リ貨主ノ負擔（通シ運送ノ場合連絡驛ニ於ケル自動車積卸ヲ除ク）トスルコトアルベシ

一　一箇ノ重量三百瓩又ハ容積一立方米ヲ超ユルモノ
二　バラ積ノモノ

第十四條　鐵道ヲ貨切扱トシテ通シ運送スル場合自動車線ト鐵道トノ連絡驛ニ於ケル貨物ノ積込又ハ取卸竝貨車ノ施封又ハ開封ハ省ニ於テ之ヲ爲ス

前項ノ場合貨物ノ貨車積込又ハ取卸作業ニ對シテハ實重量一廰迄毎ニ金二十五錢ノ積換料ヲ收受ス

第十五條　貨物ノ種類性質等ニ依リ鎖錠保護又ハ雨浸ヲ避クル等ノ必要アルモノト雖自動車線ニ在リテハ無蓋自動車（必要ニ應ジ覆布使用）ニ積載運送スルコトアルベシ

第十六條　貨物ハ引換證付ノモノヲ除キ荷受人ノ印章ニ依リ引渡ヲ爲ス

第十七條　左ニ掲グル場合ニシテ集貨先又ハ配達先ガ別ニ定ムル區域內ナルトキハ集貨及配達ノ取扱ヲ爲ス

一、小口扱

鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

二　車　扱

荷送人ヨリ特ニ驛託又ハ驛留ノ請求ナキトキ但シ引換證付ノモノハ配達ノ取扱ヲ爲サズ又集貨先又ハ配達先ガ自動車ノ通ゼザル箇所ナルトキハ前號ノ例ニ依ル

鐵道ヲ特別小口扱トシテ通シ運送スル貨物ハ自動車線ニ於テモ鐵道ノ例ニ依リ集貨及配達ノ取扱ヲ爲ス

集貨又ハ配達ニ對シテハ集貨料又ハ配達料トシテ左ニ掲グル金額ヲ收受ス但シ車扱貨物ノ中集貨先又ハ配達先ガ自動車ノ通ズル箇所ニシテ且別ニ定ムル無料區域內ナルトキ及前項ノ場合ハ之ヲ收受セズ又鐵道トノ接續驛ニ於ケル小口扱貨物ノ料金ハ鐵道ノ例ニ依ル

一　小口扱
六十瓩迄　十五錢
以上三十瓩迄ヲ増ス毎ニ　五錢

二　車　扱
イ　集貨先又ハ配達先ガ自動車ノ通ズル箇所ナルトキ

一廰迄　五十錢
以上五百瓩迄ヲ増ス毎ニ　二十錢
ロ　其ノ他
一廰迄　一圓二十錢
以上五百瓩迄ヲ増ス毎ニ　四十錢

第十八條　配達付貨物ヲ貨主ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ屆先ニ於テ引渡スコト能ハザル場合、驛留貨物ヲ荷受人ヨリ配達ノ請求アル場合及荷送人ヨリ託送ノ取消又ハ配達ノ追付ノ請求アル場合ノ取扱方ニ付テハ鐵道ニ於ケル小口扱（鐵道ヲ特別小口扱トシテ通シ運送スルモノハ特別小口扱）貨物ノ例ニ依ル但シ集貨料及配達料ニ付テハ小口扱貨物（鐵道トノ接續驛ニ於テ集貨又ハ配達スルモノヲ除ク）ハ前條第三項第一號、車扱貨物（集貨先又ハ配達先ガ無料區域內ナルトキヲ含ム）ハ同第二號ニ依ル

第十九條　貨物ノ滅失、毀損又ハ延著ニ對スル損害賠償等ニ付テハ鐵道ノ例ニ依ル但シ無蓋自動車ニ積載シタルニ因ル損害ニ付テハ省ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼズ

第二十條　貨物ノ運賃計算粁程ハ貨物營業粁程ニ依ル

通シ運送スル場合運送經路二以上アルトキハ左ニ掲グル區別ニ依リ運賃ヲ計算ス

一　運送經路ノ指定ニ應ジタルトキハ其ノ經路ニ依ル
二　前號以外ノ場合ハ運賃總額ニ於テ低廉ナル經路ニ依ル

第二十一條　小口扱貨物ノ等級ハ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

車扱貨物ノ等級ハ其ノ貨物ノ小口扱ニ於ケル等級ヨリ一級低キモノトス但シ小口扱ニ對シ特別等級ノ定アル貨物ハ小口扱ノ特別等級ニ依ル

第二十二條　貨物ノ割引賃率ハ別表ニ之ヲ掲グ

第二十三條　貨物ノ運賃ハ小口扱ハ十瓩毎、車扱ハ百瓩毎ノ計算（十瓩又ハ百瓩未滿ノ端數ハ十瓩又ハ百瓩ニ切上グ）トシ其ノ運賃計算重量ノ最低ヲ左ノ通トス

一　小口扱
鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

二　車　扱
千五百瓩但シ一口ノ容積十立方米ヲ超ユルモノヲ除ク

通シ運送スル場合ニ於ケル運賃計算重量ノ最低ハ左ノ通トス

一　鐵道ヲ特別小口扱トスルモノ
自動車線　三十瓩

二　鐵道ヲ貨切扱トスルモノ（自動車線發ニ限ル）
鐵　道　八廰又ハ十三廰但シ減廰ヲ爲シ得ルモノハ其ノ廰數ヲ控除シタル廰數

第二十四條　濶大品ノ運賃割增ニ付テハ小口扱、車扱トモ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依ル

第三條第三號ニ依リ運送時刻ノ指定ニ應ジタル場合ハ自動車線ニ於ケル運賃ニ對シ二割ノ割增ヲ爲ス

第二十五條　通シ運送スル場合ニ於ケル運賃ハ自動車線ト其ノ他ノ線トヲ各別ニ算出シテ之ヲ合算ス

第二十六條　運賃ノ最低ハ小口扱貨物ニ在リテハ火藥類ハ五十錢其ノ他ハ二十錢、車扱貨物ハ一圓五十錢トス

通シ運送スル場合ニ於ケル運賃ノ最低ハ前條ニ依リ算出シタル合算額ニ付鐵道ノ例ニ依ル但シ自動車線ト鐵道ト扱種別ヲ異ニスルトキハ其ノ多額ナルモノニ依ル

第二十七條　要償額表示料ハ通シ運送スル場合ト雖之ヲ通算スルモノトス

第二十八條　集配付貨物ハ各扱トモ鐵道ニ於ケル小口扱貨物ノ例ニ依リ運賃料金等著拂ノ取扱ヲ爲ス

通シ運送スル場合ハ鐵道ヲ特別小口扱又ハ小口扱トスルトキニ限リ鐵道ノ例ニ依リ著拂ノ取扱ヲ爲ス

第二十九條　貨物運送規則第二條、第六條、第七條、第九條、第十一條、第十六條乃至第二十三條、第三十二條、第三十三條、第四十三條乃至第四十六條、第四十九條、第五十條、第六十條、第六十一條第一項及第三項、第六十二條、第六十四條乃至第六十八條、第六十九條第三項、第七十一條乃至第七十三條、第七十四條第三項乃至第七項、第七十五條、第七十六條、第八十六條第一項、第九十條乃至第百一條、第百三條、第百五條乃至第百十條、第百十四條及第百十五條ノ規定ハ特ニ定ムル場合ヲ除キ本運送ニ之ヲ準用ス此ノ場合車扱ニ付テハ鐵道ニ於ケル廰扱ノ例ニ依ル

附　則

本規則ハ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

貨物割引賃率表

品目	發驛	著驛	扱種別	賃率	記事
乾繭	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱 車扱	一級十割增 同五割增	
陶磁器及瓶器（三級ノモノニ限ル）	省線及連帶線	省線及連帶線	小口扱 車扱	三級賃率ノ三割減 同四割減	
博覽會、共進會、品評會等ノ出品物	省線及連帶線	省線及連帶線	各扱	二割減	本賃率適用條件ハ貨物運送規則別表貨物割引賃率表ノ例ニ依ル
移住者引越荷物	省線及連帶線	內地港灣所在驛、北海道、朝鮮、滿洲、樺太內省線及連帶線各驛	小口扱	二割減	右ニ同ジ
開墾地移住者引越荷物	省線及連帶線	本土、四國、九州內省線及連帶線各驛	小口扱	二割減	右ニ同ジ

◉鐵道省告示第三百五十八號

昭和五年三月鐵道省告示第六十七號連帶運輸規則中左ノ通改正シ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十二月十七日

鐵道大臣　江木　翼

第九條　旅客ノ途中下車回數ハ乘車券通用期間ノ鐵道營業粁程ヲ通算シ旅客規則第九條ニ依リ之ヲ算定ス但シ省所管自動車線、朝鮮總督府鐵道局線、朝鮮鐵道株式會社線、南滿洲鐵道株式會社線及臺灣總督府交通局線ニ由ルモノニ在リテハ同線內ノ營業粁程ヲ控除シタルモノニ依リ算定ス

前項但書ノ場合ニ於テ省所管自動車線內ニ在リテハ途中下車ヲ爲スコトヲ得ス又朝鮮總督府鐵道局線、朝鮮鐵道株式會社線、南滿洲鐵道株式會社線及臺灣總督府交通局線ニ在リテハ同線內ハ途中下車回數ニ制限ナキモノトス

第1192号　本文

割引運賃又ハ特定運賃ニ依ル乘車券ニ對シ特ニ區間又ハ驛ヲ指定シ途中下車ヲ許サヽルモノニ在リテハ其ノ制限ニ依ル此ノ場合途中下車ヲ爲シ得ル區間ニ於ケル途中下車回數ハ第一項本文ノ規定ニ依ル

前條第二項ノ規定ハ途中下車回數算定ニ付之ヲ準用ス

第十五條第一項第一號中「省所管鐵道」ヲ「省所管鐵道(自動車線ヲ除ク)」ニ改ム

（註）[illegible]省所管ノ自動車線及航路ニ在リテハ運賃ノ低減ヲ爲サヽルモノトス

第三十一條　貨物ノ運送ハ第二項ニ定ムルモノヲ除クノ外鐵道及航路ヲ通シ貨物規則所定ト同一ノ扱種別ニ依ル

省所管自動車線、朝鮮總督府鐵道局線、朝鮮鐵道株式會社線及南滿洲鐵道株式會社線ニ由ルモノニ在リテハ各其ノ所定ノ扱種別ニ依ル

（註）一　第二項ノ省所管自動車線內ニ在リテハ小口扱及車扱ノ二種、朝鮮總督府鐵道局線及朝鮮鐵道會社線ニ在リテハ小口扱、遞扱及車扱ノ三種又南滿洲鐵道會社線ニ在リテハ小口扱及一車扱ノ二種ナルヲ以テ各其ノ何レノ扱種別トモ組合セタル取扱ヲ爲スコトヲ得ルモノトス之ヲ例示セハ左ノ如シ而シテ大連航路經由南滿洲鐵道會社線トノ連帶運輸ノ場合ハ省線ト大連航路トハ同一扱種別トシ南滿洲鐵道會社線ハ同線所定ノ扱種別ニ依リ組合セ取扱ヲ爲スモノトス

イ　鐵道線ト省自動車線トノ連帶運輸ノ場合

鐵道線	特別小口扱	小口扱	遞扱	貨切扱
省自動車線	小口扱	小口扱	車扱	車扱

ロ　省鐵道線ト朝鮮及滿洲ノ鐵道線トノ連帶運輸ノ場合

省線	特別小口扱	小口扱	遞扱	貨切扱	貨切扱
朝鮮鐵道局線	小口扱	小口扱	小口扱	遞扱	小口扱
朝鮮鐵道會社線	小口扱	小口扱	小口扱	遞扱	車扱
南滿洲鐵道會社線	小口扱	小口扱	小口扱	一車扱	小口扱

第三十二條中「朝鮮總督府鐵道局線」ヲ「省所管自動車線、朝鮮總督府鐵道局線」ニ改ム

第三十二條ノ二　省所管自動車線ノ貨物運賃ハ省自動車線貨物運送規則ニ依リ算出シ前條ノ運賃ニ之ヲ併算ス

第三十三條中「前條」ヲ「前二條」ニ改ム

第三十四條中「前二條」ヲ「前三條」ニ改ム

第四十三條中「樺太廳鐵道線」ヲ「省所管自動車線、樺太廳鐵道線」ニ改ム

第四十三條ノ二　省所管自動車線ニ發著スルモノニ對スル引渡期間ハ省自動車線貨物運送規則第七條及貨物規則第八條ニ依リ計算シタル日數トス但シ省所管自動車線ヲ小口扱又ハ車扱トシ其ノ他ヲ特別小口扱トスルモノニ在リテハ全區間ヲ通シ特別小口扱貨物ノ例ニ依ル

前項ノ場合輸送期間ハ省所管鐵道及自動車線ノ營業粁程ヲ通算シタルモノニ依リ計算ス

第四十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

省所管自動車線トノ連帶運輸ノ場合ニ於テハ省自動車線貨物運送規則第二條、第三條、第六條、第八條乃至第十九條、第二十八條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス

◎鐵道省告示第三百五十九號

大正八年五月內閣告示第六號鐵道局ノ名稱、位置及管轄區域中左ノ通改正シ昭和五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十二月十七日　鐵道大臣　江木　翼

名古屋鐵道局管轄區域欄中「信越線中直江津輕井澤間」ノ次ニ「岡崎多治見間、瀨戸記念橋高藏寺間各自動車線」ヲ加フ

◎鐵道省告示第三百六十號

山陽本線宇品停車場ニ於ケル發送小荷物ノ取扱ハ昭和五年十二月十九日限リ之ヲ廢止ス

昭和五年十二月十七日　鐵道大臣　江木　翼

敍任及辭令

◎昭和五年十一月十五日

敍從二位　正三位勳三等伯爵　陸奧　廣吉
敍正三位　從三位勳三等伯爵　松平　賴壽
正四位勳一等　湯淺　倉平
（各通）
正四位勳二等　松村　眞一郎
同　入江　貫一
敍從三位
從四位勳三等　佐々木　茂枝
（各通）
同　柴山　雄三
敍正四位
正五位勳六等　野田　菅麿
正五位　長崎　仙太郎
（各通）
正五位勳四等　高橋　昌二
正五位勳三等　砂谷　智導
正五位勳五等　有水　常次郎
敍從四位
從五位伯爵　伊達　興宗
從五位子爵　土方　雄武
從五位勳五等　立入　保太郎
從五位勳六等　佐伯　利吉
從五位勳四等　日下　亥太郎
（各通）
從五位勳六等　鈴木　七郎
同　堀　尚靖
同　竹內　可吉
從五位勳五等　寺尾　進
從五位　中谷　政一
從五位勳五等　小島　庸雄
敍正五位
正六位　名和　長正
正六位勳三等　石戸　勇三
正六位　龜井　勝太郎
同　行山　義光
正六位勳六等　合屋　武城
同　佐藤　速太
正六位　濱田　廉
同　萩庭　三壽
正六位勳六等　穗刈　信乃
正六位　大島　庄之助
正六位勳六等　木田　才次郎
正六位　福井　李一
正六位勳六等　佐藤　松治郎
正六位　長谷　訥造
同　羽曾部　千代八
正六位勳六等　加地　吉彦
正六位　吉川　祐戒
同　江原　眞伍
正六位勳六等　丸山　芳登
正六位　磯田　謙雄
（各通）
同　佐々木　圓梁
正六位勳六等　近藤　鷲
同　田中　昌穗
正六位　增井　芳男
同　田島　義雄
同　深川　友吉
同　猪股　修二郎
同　友田　宜孝
同　宗宮　尚行
同　井口　直次郎
同　山口　鎌次
正六位勳六等　大崎　正雄
正六位　中村　文平
同　富田　朋介
同　高木　耕三
同　清水　義雄
同　大國　壽吉
同　長岡　彌一郎
同　池田　謙三

同　松崎　憲司
同　笹川　恭三郎
敍從五位

◎昭和五年十二月九日

敍正五位　從五位勳五等　吉野　直治

◎昭和五年十二月十一日

敍正六位　從六位勳六等　森田　久一

◎昭和五年十二月十四日

敍正五位　從五位勳三等　神田　親太郎

◎昭和五年十二月十五日

敍正六位　從六位勳五等　關　長次郎

◎昭和五年十二月十六日

任陵墓監　宮內屬勳六等　黑澤　太郎
敍高等官七等
宮內技手正七位勳六等　吉田　喜之助
任帝室林野局技師
敍高等官八等
外務事務官正六位　水野　伊太郎
任公使館二等書記官
敍高等官四等
海軍技手陸軍輜重兵軍曹　今井　仙吉
任海軍技師
敍高等官七等
臺灣總督府醫院醫官補　藏田　恒人
任臺灣總督府醫院醫官
敍高等官七等
臺灣總督府地方警視陸軍步兵少尉從七位勳六等　富永　藤平
任臺灣總督府地方理事官
敍高等官七等
臺灣總督府廳警部從七位勳八等　田中　賢三
兼任臺灣總督府地方理事官
敍高等官七等
臺灣總督府廳警部兼臺灣總督府屬從七位勳七等　竹內　猛
任臺灣總督府地方警視
敍高等官七等
外務次官　永井　松三
中央統計委員會委員被仰付
副領事　望月　純一郎
（各通）
陸軍技師　關　長次郎
臺灣總督府醫院醫長　石島　勝郎
地方技師　前田　辰雄
依願免本官
茨城縣會議員　小島　常五郎
同　來名　佐市
（各通）
同　塚原　喜秀
同　辻　虎藏
依願都市計畫茨城地方委員會委員被免
地方農林技師　前田　辰雄
願ニ依リ本職ヲ免ス
長野縣南安曇郡豐科尋常高等小學校長　三澤　英一
長野縣埴科郡五加尋常高等小學校長　田澤　鏗時
福島縣安積郡日和田尋常高等小學校長　鈴木　常松
福島縣相馬郡大甕尋常高等小學校長　佐々木　清人
福島縣若松市若松第三尋常小學校長　原田　兼次
福島縣伊達郡保原尋常高等小學校長　田口　貢
（各通）
福島縣石城郡平第二尋常高等小學校長　佐藤　一
福島縣相馬郡中村第二尋常高等小學校長　刈宿　諭
福島縣郡山市郡山第三尋常高等小學校長　木村　一
福島縣安達郡二本松第一尋常高等小學校長　新田　藤二郎
福島縣石川郡石川尋常高等小學校長　野木　參次
福島縣若松市若松第一尋常高等小學校長　標葉　長治
奏任官ヲ以テ待遇セラル（以上十六日內閣）
從四位勳三等　佐々木　茂枝
同　柴山　雄三
（各通）
正五位勳六等　野田　菅麿
退職臺灣總督府法院判官正五位勳五等　有水　常次郎
退職判事從五位勳五等　小島　庸雄
特旨ヲ以テ位一級被進（以上十六日宮內省）
故海軍機關大佐從五位勳三等　神田　親太郎
（各通）
故副檢査官從五位勳五等　吉野　直治
故陸軍步兵少佐從六位勳六等　森田　久一
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル
年俸二千二百圓下賜　陵墓監　黑澤　太郎
畝傍山部勤務ヲ命ス
依願免本官
賜八級俸　帝室林野局技師　吉田　喜之助
依願免本官（以上十六日同）
賜一級俸（十六日外務省）　副領事　望月　純一郎
賜二級俸　公使館二等書記官　水野　伊太郎
ルーマニア國在勤ヲ命ス
ユーゴースラヴィア國兼勤ヲ命ス
副領事（倫敦）　伊藤　憲三
新嘉坡在勤ヲ命ス（以上十六日同）
五級俸下賜　地方視學官　正田　隆
岡山縣勤務ヲ命ス（十六日內務省）
軍馬補充部雄基支部部員陸軍技師　河野　岩次郎
補軍馬補充部白河支部部員（十六日陸軍省）
補常磐艦長　滿州艦長海軍大佐　難波　常三郎
名取艦長兼常磐艦長海軍大佐　三木　太市
免兼職
海軍通信學校教官兼海軍水雷學校教官海軍砲術學校教官春日教官霞ヶ浦海軍航空隊教官海軍技術會議議員海軍中佐　志摩　清英
兼補横須賀海軍航空隊教官
海軍水雷學校教官兼海軍砲術學校教官海軍潛水學校教官海軍技術會議議員海軍中佐侯爵　醍醐　忠重
兼補海軍通信學校教官
海軍砲術學校教官兼海軍水雷學校教官春日教官海軍通信學校教官海軍技術會議議員海軍工機學校教官陸軍重砲兵學校教官海軍中佐　龍崎　留吉
（各通）
春日教官兼富士教官海軍水雷學校教官海軍通信學校教官海軍少佐　石井　徹之
兼補横須賀海軍航空隊教官
横須賀海軍航空隊教官海軍少佐　蒲瀨　和足
兼補海軍砲術學校教官海軍水雷學校教官海軍通信學校教官春日教官
海軍砲術學校教官兼海軍水雷學校教官春日教官海軍少佐　田中　菊松
兼補海軍通信學校教官
海軍技術研究所所員海軍少佐　堀內　多雄
兼補海軍通信學校教官海軍技術會議議員
海軍水雷學校教官兼海軍砲術學校教官海軍技術會議議員春日教官海軍少佐　早川　幹夫
兼補横須賀海軍航空隊教官
常磐砲術長海軍少佐　是枝　操
兼補常磐分隊長
佐世保防備隊附兼分隊長海軍少佐　中津　成基
補佐世保防備隊分隊長
海軍通信學校教官兼分隊長海軍少佐　永江　正男
兼補横須賀海軍航空隊教官
海軍通信學校教官兼分隊長海軍少佐　野村　留吉
兼補海軍砲術學校教官
海軍水雷學校教官兼海軍工機學校教官海軍少佐　阿部　俊雄
免兼職
横須賀海軍航空隊飛行隊長兼教官海軍砲術學校教官海軍水雷學校教官海軍通信學校教官海軍少佐　龜井　凱夫
免兼海軍砲術學校教官海軍水雷學校教官海軍通信學校教官
呉海軍工廠砲熕部部員兼砲熕實驗部部員海軍少佐　出石　寛二
兼補海軍潛水學校教官
横須賀海軍航空隊分隊長兼教官海軍大尉　岡村　德長
兼補横須賀海軍工廠航空機實驗部部員
兼春日乘組被仰付　海軍大尉　上田　泰彥
佐世保防備隊附兼分隊長海軍大尉　高嶋　秀夫
補佐世保防備隊分隊長
海軍通信學校教官兼分隊長海軍大尉　橋本　由二
兼補横須賀海軍航空隊教官
同　廣岡　忠男
兼補海軍工機學校教官
海軍大尉　朝倉　榮松
補横須賀海兵團分隊長兼教官
海軍通信學校教官兼分隊長海軍大尉　御船　傳藏
兼補海軍水雷學校教官

第1192号　本文

第1192号 本文

海軍艦政本部出仕兼海軍航空本部技術部部員海軍大尉　山田　豐
兼海軍技術會議議員
海軍水雷學校教官兼分隊長海軍大尉　高馬　正義
兼補海軍工機學校教官
横須賀海兵團分隊長海軍大尉　近藤　新一
兼補横須賀海兵團教官
大村海軍航空隊分隊長兼佐世保海軍工廠造兵部檢査官廣海軍工廠航空機部檢査官海軍大尉　岡村　基春
免兼廣海軍工廠航空機部檢査官
大村海軍航空隊分隊長海軍大尉　佐多　直大
兼補廣海軍工廠航空機部檢査官
大和航海長兼分隊長海軍大尉　大友　文吉
免兼職
補樺乘組　滿州分隊長海軍大尉　沖原　秀也
鳳翔乘組海軍大尉　今川　福雄
補能登呂乘組
霞ヶ浦海軍航空隊附海軍大尉　中込　由正
兼補霞ヶ浦海軍航空隊教官
第一艦隊司令部附海軍中尉　橋本　逸夫
横須賀鎭守府附被仰付
榛名乘組海軍中尉　長谷川敏行
補第一艦隊司令部附
出雲乘組海軍少尉候補生　長崎　冨男
佐世保海兵團附ヲ命ス
滿州機關長海軍機關少佐　齋藤　喜邦
補日進機關長
滿州軍醫長海軍軍醫大尉　松尾　傳
補湊海軍病院部員
海軍艦政本部部員海軍主計少佐　山口　道尹
補妙高主計長兼分隊長
妙高主計長兼分隊長海軍主計少佐　鈴木　久
補海軍軍令部出仕兼海軍省出仕
五十鈴主計長兼分隊長海軍主計少佐　長野　昌敏
補海軍艦政本部部員
横須賀海軍航空隊分隊長海軍主計大尉　加藤　勳
補五十鈴主計長兼分隊長
滿州主計長海軍主計大尉　保田　繁吉
補横須賀海軍航空隊分隊長
横須賀海軍工廠造機部部員海軍造機少佐　近藤　市郎
兼補海軍工機學校教官（以上十二月十六日海軍省）
東京帝國大學教授　黒板　勝美
學術實地指導ノ爲京都、奈良、滋賀、岐阜ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス
同　辻　善之助
學術上取調ノ爲京都、廣島、長崎ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス
同　加藤　武夫
學術實地指導ノ爲和歌山縣下ヘ出張ヲ命ス
（以上十二月十六日東京帝國大學）
地方農林技師　伊藤　寛
福岡縣農林技師ニ補ス（十二月十六日農林省）
公立中學校教諭　齋藤　謙
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和五年十一月七日ヨリ年功加俸年額百參拾貳圓下賜
（十二月十日北海道廳）
公立實業學校教諭　羽場榮太郎
大正十四年十月一日ヨリ年功加俸年額金百八拾圓下賜（大正十四年十一月五日廣島縣）
同　羽場榮太郎
昭和五年十月一日ヨリ年功加俸年額金貳百拾六圓下賜（十一月同）

彙報

○官廳事項

◎有爵者隱居　從五位男爵池田秀一ハ去月二十八日隱居ヲ爲シタル旨屆出テタリ

◎華族改名　子爵持明院基揚嗣子從五位持明院邦雄ハ本月八日基邦ト改名ノ旨屆出テタリ

◎官吏改名　海軍看護特務中尉小野政市ハ正善ト改名ノ旨本年十月三日屆出テタリ

◎官吏等卒去及死去　海軍機關大佐從五位勳三等神田親太郎ハ本月十四日卒去シ農林技師從七位山中勝太郎ハ去月二十一日、札幌鐵道病院鐵道醫從六位梶塚次郎ハ同二十五日孰モ死去セリ

◎教職卒去　公立實業學校長兼公立實業學校教諭從五位勳六等瀬尾幸三郎ハ本月九日卒去セリ

○警察

◎豫約出版屆出事項中變更　本年五月十六日内田太郎ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「道重信教言行錄」ノ豫約出版事項中發行者ヲ河谷從雄ニ變更セリ（警視廳）

○統計

◎失業者概數　昭和五年國勢調査ノ結果ニ依ル失業者概數左ノ如シ

本年ノ國勢調査ニ依ル全國失業者ノ概數ハ三二二、五二七ナリ之ヲ府縣別ニ見レハ東京ノ六二、九五七最モ多ク大阪ノ三六、八〇九之ニ亞キ神奈川、兵庫、福岡、愛知ノ一萬以上更ニ之ニ亞ク其他五千以上ハ北海道、廣島、京都、靜岡、和歌山、三重、長野、愛媛、新潟、福島ノ十府縣、三千以上ハ岡山、山口、長崎、熊本、高知、埼玉、秋田、岐阜、茨城、栃木、群馬ノ十一縣、二千以上ハ岩手、鹿兒島、青森、山形、奈良、宮城、石川、德島、大分、香川、宮崎ノ十一縣、一千以上ハ千葉、佐賀、富山、山梨、鳥取、島根、滋賀、福井ノ八縣ニシテ沖繩ノ八五四ヲ最少トス

全國	三二二、五二七		
北海道	八、八七〇	青森	二、六五八
岩手	二、八二二	宮城	二、三四九
秋田	三、七六二	山形	二、六一五
福島	五、三六九	茨城	三、二七四
栃木	三、〇七七	群馬	三、〇七〇
埼玉	四、〇〇三	千葉	一、九九四
東京	六二、九五七	神奈川	二〇、〇七四
新潟	五、四四五	富山	一、九四八
石川	二、三四三	福井	一、〇七五
山梨	一、八二六	長野	六、〇一六
岐阜	三、七〇五	靜岡	七、七四九
愛知	一三、八五七	三重	六、一〇〇
滋賀	一、三八二	京都	七、八〇八
大阪	三六、八〇九	兵庫	一八、一三五
奈良	二、四五九	和歌山	六、八六二
鳥取	一、七二二	島根	一、六二六
岡山	四、九七三	廣島	八、六五一
山口	四、七五四	德島	二、三三七
香川	二、一八二	愛媛	五、四五五
高知	四、二五六	福岡	一七、三三七
佐賀	一、九七八	長崎	四、六八七
熊本	四、三九四	大分	二、一九九
宮崎	二、〇〇八	鹿兒島	二、七〇一
沖繩	八五四		

市部ノ失業者ヲ見ルニ最モ多キハ大阪ノ三〇、一九〇ニシテ東京ノ二二、八七八之ニ亞キ横濱ノ一二、六八三、神戸ノ九、九五八、名古屋ノ八、四五八、京都ノ四、二〇一更ニ之ニ亞ク 其他二千以上ハ廣島、門司、長崎ノ三市、一千以上ハ川崎、福岡、呉、大牟田、熊本、高知、新潟、小樽、八幡、下關、横須賀、札幌、堺、濱松、岡山、和歌山ノ十六市ニシテ其他ノ市ハ何レモ千ニ滿タス 而シテ市部ノ失業者總數ハ一五一、二三五ニシテ全國失業者總數ノ四割六分九厘ニ該ル

大阪	三〇、一九〇	東京	二二、八七八
名古屋	八、四五八	神戸	九、九五八
京都	四、二〇一	横濱	一二、六八三
廣島	二、六四五	福岡	一、七六一
長崎	二、一九〇	函館	六三二
呉	一、七五四	仙臺	九一七
札幌	一、一五六	八幡	一、二七三
熊本	一、四七四	金澤	九五八
小樽	一、三六八	岡山	一、〇六八
鹿兒島	七九〇	靜岡	九五六
佐世保	九二九	新潟	一、四五二
堺	一、一一六	和歌山	一、〇二六
横須賀	一、二一一	濱松	一、一〇〇
門司	二、二四五	川崎	一、八一一
豐橋	六一八	下關	一、二一五
大牟田	一、五八三	高知	一、四六一
德島	六八〇	岐阜	五〇九
小倉	九三七	前橋	五〇〇
久留米	三九〇	旭川	二九四
松山	六九六	宇都宮	三九六
高松	五五五	甲府	四四六
青森	九〇六	富山	三三二
長野	三五六	松本	四七七
岡崎	四二三	福井	一六九
山形	三〇九	盛岡	四四二
姫路	三〇四	宇部	四九四
那覇	五八〇	高崎	二二八
長岡	三九二	若松（福岡）	五五一
大分	三二六	津	六二七
室蘭	二二一	清水	五四六
宮崎	二五八	八戸	四四一
桐生	一六〇	奈良	三六四
八王子	三四二	四日市	六〇九
高岡	一七六	戸畑	六五七
釧路	一四〇	郡山	四七六
宇治山田	五五〇	秋田	四五四
水戸	三二九	尼崎	五七〇
千葉	二〇一	佐賀	三五二
福島	三五四	米澤	三五八
松江	三五九	宇和島	五九二
沼津	三〇五	足利	一七一
今治	四二六	若松（福島）	二一二
弘前	二四六	別府	二四〇
一宮	一九四	西宮	四一六
明石	二二一	大垣	二七六
福山	三三八	瀬戸	五五一
鳥取	二七二	都城	一八五
上田	二二九	岸和田	五一九
大津	二七三	鶴岡	二二七
川越	一四五	津山	一六三
米子	二七五	伏見	二六〇
山口	一六〇	高田	七九
倉敷	二九〇	尾道	一七三
丸龜	二二五	中津	一九七
首里	五二		

大正十四年失業統計調査結果トノ比較　大正十四年ニ失業統計調査ヲ施行シタル二十四ノ重要工業都市及鑛山所在地並ニ其附近ヲ合シタル地域全部ニ於ケル今次ノ失業者總數ハ一五五、五七五ニシテ大正十四年ノ失業者總數一〇五、六一二ニ比較スレハ四九、九六三即チ四割七分三厘ヲ増加シタリ之ヲ各地域別ニ見レハ十八地域ハ失業者數ヲ増加シ東京市及其附近ノ二一、九〇七、大阪市及其附近ノ一二、〇九一ヲ特ニ増加ノ多キモノトス　而シテ其數ヲ減少シタルモノニ佐世保、仙臺、八幡、長崎、呉、岡山及其附近ノ六地域アリ

地域	昭和五年	大正十四年	増減（△ハ減）
總數	一五五、五七五	一〇五、六一二	四九、九六三
札幌市及其附近	一、三六〇	九四一	四一九
東京市及其附近	六一、〇二四	三九、一一七	二一、九〇七
京都市及其附近	五、六一四	三、〇三八	二、五七六
大阪市及其附近	三〇、四七三	一八、三八二	一二、〇九一
堺市及其附近	一、二一七	八六九	三四八
横濱市及其附近	一二、六八三	九、〇四四	三、六三九
横須賀市及其附近	一、九六九	一、七五七	二一二
神戸市及其附近	一〇、〇六八	八、一一六	一、九五二
尼崎市及其附近	一、二九三	七六九	五二四
長崎市及其附近	二、三三三	二、七六二	△四三九
佐世保市及其附近	一、〇二八	一、六五二	△六二四
名古屋市及其附近	八、八四九	四、九六三	三、八八六
濱松市及其附近	一、一六〇	三六七	七九三
仙臺市及其附近	九二九	一、四三四	△五〇五
金澤市及其附近	九九七	四八二	五一五
岡山市及其附近	一、一三八	一、三八六	△二四八
廣島市及其附近	二、六五二	二、一九七	四五五
呉市及其附近	一、九七七	二、三二五	△三四八
和歌山市及其附近	一、九七七	七四一	一、二三六
門司市	二、二四五	一、三七九	八六六
八幡市及其附近	一、九四六	二、四二八	△四八二
夕張町	二〇九	七〇	一三九
足尾町及其附近	三六五	二〇〇	一六五
大牟田市及其附近	二、〇七九	一、一九三	八八六

○陸海軍

◎海軍大臣指定辯護士　長谷川幸平ハ昨十六日海軍軍法會議法第八十八條ニ依ル辯護士ニ指定セラレタリ（海軍省）

◎海軍大臣指定辯護士取消　佐々木英夫ハ昨十六日海軍軍法會議法第八十八條ニ依ル辯護士ノ指定ヲ取消サレタリ（海軍省）

○學事

◎物件寄附　東京聾啞學校ヘ男爵三井八郎右衞門ヨリ「オーディター」（聽覺快復機）一臺ヲ寄附セリ（文部省）

○產業

◎工船蟹漁業　工船蟹漁業取締規則ニ依リ工船蟹漁業許可期間ヲ更新シタルモノ左ノ如シ（農林省）

許可番號	第三二號	第三六號
住所	東京市麹町區丸ノ内二丁目二番地ノ一	同上
氏名又ハ名稱	日本工船漁業株式會社	同上
船種及船名	汽船神宮丸	汽船嚴島丸
總噸數	二、七四一噸六五	三、八七五噸三四
漁具ノ種類	タラバ蟹底刺網	同上
條件又ハ制限	ナシ	同上
許可年月日	昭和五年十二月十四日	同上

○通運

◎軌道特許狀下付　本月二日横濱市ニ對シ軌道延長線敷設特許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ（鐵道省、内務省）

動力	軌間	起終點	延長米程	建設費
電氣	一米三七二	横濱市中區久保町、横濱市保土ヶ谷區岩間上町	三三〇米	金一萬七千六百九十二圓

◎鐵道免許失效　大正十二年二月三日倉敷鐵道株式會社ニ對シ免許シタル岡山縣都窪郡倉敷町同縣同郡茶屋町間鐵道ハ工事施行ノ認可ヲ得サルタメ免許ハ其效力ヲ失ヘリ（鐵道省）

○衞生

◎犬ノ狂犬病　昭和五年十月中犬ノ狂犬病發生並ニ轉歸頭數左ノ如シ（内務省）

	發生	斃死	殺	快復
大阪府	一	一	—	—
計	一	一	—	—
本年一月以來ノ累計	六二	三三	二九	—

（備考）本表以外ノ地方ニハ發生ナシ

○慈惠救濟

◎恩賜財團濟生會記事　皇后陛下思召ヲ以テ本會關係ノ病院乳兒院療養所（地方トモ）各入院患者ニ左ノ通御下賜相成リタリ（内務省）

一木綿縞　六百四十一反
一裏地　六百四十一反
一裁縫料　金六百四十一圓

地方行政

◎縣會及各部會　通常埼玉縣會ハ本月十二日議事結了閉會セリ（埼玉縣）◎去月十二日開會ノ通常廣島縣會、同市部會、同郡部會ハ議案ノ一部分ヲ議決シ本月十一日會期滿了セリ（廣島縣）

◎縣會議長當選　埼玉縣ニ於テ本月十二日縣會議長本多應雄辭職ニ付通常縣會ニ於テ其補闕選擧ヲ行ヒシニ堤新六當選セリ（埼玉縣）

◎旌表　廣島縣知事ニ於テ去月十四日表彰シタル者左ノ如シ（廣島縣）

廣島市小網町三十四番地　柴田ハナコ

資性貞淑年甫メテ二十二柴田家ニ嫁ス數年後夫要次郎心疾ニ罹ル則チ或ハ滋藥ヲ侑メ或ハ神佛ニ日參シテ其ノ全快ヲ祈ル時ニ躁狂ヲ發スルモ克ク之ヲ慰撫シ專念看護ノ傍ラ老姑ニ事ヘテ克ク孝養ヲ盡シ又家業ニ精勵シ子女ヲ養育ス二十年一日ノ如ク渝ラス毫モ倦怠ノ色ナシ特行洵ニ一般婦女子ノ龜鑑ト爲スニ足ル仍テ褒章條例ニ依リ木杯一組ヲ賜ヒ以テ之ヲ表彰セラル

廣島市牛田町千四百三番地　畑　セツ

資性溫順貞淑二十三歳畑源太郎ニ嫁ス入嫁後夫米國ニ遊學セシカ病ヲ獲テ歸國ス則チ專念之カ看護ニ努メタルモ明治三十三年死亡ス爾來再醮セス專ラ舅姑ニ事ヘテ孝養ヲ懈ラス能ク家政ヲ整ヘ弟妹及一子ヲ愛撫シ殊ニ姑ノ重病ニ罹ルヤ衣帶ヲ解カス寢食ヲ忘レテ看護シ之ヲシテ全快セシムルニ至ル 大正元年舅急病ニ罹リ死亡スルヤ敬祭懇ニ至ル 今ヤ姑ニ事ヘテ孝養ヲ盡ス一子成立シテ目下濱松市ニ在職シ其恬安ヲ希ヒ同居ヲ促スモ老姑ノ奉養缺ケンコトヲ慮リテ聽セス偏ニ老姑ノ承歡ニ努ム三十有八年一日ノ如ク渝ラス操志ノ堅キ行爲ノ崇キ洵ニ一般婦女子ノ龜鑑ト爲スニ足ル（以下前同文）

廣島市立町十五番地　山田　淺子

資性孝貞二十四歳山田猛ニ嫁ス婚前數日姑偶中風ニ罹リ臥牀ス此ニ於テ日夕看護ニ竭ス夫固ト聾啞ニシテ後盲啞學校ノ師ト爲リケレハ毎ニ出入ニ伴フ後夫瘋疾ヲ獲ルヤ祕シテ姑ニ知ラシメサル等苦心備ニ嘗メ晝夜左右ノ看護ニ衣帶ヲ解カス滋味ヲ薦メ或ハ撫摩導引其ノ承歡ニ努ムルノ傍ラ家政ヲ整理シ子女ヲ教養ス後夫癒ヘ小康ナリシモ再發急死ス爾來敬祀怠ラス又姑ノ侍養ニ專念ス茲ニ十有七年ノ久シキ一日ノ如ク渝ラス能ク婦道ヲ執ル行爲寔ニ一般婦女ノ龜鑑ト爲スニ足ル（以下前同文）

在外公館報告

◎上海市況　本件ニ關スル本月十二日著上海駐在横竹商務參事官電報左ノ如シ（外務省）

（一）十一月中上海港對外貿易推定額輸入前月同樣四千四百萬兩、輸出ハ前月ヨリ約一割減少三千萬兩前年同月ニ比ヘ輸入略ト同額輸出五分増加

今年一月以降累計修正見積額輸入五億九百萬兩輸出三億四千七百萬兩ニシテ昨年同期ニ比シ輸入一割二分減、輸出三分增又一昨年同期ニ比ヘ輸入六分增輸出五分增ト爲ル

（二）一九三〇年度上海港對外貿易豫想額輸入五億六千萬兩輸出三億八千萬兩ニシテ昨年度ニ比ヘ輸入六千五百萬兩即チ一割減少輸出千六百萬兩即チ五分ノ增加ト爲ル見込

（三）一九三〇年度中國對外貿易額概算輸入十一億五千萬兩輸出十億五千萬兩合計二十二億ニテ前年ニ比ヘ輸入一億千六百萬即チ一割ノ減少輸出三千四百萬兩增加差引八千二百萬兩ノ減退ナルカ試ニ輸入貿易ニ付假ニ邦貨ニ換算スルニ前年度約十五億四千萬圓ニ對シ今年度十億九千萬圓ト爲リ約四億五千萬圓即チ三割ノ著減ト爲リ我國對華輸出貿易減少額約一億三千五百萬圓位ニ達スル見込之ハ時局竝ニ匪賊ノ亂、銀價變動等ニ伴フ影響ニアルコト勿論ナリ

（四）最近ニ於ケル當市場ハ一般ニ輸出不振ト海外銀安ニテ爲替竝ニ金塊昂騰ヲ續ケ去ル六月ノ對銀價不安ヲ繰返シ輸入税收悲觀ニテ黄券公債相場下向又陽曆決算資行ニテ問屋筋手許苦シク新規商談殆ト見送ラレ紡績製品ハ本邦三品安ト爲替高ニテ最近本邦向綿絲三四千俵輸出引合ヒタルコトハ珍シキコトナカラ一般賣行不振ノタメ滯貨增加ニ惱ミ休業中ナリシ生絲工場ハ救濟資金ヲ當込ミ十一月初ヨリ一部開始セシモ市況ノ不良ト救濟運動ノ頓挫ニ再ヒ休業シツヽアル有樣ニテ依然苦境ニ立チ唯關税增徵ト爲替先高見越ニテ砂糖紙等ノ引合稍ヽ見ルヘキモノアル以外輸出入商談概シテ不況閑散

（五）要スルニ時局竝ニ匪賊ノ擾亂稍ヽ安定シ交通機關漸ク恢復ニ向ヒツヽアルモ農產出廻リハ未タ圓滑ナラス陽曆決濟ノ資行銀爲替ノ變動等ニ阻セラレ財界依然トシテ活氣ニ乏シク所謂舊正前市場モ期待薄ノ模樣

◎英國商況　本件ニ關スル本月十二日著倫敦駐在松山商務參事官電報左ノ如シ（外務省）

一般ノ不況ニ貸出著減シ融資引續キ潤澤ナルモ獨逸金吸收著シク週中ノ流出三百萬磅以上ニ上リ割引率强調銀塊支那買ニ續落十五片八分ノ三

十一月貿易、輸入七千九百萬磅、輸出四千四百萬、再輸出六百萬、昨年同月ニ比シ夫々二千九百萬、千九百萬、百四十萬減、十一月マテノ入超累計三億四千百萬磅、昨年ニ比シ百十萬減、輸入ハ食料及原料品ニ於テ輸出ハ綿製品ニ於テ減退顯著

‖スコットランド炭坑罷業者暫定協約纏リ八日ヨリ就業、炭業問題一時落著、鐵道從業員ハ會社側提出賃銀率ヲ峻拒シ「ナショナル、ウエージス、ボード」ノ手ニ移ル「アムステルダム」ニ於ケル糖業會議ハ五年間瓜哇糖輸出ヲ年額二百三十萬噸ニ制限、東洋市場ノ狀況ニ依リ漸次年十萬噸宛增加シ得ルコト、シ瓜哇側同意、玖馬側ハ規定ノ通ニシテ下相談纏リ目下ブラッセ‖ルニ於テ本會議開催中

國際鋼「カルテル」來年六月末マテ現協定繼續、來年始メ三箇月間生產制限二割五分乃至三割ニ決定ノ報アリ

綿絲布米綿引續キ低落、尙ホ先安見込、埃及綿產地續落ノ報アリ、綿絲相場下向取引閑散、綿布印度註文小口、支那關税引上說ニ怯エタルモ二分五厘見當トノ入報ニ安堵‖マンチェスターニテハ亞細亞向ケ運賃率引下ニ關シ研究中擴當織機增加ハ賃銀割增率ニ關シ勞働者側反對ニ拘ラス機屋側來年一月五日ヨリ實施ヲ通告ス、人絹「ヴィスコース」上物「アセテート」ニ代リ需要サル、傾向アリ引續キ好況、輸出向キ不況、前電所報ノ人絹會議ハ佛伊モ參加シ內容公表ヲ爲サヽルコト、シ目下開催中ナルカ最低價格國際取極ハ行惱ノ模樣ニテ各自國內相場ノ協定ヲ行フコト、觀測セラル羊毛倫敦競賣續行上物賣行好ク「クロス、ブレッド」稍ヽ買進メルモ相場前回ニ比シ五分乃至一割安讓歩投機買一服市場閑散ナレトモ一月以後產地送荷減退見込ニ相場手堅ク四片四分ノ三

日本商品大手亡稍ヽ手堅ク十六志青豌豆十六志軟調大豆及大豆油前週通ナルモ先安氣配絹織物本邦相場急騰ノ報ヲ入レ現物買兆セルモ弱氣筋賣强氣筋賣吝ミニ市場亂調子ニテ相場區區折角春物仕入時期ニ本邦相場急騰ノタメ先物註文挫折ス

◎比島關税引上　本件ニ關スル本月十日著マニラ駐在總領事越田佐一郎電報左ノ如シ（外務省）

十二月八日比島總督ハ「セメント」輸入税改正法案ヲ裁可シ同法案ハ米國大統領ニ廻付セラル、コト、爲レリ又既報ノ靴、米、鷄卵等ノ關税增率案ハ緊急ノ必要ナク且ツ研究不充分ナリトノ理由ニテ裁可ヲ拒否セラレタリ

觀象

◎全國氣象

（備考）氣溫ノ－ハ氷點下ノ度ナリ（天氣ノ○ハ快晴、⦶ハ晴、◎ハ曇、●ハ雨、✻ハ雪、⊙ハ霧、⊕ハ雷雨、⊛ハ濃煙霧ナリ）雨量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時マデノ總量ナリ

十二月十二日

地名	氣溫（攝氏）最高	氣溫（攝氏）最低	天氣 午前六時	天氣 午後六時	降水量（粍）
パラオ	30.4	24.8	⦶	○	1
恆春	23.8	20.0	●	⦶	―
澎湖島	22.8	18.7	◎	◎	―
臺北	26.4	17.0	○	○	―
那覇	21.9	15.6	○	◎	―
鹿兒島	19.0	3.0	○	○	―
宮崎	17.3	3.2	○	◎	―
熊本	17.0	0.3	○	○	―
高知	17.4	3.3	○	◎	―
德島	15.7	5.4	○	○	―
和歌山	16.6	3.5	○	○	―
大分	14.9	1.3	○	○	―
松山	16.2	3.3	○	○	―
多度津	13.7	3.0	○	―	―
廣島	15.6	2.1	○	○	―
岡山	15.1	0.7	○	―	―
神戸	15.5	5.3	○	○	―
大阪	14.3	3.6	⊙	―	―
京都	16.7	0.3	○	○	―
八木	15.1	1.5	○	―	1
長崎	14.9	5.2	○	◎	―
佐賀	15.5	2.4	○	○	―
嚴原	16.6	0.4	○	○	1
下關	16.2	3.0	○	○	―
濱田	15.1	5.3	⦶	○	1
境	16.7	5.5	⦶	◎	―
津	15.6	2.5	○	◎	2
[illegible]	16.9	5.2	○	―	―
岐阜	16.8	3.5	○	―	―
名古屋	17.1	4.0	○	○	―
濱松	18.8	6.0	○	⦶	―
沼津	16.7	5.1	⊙	―	―
橫濱	13.8	4.1	○	○	―
東京	15.7	2.7	○	○	―
熊谷	16.0	1.7	○	―	―
銚子	14.9	7.8	⦶	○	―
父島	23.3	18.6	⦶	○	―
高山	12.0	－0.5	⊙	○	―
飯田	13.2	0.2	◎	―	―
松本	9.4	－3.1	⊙	―	―
長野	9.5	－1.3	⦶	◎	―
甲府	11.7	1.0	⊛	○	―
前橋	17.1	2.0	○	○	―
宇都宮	16.7	－0.6	○	⦶	―
彦根	13.7	－0.2	○	○	―
福井	15.0	1.9	⦶	―	―
金澤	15.3	2.7	○	○	2
伏木	14.1	4.9	⦶	―	4
高田	12.6	4.0	◎	―	1
新潟	10.0	2.0	◎	○	3
山形	11.9	4.5	⦶	―	8
秋田	10.2	－0.1	○	―	―
[illegible]	11.0	－0.6	○	○	1
[illegible]	16.0	1.1	○	―	―
水戸	10.8	1.4	○	○	―
石卷	9.8	－2.0	⦶	○	3
盛岡	13.7	0.1	○	○	―
宮古	7.0	－0.1	⦶	⦶	2
青森	7.5	－1.2	◎	○	―
函館	7.0	0.0	⦶	―	1
壽都	6.5	－4.8	◎	○	―
札幌	5.2	0.2	◎	―	1
旭川	5.3	－8.6	⦶	✻	2
浦河	7.9	－1.3	◎	○	―
帶廣	3.2	－5.1	○	○	―
網走	4.6	－2.9	○	○	―
釧路	6.5	0.7	○	―	―
根室	7.6	－0.7	○	○	―
紗那	6.2	－0.2	●	◎	8
大泊	2.9	－6.6	●	◎	1
敷香	－2.3	－5.8	✻	✻	14
釜山	14.9	3.9	○	○	―
木浦	13.1	3.5	⊙	⦶	1
仁川	2.9	－3.5	⊙	◎	―
江陵	12.2	2.0	◎	◎	―
元山	4.0	－1.6	◎	◎	―
城津	4.6	－2.7	◎	◎	―
雄基	－1.4	－6.1	⦶	◎	―
龍岩浦	1.8	－4.4	◎	◎	1
大連	4.8	－3.0	◎	◎	―
營口	1.8	－6.4	◎	○	―
奉天	－1.8	－7.9	◎	⦶	―
長春	－7.8	－16.0	◎	○	―
天津	2.9	－9.3	○	○	―
青島	7.0	0.2	○	○	―
上海	15.9	5.1	○	◎	―

同　十三日

地名	氣溫（攝氏）最高	氣溫（攝氏）最低	天氣 午前六時	天氣 午後六時	降水量（粍）
パラオ	28.8	24.3	⦶	◎	4
恆春	22.9	20.6	●	◎	1
澎湖島	20.1	16.8	◎	◎	2
臺北	17.7	14.9	◎	●	―
那覇	20.4	15.4	⦶	◎	―
鹿兒島	13.4	2.0	◎	○	―
宮崎	15.9	4.1	○	○	―
熊本	11.1	1.2	○	○	―
高知	15.6	4.7	⦶	⦶	―
德島	13.2	5.2	⦶	○	―
和歌山	14.0	4.5	○	○	―
大分	12.4	4.9	◎	○	―
松山	12.0	5.0	◎	○	―
多度津	13.2	5.6	○	◎	―
廣島	11.5	3.2	○	○	―
岡山	13.2	2.1	○	○	―
神戸	13.6	5.0	⊙	―	―
大阪	13.6	4.2	○	○	―
京都	12.8	2.4	◎	―	―
八木	13.5	2.8	○	○	―
長崎	10.5	2.5	●	―	1
佐賀	12.1	2.2	⦶	○	―
嚴原	12.3	0.4	◎	◎	―
下關	12.9	0.3	◎	◎	―
濱田	14.3	3.8	◎	◎	2
境	11.6	6.5	○	◎	―
津	12.1	3.3	○	―	―
[illegible]	[illegible]	3.2	○	○	―
岐阜	12.4	3.3	○	―	―
名古屋	13.4	2.5	⦶	◎	―
濱松	14.2	5.9	○	○	―
沼津	17.5	5.0	○	―	―
橫濱	14.0	6.5	⦶	○	―
東京	16.2	5.6	○	○	―
熊谷	16.0	2.0	○	―	―
銚子	16.6	8.5	◎	○	―
父島	23.7	15.8	⦶	○	―
高山	8.5	－1.9	◎	◎	―
飯田	12.0	0.0	⦶	―	―
松本	12.8	－0.4	⦶	―	―
長野	10.2	－0.1	⊙	○	―
甲府	16.2	－1.5	○	○	―
前橋	13.9	5.0	○	○	―
宇都宮	17.9	2.0	○	○	1
彦根	10.1	2.1	⦶	○	6
福井	10.6	2.1	○	―	19
金澤	9.7	3.2	●	◎	13
伏木	12.3	1.8	⊛	―	11
高田	9.5	1.6	●	―	48
新潟	9.2	1.8	⊛	―	2
山形	11.1	4.3	◎	◎	2
秋田	8.2	－0.5	◎	―	3
[illegible]	3.8	－0.4	○	✻	―
[illegible]	17.7	1.4	✻	―	5
水戸	11.0	0.3	⦶	○	―
石卷	5.9	－2.9	✻	○	―
盛岡	9.7	－0.3	✻	○	15
宮古	1.6	－2.3	✻	✻	1
青森	2.4	－4.0	◎	✻	4
函館	2.8	－5.0	✻	―	1
壽都	－0.9	－6.6	◎	✻	1
札幌	1.4	－3.9	◎	―	6
旭川	0.2	－7.5	◎	◎	1
浦河	3.1	－2.9	◎	✻	―
帶廣	1.4	－8.5	◎	○	1
網走	0.3	－4.8	◎	✻	1
釧路	0.8	－8.7	◎	―	2
根室	0.3	－2.7	✻	○	―
紗那	0.8	－1.5	◎	✻	―
大泊	－8.8	－6.9	◎	○	―
敷香	－5.0	－10.6	◎	⦶	5
釜山	10.7	－2.0	◎	○	―
木浦	6.0	－0.1	○	○	―
仁川	1.5	－1.5	○	○	―
江陵	6.1	－2.3	○	○	―
元山	0.7	－4.3	○	○	―
城津	2.2	－5.8	○	○	―
雄基	－1.8	－0.9	○	○	―
龍岩浦	－1.6	－3.3	○	○	―
大連	1.3	－4.8	○	○	―
營口	－0.7	－10.1	○	○	―
奉天	－2.1	－14.2	○	○	―
長春	－9.0	－18.1	○	○	―
天津	2.3	－7.2	○	○	―
青島	2.7	－3.0	○	⦶	―
上海	9.6	2.8	◎	◎	―

◎東京氣象

十二月十三日　天氣概況　晴

平均氣壓（海面ノ度）　七五九・五粍　平均雲量　二・八
平均氣溫　九・二度　日照時間　七・七時
平年ヨリ三・五度高シ　平均風速度　二・八米
最高氣溫　一六・二度　最大風速度　七・二米
最低氣溫　三・六度　最多風向　北
前五日間平均氣溫　七・六度　降水總量　―
平年ヨリ一・七度高シ　一時間最大降水量　―
平均濕度　七一％　記事　―
平均水蒸氣張力　六・〇粍

同　十四日　天氣概況　曇

平均氣壓（海面ノ度）　七六九・一粍　平均雲量　八・五
平均氣溫　五・二度　日照時間　〇・四時
平年ヨリ〇・三度低シ　平均風速度　二・八米
最高氣溫　七・三度　最大風速度　六・三米
最低氣溫　二・〇度　最多風向　北北東
前五日間平均氣溫　七・二度　降水總量　―
平年ヨリ一・四度高シ　一時間最大降水量　―
平均濕度　六三％　記事　―
平均水蒸氣張力　四・一粍

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　大阪電氣軌道株式會社
事業ノ種類　停留場擴築
起業地　大阪府大阪市天王寺區石ケ辻町、東區小橋西之町地內

右公告ス

昭和五年十二月十七日　內務大臣　安達謙藏

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　兵庫縣知事
事業ノ種類　道路改築
起業地　兵庫縣多紀郡村雲村、福住村地內

右公告ス

昭和五年十二月十七日　內務大臣　安達謙藏

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　播磨電氣鐵道株式會社
事業ノ種類　鐵道敷設
起業地　兵庫縣揖保郡香島村宍粟郡戸原村、城下村、山崎町地內

右公告ス

昭和五年十二月十七日　內務大臣　安達謙藏

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　總武鐵道株式會社
事業ノ種類　停車場擴張
起業地　埼玉縣南埼玉郡粕壁町地內

右公告ス

昭和五年十二月十七日　內務大臣　安達謙藏

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　鐵道大臣
事業ノ種類　鐵道敷設
起業地　廣島縣吳市本通一丁目、龜山町、清水通二丁目、八幡通二丁目、八幡通三丁目、和庄通三丁目、和庄通四丁目地內

右公告ス

昭和五年十二月十七日　內務大臣　安達謙藏

都市計畫公告

名古屋都市計畫事業運河新設ノ部中設計並ニ執行年度割變更ノ件左ノ通決定シ昭和五年十二月十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

一運河新設ノ部中設計變更
　別紙圖面ノ通
一名古屋都市計畫事業運河新設及建築敷地造成ハ大正十三年度ヨリ昭和六年度ニ至ル八箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年度割左ノ通定ム
　自大正十三年度至昭和四年度　約九割六分
　昭和五年度　約三分
　昭和六年度　約一分

（圖面省略）

右公告ス

昭和五年十二月十七日　内務大臣　安達謙藏

廣告

◉登記公告方

昭和六年中當館ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ支那漢口ニ於テ發行スル漢口日日新聞ニ之ヲ揭載ス

昭和五年十二月　在漢口日本帝國總領事館

昭和六年度當區裁判所並ニ管内出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ靜岡縣靜岡市ニ於テ發行スル靜岡新報、靜岡民友新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　靜岡區裁判所

昭和六年度當區裁判所並ニ管内出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ靜岡縣靜岡市ニ於テ發行スル靜岡新報、靜岡民友新聞、同縣沼津市ニ於テ發行スル沼津毎日新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　沼津區裁判所　吉原區裁判所　下田區裁判所

昭和六年度當區裁判所並ニ管内出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ靜岡縣靜岡市ニ於テ發行スル靜岡新報、靜岡民友新聞、同縣濱松市ニ於テ發行スル濱松新聞、日本民聲新聞、駿遠日日新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　濱松區裁判所　掛川區裁判所

昭和六年中當裁判所並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ京都府京都市ニ於テ發行スル京都日出新聞及京華日報ニ揭載ス

昭和五年十二月　京都區裁判所　園部區裁判所　宮津區裁判所　峯山區裁判所　舞鶴區裁判所　福知山區裁判所

昭和六年中當區裁判所並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法令ノ規定ニ依ル登記ノ公告ハ宮城縣仙臺市ニ於テ發行スル河北新報、仙臺日日新聞及東華新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　仙臺區裁判所　大河原區裁判所　古川區裁判所　石卷區裁判所　登米區裁判所　氣仙沼區裁判所

昭和六年中當裁判所並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法令ノ規定ニ係ル登記公告ハ山形縣飽海郡酒田町ニ於テ發行スル酒田新聞、日刊莊内新聞、同縣山形市ニ於テ發行スル山形新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　酒田區裁判所

昭和六年中當廳並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業法人其他法令ノ規定ニ依ル登記ノ公告ハ青森縣青森市ニ於テ發行スル東奧日報及青森日報ニ揭載ス

昭和五年十二月　青森區裁判所　五所川原區裁判所　鰺ケ澤區裁判所

昭和六年中當廳並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業法人其他法令ニ依ル登記ノ公告ハ青森縣八戸市ニ於テ發行スル八戸毎日新聞及はちのへ新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　八戸區裁判所

昭和六年中當區裁判所並ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ北海道函館市ニ於テ發行スル函館毎日新聞、函館新聞、函館日日新聞及北海新聞ニ揭載ス

昭和五年十二月　函館區裁判所　江差區裁判所　壽都區裁判所

◉軍隊教育用圖書檢閲濟翻刻物

昭和四年二月六日陸軍省發行
一戰鬪綱要（縮製）
大正十二年二月八日同上
一衞生法及救急法（縮製）
昭和五年十二月二十日翻刻發行者　東京市下谷區東黑門町五番地　島田忠治郎

右昭和五年十二月十五日檢閲濟

昭和五年十二月　陸軍省

◉活動寫眞「フイルム」頒布

今般本省ニ於テ製作セル活動寫眞「フイルム」左記ノ通頒布ス

昭和五年十二月　文部省

フイルム名稱	卷數	米數	價格（圓）
明治の輝	全三卷	六三〇	二五二・〇〇
明治神宮奉納神事舞	全二卷	三八五	一五四・〇〇
ろば	全一卷	二九〇	一一六・〇〇

◉指定運送取扱人選定

指定運送取扱人左ノ通選定セリ

昭和五年十二月十七日　鐵道省

驛名	商號及氏名
岡多線	
岡崎康生町	岡崎合同運送株式會社
三河岩津	同岩津出張所
擧母昭和町	角德運送合資會社
瀨戸記念橋	瀨戸運送店加藤勝四郎
品野	品野運送株式會社
市之倉	市之倉運送店加藤昇
高藏寺線	
中水野	高藏合同運送株式會社中水野出張所

◉購買入札

一グラシン紙（縱七二〇粍 橫五八〇粍）　百二十万枚
昭和六年四月一日以降同五月十日マテニ標本ノ通市外瀧野川町印刷部構内納入
札、契約心得書及標本閲覽場所　當部
入札日時及場所　本月二十七日午前十時當部（即時開札）
入札保證金　見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和五年十二月十七日　内閣印刷局總務部

◉賣拂入札

一、品名數量　稀硫酸外一點
二、納入場所　當局本所檢査場
三、入札及開札日時　本月二十二日午前十一時限入札、即時開札
四、入札場所　當局用品課購買係
五、契約事項閲覽場所　同係
六、入札保證金額及納付場所　見積入札價格ノ百分ノ五以上入札當日午前十時半限
七、入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

昭和五年十二月十七日　東京遞信局

◉賣拂入札

橫濱市神奈川區淺間町字淺間下一、〇〇七ノ五
官有地　八十九坪六合六勺
同山手町二十九番地ノ二
同　百七十八坪二合五勺
同三十三番地ノ（四 五）
同　二百二十九坪九勺
同三十三番地ノ（七 八）
同　百七十七坪九合四勺
同二十六番地ノ（八 一〇）
同　二百四坪八合
同二十六番地ノ（一二 一三）
同　百七十五坪四合八勺
同二十六番地ノ（一五 一六）
同　五十二坪五合六勺

右各筆毎ニ賣却ス

入札　公告ノ日ヨリ開札前日マテ受理ス
　但シ當局經理課長宛書留郵便入札ニ限ル
開札　本月二十三日午前十一時
開札場所　當局經理課
公示書類　同課ニテ縱覽ノコト
入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和五年十二月十七日　復興事務局

一機械鉋外百八十七點
　引取期限　引渡ノ日ヨリ二十日以内
一現品縱覽日時　昭和六年一月六、七ノ兩日一回午後一時

一入札並開札　昭和六年一月八日午前十一時
一入札場所　當部
一公示書類　契約書案當部ニ在リ
一入札保證金　入札價格ノ百分ノ十以上（圓未滿切上ク）
一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）
一契約擔任官　當部首席主計科士官塚原眞

昭和五年十二月十七日　舞鶴要港部工作部

◉賣拂入札公告取消

本月十五日本欄内揭載當局レール屑賣拂入札公告ハ之ヲ取消ス

昭和五年十二月十七日　東京鐵道局

◉商業登記

●東洋拓殖株式會社（變更）
第三回第七回社債殘額ノ内一部償還ニ依リ昭和五年十月三十一日其社債殘額ヲ各左ノ如ク變更ス
第三回社債殘額　金五十九万三千八百圓
第七回社債殘額　金五百圓
右昭和五年十一月十八日登記

在間島日本帝國總領事館

●合資會社宮下洋行（解散清算人選任）
一解散ノ事由及ヒ年月日　昭和五年十一月六日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
一清算人ノ氏名住所　宮城豊彥　大連市東公園町六十番地

●合資會社昌榮製材公司（變更）
昭和五年十一月一日有限責任社員三浦梅太郎ハ出資ニ對スル持分全部ヲ左ノ者ニ讓渡シテ退社シ讓受人ハ同日入社ス
金一千圓　有限　角田榮三郎　安東縣一番通三丁目二番地
右昭和五年十一月七日登記

●南滿洲電氣株式會社（變更）
一取締役山岡信夫ハ昭和五年十一月三日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市臺山屯三百十七番地ノ十
右昭和五年十一月十三日登記
一監査役金丸富八郎ハ昭和五年十一月十七日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十一日登記

●安東商業金融株式會社（變更）
昭和五年十一月十八日監査役張毓楨ハ其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
平安北道新義州府初音町四番地四號

●滿鮮坑木株式會社（變更）
昭和五年十一月十七日監査役金丸富八郎ハ其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十日登記

●南滿洲瓦斯株式會社（變更）
監査役金丸富八郎ハ昭和五年十一月十七日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十一日登記

在安東日本帝國領事館

●南滿電氣株式會社變更（支店）
一取締役山岡信夫ハ昭和五年十一月三日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市臺山屯三百十七番地ノ十
右昭和五年十一月十三日登記

●南滿洲瓦斯株式會社變更（支店）
一監査役金丸富八郎ハ昭和五年十一月十七日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十一日登記

●南滿洲電氣株式會社變更（支店）
一監査役金丸富八郎ハ昭和五年十一月十七日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十一日登記

●長春市場株式會社變更
一監査役金丸富八郎ハ昭和五年十一月十七日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市光風臺二百二十一番地
右昭和五年十一月二十二日登記

●橫濱正金銀行變更（支店）
一監査役松尾吉士ハ昭和五年十一月十五日死亡ス
右昭和五年十一月二十五日登記

在長春日本帝國領事館

●橫濱正金銀行（變更）　天津、北京支店
一監査役松尾吉士ハ昭和五年十一月十五日死亡ス
右昭和五年十一月二十七日登記

●天津信託興業株式會社（變更）
一取締役野堀清美ハ昭和五年十一月十五日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
天津日本租界曙街二番地

●天津信託興業株式會社　支配人野堀清美（變更）
一昭和五年十一月十五日　支配人ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
天津日本租界曙街二番地
右昭和五年十一月二十九日登記

●東洋拓殖株式會社（追加）
一第三回第六十一回各社債殘額ノ内一部償還ニ因リ昭和五年十一月二十日其社債殘額ヲ各左ノ如ク變更ス
第三回社債殘額　金二十三万八千九百圓
第六十一回社債殘額　金七十九万二千圓
右昭和五年十二月四日登記

在天津日本帝國總領事館

●橫濱正金銀行變更
一監査役松尾吉士ハ昭和五年十一月十五日死亡セリ
昭和五年十一月二十八日登記

在濟南日本帝國總領事館

●伊賀製瓦株式會社變更
一監査役森下奈良藏市場重男高橋由治郎ハ任期滿了ノ處株主總會ニ於テ再選昭和五年十月十八日重任ス
昭和五年十月三十日登記

上野區裁判所

●四日市劇場株式會社變更
一取締役片岡常一郎中島莊七山路美之助ハ昭和五年九月二十八日重任ス
昭和五年十一月一日登記

四日市區裁判所

●株式會社百五銀行變更
一取締役藤堂高成ハ昭和五年十月二十三日死亡ス

●眞珠灣交通株式會社資本增加
一增加資本總額　金三万圓
一資本增加決議年月日　昭和五年六月二十八日
一各新株拂込金額　金五十圓
右昭和五年十月三十日登記

山田區裁判所鳥羽出張所

●株式會社百五銀行變更（支店）
一取締役藤堂高成ハ昭和五年十月二十三日死亡ス
昭和五年十月三十日登記

木本區裁判所尾鷲出張所

●合名會社關谷商店解散及清算人選任
一總社員ノ同意ニ因リ昭和五年十月三十日解散ス
一清算人ノ氏名住所　關谷甚一　岐阜市松屋町三十番地
昭和五年十一月四日登記

岐阜區裁判所

●株式會社中島製布所變更
一監査役伊藤清之伊藤仁重郎ハ昭和五年十月二十五日重任ス
昭和五年十一月四日登記

岐阜區裁判所笠松出張所

●株式會社設立
一商號　江馬正國製藥株式會社
一本店　大垣市高屋町千五百八十番地
一目的　一藥品製造但江馬皮膚藥江馬桃花膏江馬小兒胎毒藥江馬マサクニ藥江馬ただれ妙藥江馬解熱散江馬達活散二右製劑品發賣三各藥品製劑品代理引受　四前各項ニ關連スル一切ノ商行爲
一設立年月日　昭和五年七月十五日
一資本總額　金一万圓
一一株金額　金二十圓
一各株拂込額　全額拂込
一公告方法　本店店頭ニ揭示ス
一取締役ノ氏名住所
立川正國　大垣市藤江町三百五十番地
佐藤彌次　同市本町七百九十番地ノ一
增田幸吉　揖斐郡揖斐町大字三輪千二百八十五番地ノ二
一監査役ノ氏名住所
會社ヲ代表スヘキ取締役　立川正國
小河市之丞　三重縣鈴鹿郡高津瀨村大字高宮二千百七十七番地
河野清助　揖斐郡宮地村大字宮地九百四十七番地ノ一
一存立時期　滿三十箇年
昭和五年十一月五日登記

大垣區裁判所

●東濃石材工業株式會社變更
一監査役早川澄夫綱稱武ハ昭和五年十月二十九日重任ス
昭和五年十一月五日登記

御嵩區裁判所

●吉野工業株式會社變更
取締役吉田六四郎監査役織田次三郎ハ昭和五年十月二十一日取締役井口清忠ハ同年同月二十七日ニ何レモ辭任左ノ者同日各頭書ノ通リ當選就任セリ
取締役柏谷名平　坂井郡濱四鄉村砂子田第十七號三十四番地
同柏谷賴光　同所十一號十八番地
監査役沼田小左ユ門　同郡鶉村砂子坂第八號四十一番地
右昭和五年十一月四日登記

福井區裁判所松岡出張所

●株式會社若州銀行變更（支店）
一取締役玉井孫右衞門ハ昭和五年十月二十六日死亡セリ
昭和五年十一月四日登記

敦賀區裁判所耳村出張所

第1192号 本文

第1192号 本文

◎相續財産管理人選任

最後ノ住所京都市下京區大宮通四條上ル錦大宮町百二十番地士族無職業
　被相續人　三崎コスヱ
　嘉永五年十二月七日京都市左京區聖護院圓頓美町千三百三十八番地ニテ出生昭和二年三月十九日京都市中京區大宮通四條上ル錦大宮町百二十番地ニ於テ死亡

京都市中京區西ノ京壺ノ内町一番地佐々木安太郎ノ申立ニ因リ京都市上京區一條通御前通西入下ル西町三十八番地道家武智ヲ右相續財産管理人ニ選任シタリ

　昭和五年十一月十日　京都區裁判所

大分縣大野郡長谷川村大字滞迫七百二十一番地
　申請人　高山一馬
最後ノ住所同所同番地
　被相續人戸主　宗　未太郎
　天保六年三月十一日生

右最後ノ住所ニ於テ出生シ又死亡ス

右申請人高山一馬ノ申立ニ因ル當區裁判所昭和五年(ヲ)第九九號右被相續人宗未太郎ノ相續財産管理事件ニ付昭和五年十一月二十九日大分縣大野郡長谷川村大字滞迫七百十九番地山村正夫ヲ右被相續人宗未太郎ノ相續財産管理人ニ選任シタリ

右民法第千五十二條及非訟事件手續法第六十九條ニ依リ公告ス

　昭和五年十二月一日　竹田區裁判所

◎準禁治産宣告

新潟縣東頸城郡菱里村大字上船倉三二五二番地
　松野洪平
　明治三十四年三月四日生

右ニ對シ實父松野高代太郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和五年十一月十八日前記松野洪平ヲ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ

　昭和五年十二月五日　高田區裁判所

本籍及住所兵庫縣揖保郡譽田村高歐三十一番屋敷
　丸山誠一
　明治三十七年三月十二日生

右ノ者ニ對シ父辰藏ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和五年十二月四日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月四日　龍野區裁判所

本籍及住所和歌山縣伊都郡端場村百三十七番地
　堂本庄一郎
　明治二十五年四月二十四日生

右ニ對シ實父堂本菊四郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和五年十二月一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月三日　妙寺區裁判所

本籍及住所石川縣羽咋郡粟ノ保村字七橋三十五番地
　田方平一
　明治三十七年四月四日生

右ニ對シ伯父東喜作ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和五年十二月三日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月四日　七尾區裁判所

山口縣阿武郡生雲村大字生雲中二千百六十八番地
　水津信行
　明治二十五年十二月一日生

右ニ對シ弟水津重吉ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和五年十一月二十九日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月一日　萩區裁判所

本籍及住所福岡縣久留米市小森野町二千七十三番地
　纐纈稔
　明治三十一年十一月十八日生

右ニ對シ母纐纈クニノ申立ニ因リ昭和五年十二月一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月四日　久留米區裁判所

◎公示催告

長野縣諏訪郡上諏訪町二百五十六番地
　申立人　牛山紋之進

別紙表示ノ債券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和六年六月三十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ右債券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアル可シ

　昭和五年十二月一日　上諏訪區裁判所　判事　大塚等

（別紙）
目錄

一、五分利國庫債券

回數	番號	額面	枚數
四九	三〇八七	金五百圓券	一
同	自七二三三二 至七二三三六	金一百圓券	五

◎失踪宣告

本籍北海道空知郡美唄町字美唄番外地
最後ノ住所地福島縣信夫郡庭坂村大字町庭坂字内町二十五番地
　不在者　遠藤カツ
　天保四年三月五日生

右ニ對シ宮城縣刈田郡白石町大字白石字本町百四番地伊藤文太郎及福島市大字福島字五日町二十六番地瑞卷セツノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和五年十二月九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月九日　福島區裁判所

本籍及最後ノ住所北海道茅部郡落部村字野田追六十四番地戸主
　不在者　平田半藏
　嘉永元年四月十一日生

右ニ對シ長男平田豐次郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和五年十二月八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

　昭和五年十二月八日　函館區裁判所

◎除權判決

宮城縣亘理郡逢隈村小山字西山三十五番地
　申立人　村上順一
　右代理人辯護士　設樂勇雄

右昭和五年(ヘ)第二號公示催告申立事件ニ付申立人ノ申立ニ依リ左ノ證券ノ無效ヲ宣言シタリ

記

一株式會社五城銀行株式五十圓拂込濟株主名義者村上順一十株券二枚(舊乙第二七八號舊乙第二七九號)

一同上銀行株券十二圓五十錢拂込株主名義同上五十株券一枚(第二新甲第七四八號)同上十株券八枚(第二新乙第六五八號乃至六六五號)

　昭年五年十二月十日　仙臺區裁判所　判事　上野魁春

◎破産監査委員選任

東京市麴町區上二番町六番地
　森山邦雄

山崎吉熊ニ對スル大正十四年(ツ)第三二號破産事件ニ付本日ノ債權者集會ノ決議ニヨリ選任セラレタル前記ノ監査委員ハ之ヲ認可ス

　昭和五年十二月十日　東京區裁判所　判事　黒川眞前

◎債權者集會招集

破産者古賀儀一郎ニ對スル破産事件ニ付破産管財人安永澤太ノ申立ニ依リ計算報告ノ爲メノ債權者集會ノ期日ヲ昭和五年十二月二十三日午前十時ト定メ之ヲ當裁判所ニ招集ス

　昭和五年十二月十日　佐賀區裁判所

　破産者　宇島窯業株式會社
　法定代理人　久良知重彦

右ニ對スル大正十二年(ヲ)第三三號破産事件ニ付管財人小野政太郎ノ申立ニ依リ破産財團報告並ニ同財團除外及終局計算報告ノタメ昭和五年十二月二十三日午前十時債權者集會ヲ當裁判所ニ招集ス

　昭和五年十二月八日　小倉區裁判所

◎債權調査期日

　破産者　伊藤庄五郎

右ノ者ニ對スル大正十二年(メ)第一二一號破産事件ニ付當裁判所ハ債權屆出期間經過後ニ屆出タル債權調査ノ爲ノ特別債權調査期日ヲ昭和五年十二月二十三日午後一時ト指定ス

　昭和五年十二月十三日　京都區裁判所

◎債權者集會期日

　破産者　范美開午

右ノ者ニ對スル大正一五年破第三二號破産事件ニ付債權者集會ヲ左ノ如ク當廳ニ於テ招集ス

一日時　昭和五年十二月二十日午前九時
一會議事項　破産管財人ノ終局計算ノ報告

右公告ス

　昭和五年十二月六日　臺北地方法院單獨部

　破産者　株式會社臺和洋行

右ノ者ニ對スル大正一三年破第一一號破産事件ニ付債權者集會ヲ左ノ如ク當廳ニ於テ招集ス

一日時　昭和五年十二月二十日午前九時
一會議事項　破産管財人安田勝次郎ノ終局計算ノ報告

右公告ス

　昭和五年十二月六日　臺北地方法院單獨部

◎和議認可

大阪府泉南郡麻生郷村大字半田百九十八番地
　債務者　川崎德松

右債務者ノ申立ニ係ル昭和五年(ミ)第五號和議申立事件ニ付債務者カ左記條件ヲ提供シテ爲シタル和議ハ昭和五年十二月九日午後一時ノ債權者集會ニ於テ可決セラレタルヲ以テ當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ

主文

債務者ノ提供ニ係ル左記和議條件ヲ以テスル和議ハ之ヲ認可ス

理由

債務者ハ昭和五年十二月九日午後一時ノ和議期日ニ出頭シ左記記載ノ和議條件ヲ以テスル和議提供ノ申立ヲ爲シ議決權ヲ行フコトヲ得ヘキ債權者十八名出頭シ全部左記和議條件ニ同意スル旨陳述シタリ

按スルニ本件和議期日タル債權者集會ノ期日ニ於テ債務者ノ適法ナル提供ニ係ル左記記載ノ和議條件ニ對シ出席債權者ノ過半數タル十八名ノ同意アリ且ツ其債權額カ總債權ノ四分ノ三以上ニ當ルヲ以テ適法ナル和議ノ可決アリタルモノト認メ主文ノ如ク決定ス

　昭和五年十二月九日　堺區裁判所　判事　山本常石

和議條件

一、和議債權ノ一割ヲ和議認可決定ノ確定ヨリ六箇月間内ニ支拂フコト
二、和議債權ノ一割ヲ右第一回ノ支拂ヲ爲シタル日ヨリ一箇年内ニ支拂フコト
三、和議債權ノ一割ヲ右第二回ノ支拂ヲ爲シタル日ヨリ一箇年内ニ支拂フコト
四、以上第一回乃至第三回ノ支拂ヲ完了シタルトキハ殘額債權ハ免除スルコト

香川縣三豐郡財田村
　債務者　有限責任財田信用購買販賣利用組合

右者ニ對スル昭和五年(ミ)第一號和議事件ニ付債務者ノ提供シタル左記條件ニ依ル和議ハ昭和五年十二月十一日午前九時ノ債權者集會ニ於テ法定數ヲ得テ可決セラレ而モ右和議ハ不認可ノ決定ヲ爲スヘキ事由存セサルヲ以テ當裁判所ハ左ノ如ク決定ス

主文

本件和議ハ之ヲ認可ス

　昭和五年十二月十一日　丸龜區裁判所　判事　松山精一

和議條件

一、和議債權ハ昭和五年四月十六日以降無利息トスルコト
二、和議債權ハ之ヲ左ノ割合ニヨリ債權額ニ按分シテ支拂ヒ以テ其債權ヲ消滅セシムルコト
(イ)昭和六年一月二十五日ニ債權額ノ百分ノ十
(ロ)昭和七年一月二十五日ニ債權額ノ百分ノ十
(ハ)昭和八年一月二十五日ニ債權額ノ百分ノ十五
(ニ)昭和九年一月二十五日ニ債權額ノ百分ノ十五
(ホ)昭和十年一月二十五日ニ同日マテノ缺損見込額六萬五千八百八十四圓四十八錢八厘中現實ニ回收シ得ラレタルモノ又ハ處分シ得ラレタルモノアルトキハ之ニ要セシ一切ノ費用ヲ控除シタル殘額ヲ和議債權額ニ按分シテ支拂フコト
三、理事近藤貞吉、赤坂政右衛門、高原照三、伊藤喜久五郎、大西惣吉、三宅紋治、近藤秀男、川崎重雄、大西米三郎、小野寛三郎ハ前記(イ)(ロ)(ハ)(ニ)ノ支拂ヲ保證ス

◎和議不認可

那賀郡寶田村大字今市字名七番地
　債務者　美馬仁一

右者ニ對スル昭和四年(ミ)第二號和議事件ニ付昭和四年十一月二十八日ノ債權者集會期日ニ於テ法定數ヲ得テ可決セラレタルモ和議債權中無利息債權ト利息付債權ト併存セルニ拘ハラス本件和議條件ハ元本債權ノミノ債權ト元本及利息付債權トヲ區別セス元本債權ノミニ對シ其ノ一割七分ノ支拂ヲ爲シ殘存元本債權及利息付債權者ノ利息全部ヲ免除スルハ和議債權者ニ平等ナリト謂フ可カラサル理由アルヲ以テ當裁判所ハ左ノ如ク決定ス

主文

本件和議ハ之ヲ認可セス

右公告ス

　昭和五年十二月十一日　德島區裁判所　判事　村上省悟

◎和議手續開始

山口縣美禰郡大田町
　債務者　松村正三郎

右ノ者ニ對スル昭和五年(和)第二號和議事件ニ付當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ

一債務者松村正三郎ニ對シ和議手續ヲ開始ス
一和議管財人　山口市大字相良小路四九〇番地　辯護士　中村了詮
一債權屆出期間　昭和五年十二月二十四日迄
一債權者集會ノ期日　昭和六年一月十九日午後一時

　昭和五年十二月九日　山口區裁判所　判事　久保義虎

◎供託物取戻ニ關スル屆出ノ催告

一供託番號大正十五年金第一三六號
一金四千圓也
一供託原因辨濟供託
一供託者　戸畑市東本町七丁目　池尻祐九郎

右供託物戸畑市中原八百五十五番地高橋兵夫ヨリ還付請求アリタルニ付キ異議アル者ハ昭和五年十二月二十六日迄當局ヘ申出ヘシ

　昭和五年十二月十二日　福岡供託局小倉出張所

◎行旅死亡人

本籍住所氏名、自稱高見長吏、職業身分不詳推定二十四五歳女身幹四尺七寸痩セ方顔長キ方顔色白耳目並鼻隆キ方口大出齒肩滿シ頭髮濃キ方特徴鼻背ニ不規則ナル瘢痕アリ鼻齶著衣綿絽納戸色花模樣浴衣本綿紋一重腰卷木綿横筋入伊達卷

右本年九月九日ヨリ當地川越病院ニ收容監護中ノ處本日午後零時半死亡假埋葬ス心當リノ者ハ申出テラルヘシ

　昭和五年十二月五日　京都市左京區役所

本籍住所不詳自稱文田孝三十三年身長五尺一寸位中肉顔長色蒼白其他普通頭髮長刈白メリヤスシヤツ紺絣木綿股引ヲ著シ紺地下足袋ヲ穿ツ

右行旅病人トシテ京都施藥院ニ委託救護中ノ處去月十四日死亡假埋葬ス

　昭和五年十一月十三日　京都市東山區役所

◎日本銀行週報

◎兌換銀行券發行高毎週平均高報告(自昭和五年十二月七日至昭和五年十二月十三日)

		円
發行兌換銀行券		一、〇九六、五四二、八一二・〇〇〇
内制限超過高		一五三、七六三、三四九・〇〇〇
準備	金貨及金地金	八二二、七七九、四六三・〇〇〇
保證	公債	七四、九五八、〇三五・〇〇〇
	政府證券	二二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
	證券	四四、七七四、五一四・〇〇〇
	手形	一三二、〇三〇、八〇〇・〇〇〇
	合計	二七三、七六三、三四九・〇〇〇

◎營業毎週報告(昭和五年十二月十三日)

負債ノ部

		円
資本金		六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金及損益金		一一三、四三五、四四八・三三三
發行兌換銀行券		一、一一一、三四八、六九五・〇〇〇
政府預金	政府當座預金	一八〇、三六九、九〇七・四三八
	其他	三〇二、八二四、六一四・四五三
	計	四八三、一九四、五二一・八九一
一般預金		二六八、二二三、〇一九・六一〇
小額紙幣準備寄託金		一一、七八〇、〇〇〇・〇〇〇
其他		九二、四八二、一七四・八二四
總計		二、一四〇、四六三、八五九・六五八

資産ノ部

拂込未濟資本金		二三、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
現金	金貨及金地金	八二三、五六〇、二三五・三七〇
	其他	五九、五〇七、一〇四・二五〇
	計	八八三、〇六七、三三九・六二〇
割引手形		六七一、七八四、九九四・三六〇
政府法定貸金		二三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
政府一時貸金		二、九二四、七五六・二五〇
貸付金		三三、三三二、七五四・一九七
外國爲替貸金		二九、九四九、八四〇・〇九〇
公債		一七八、九〇三、七〇四・五三〇
代理店勘定		二六八、四一四、六六四・二七一
政府勘定特殊現金		四、〇二五、九〇五・三二九
小額紙幣準備保管金		一一、七八〇、〇〇〇・〇〇〇
其他		一一、七七九、九〇一・〇一一
總計		二、一四〇、四六三、八五九・六五八

　昭和五年十二月十六日　日本銀行

正誤

昨十六日本欄内地米買入事務所及手續並受渡指定倉庫ノ項中　四三三頁四段十行「神戸市島上川崎町」ハ「神戸市川崎町」ノ誤

本月十二日同昭和五年高等試驗令第七條ニ依ル試驗科目合格者ノ項中　三五二頁三段二十九行「(歷)小林三造」ハ「(漢)小林三造」同十六日同内地米買入事務所及手續並受渡指定倉庫ノ項中　四三四頁二段五行「昭和五年産ニ重俵入」ハ「昭和五年産二重俵入」四三五頁二段十九行「北海道製罐倉庫株式會社」ハ「北海製罐倉庫株式會社」ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

	通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
加奈陀、米國、南米等行	三、一八前一〇	三、一八前九半	—	横濱	エムプレス、オブ、エシア號
香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行	同　一八後八	同　一八後七、四五	—	長崎	熱田丸
布哇、米國、加奈陀、南米等行	同　一九前一〇	同　一九前九半	三、一九前九半	横濱	秩父丸
南支那、香港、海峽殖民地、フィリピン群島、英領印度等行	同　一九前八半	同　一八後一〇	—	門司	白山丸

第1192号 本文

出張所
東京市神田區鍛冶町二ノ五
門司市東本町二丁目
京城府南大門通三丁目
呉、佐世保、横須賀、舞鶴

帝麻布ホース
消防ポンプ
角一ゴム製品

株式會社 赤尾保商店
大阪西區立賣堀南通六丁目
電話新町五四八・五四九

東京で一番 安すくて品の良い
丸角のワイシャツ

A白キャリコ	一、二〇
B上質替カフス付同	一、六〇
C國産最上キャリコ	一、八〇
A富士絹	二、〇〇
同替カフス付	二、四〇
B厚地極上富士絹	三、〇〇
同替カフス付	三、六〇
茶色ネル一〇〇　折衿	一、二〇
鼠色オボロネル	一、三〇
鼠色綾ネル	一、七〇
折衿格子縞綾ネル	一、八〇
折衿紺色ギヤバヂン	二、〇〇
鼠色半毛	二、四〇
A純毛	三、〇〇
極上本ラクダ（鼠、茶色）（無地）	四、二〇

生地見本郵券六錢を要す衿時御明記送料内地一枚十八錢殖民地四十五錢代引十錢増

淺草駒形橋前
丸角
電話淺草一九四九番振替東京一五九九二

株式會社長野農工銀行株式失權公告

株式會社日本勸業銀行ガ株式會社長野農工銀行ヲ合併スルニ付昭和五年拾月貳拾日日本勸業銀行株主總會竝ニ同年同月拾六日長野農工銀行株主總會ノ決議ニヨリ長野農工銀行ノ壹株貳拾圓全額拂込濟ノ株式參拾萬株ヲ日本勸業銀行壹株五拾圓全額拂込濟ノ株式六萬株ニ併合ノタメ株券ヲ提供スベキ旨昭和五年拾月貳拾參日附通知竝ニ公告ヲナシタル處所定ノ期間タル昭和五年拾壹月貳拾八日迄ニ株券ヲ提供セザルニ因リ失權シタルモノ及株式併合ニ適セザルニ因リ失權シタルモノ左ノ通リニ付此段公告候也

昭和五年十二月十六日

東京市麴町區内山下町壹丁目壹番地
株式會社日本勸業銀行

左記株式ハ株券ヲ提供セザルニ因リ失權

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第1192号本文

第1192号　本文

甲五貳壹六同町柳澤德治子甲四八壹七、四八壹八同町望月義男甲壹六貳〇、壹六貳壹同町大久保邦門甲六六七九同町宮崎瀧野子甲四八〇貳、四八壹參同町酒井三郎甲五貳七九、五貳八〇、五五七〇同町宮崎萬平甲自五貳八壹至五貳八四同郡鷄崎村清水鎌治甲自貳〇五四四至貳〇五四六同村田中利夫甲自四壹參貳至四壹參四同郡川柳村神田賢太甲自五參壹六至五參壹八同村小山正直甲五參壹九同村高坂治雄甲壹參四參五、壹參四參六同村小山のぶ甲壹五〇參〇、貳壹七七九同村中村鎭甲五參四〇、五參四壹同村南澤安雄甲五參四九同郡信田村高沼重藏甲五參五六同村柳澤徵之助子甲四九貳貳、四九貳參同村小林德次甲自壹參四九九至壹參五〇壹同村北澤信太郎甲五參七〇同郡大岡村矢野忠昌甲五參七參同郡稻荷山町田中富作甲自五參七六至五參七九同町高村力太郎甲自五參八四至五參八七同町山本晉十甲自五參八八至五參九〇同町兒玉たの甲自五四壹四至五四壹六甲壹參五參參同町唐澤せん甲貳〇六貳〇子甲自四九四參至四九四五同町唐澤ゐき甲自五四貳參至五四貳五同郡桑原村關殷甲五四貳六同村綠川續甲五四貳八、五四貳壹、五四貳貳同村堀內盛太郎子甲四九五五、四九五六同村唐澤富太郎甲五四貳九、五四參〇同郡更府村富田彌總子甲四九六八、四九六九同村太田かげよ甲五四四六同郡村上村大井貞太郎甲五四五五、五四五六同村小林方策甲五四六壹、貳〇六五六、子甲四九八貳同村宮原健助甲自五四六貳至五四六四同村飯野入猪太郎甲自壹參四參〇至壹參四參貳、貳〇六七八同郡牧鄉村小林政治郎甲五四九五、五四九六同郡日原村横川鎌吉甲五四八〇、五四
八壹同郡牧鄉村中島健太郎

甲五五壹貳同縣埴科郡屋代町石黑義保甲五五壹四、五五壹五同町石黑菊之助甲五五壹六、五五壹七同町鵜澤光雄甲自五五壹八至五五貳〇同町和田儀市甲自五五貳貳至五五貳四同町屋代町子甲五九六七、五九六八同町小山忠雄甲五五貳五、五五貳六同郡森村西村正名甲五五參壹、五五參貳同村岡田良治甲自五五參參至五五參五同村近藤儀七郎甲五五參六同村宮島光伊甲五五五參七、五五參八同村南澤茂吉甲五五四壹同村島田伴九郎甲自五五四六至五五四八同村宮尾義門子甲五〇七參、五〇七四同村久保武信甲五五五參、五五五四同郡埴生村川島濤治郎甲五五〇七、五九四〇同村宮坂鐵次郎甲自五五八壹至五五八四同郡五加村竹內多賀之助甲五五九九同村宮入仲治郎甲自五六〇七至五六〇九同村瀨在逸明甲自五六壹〇至五六壹貳同村瀨在得二甲自五六壹參至五六壹五同村瀨在金治郎甲自五六〇〇至五六〇貳同村南澤吉重郎甲五六〇六、壹參七參六同村瀨在忠幸甲自五六參六至五六參九同郡雨宮縣村半田文治甲自五六四壹至五六四參同村野澤明美甲五六五〇同村雨宮縣村甲壹四貳〇貳、壹四貳〇參同村半田積子甲五壹六六同郡坂城町富岡助太子甲五壹七參同町宮岡とも甲自壹〇貳參至壹〇貳五同町佐々木百平甲五六八七同郡倉科村長浦春平甲五六八八同村浦野廣衞甲五六九五同村湯本大明勇甲五七壹五、五七壹六、壹參九〇八、壹參九〇九同郡戶倉村倉島平太甲自五七貳五至五七貳七同村兒玉安太郎甲自五七五〇至五七五貳同郡松代町伴治助甲五七五四、五七五五同町川合きつ甲五七七貳、五七七參同町山本今朝治甲自五七八五至五七八八

同町相澤喜平甲自五八壹參至五八壹五同町島田稿甲自五八貳參至五八貳五同町萩原傳之丞子甲五貳五參、五貳五四、六九八貳同町山口勇雄甲自貳〇九參九至貳〇九四壹同町長谷川正人甲壹參九參四同町伴遊巫甲貳〇九壹七同町小池安衞甲五八四〇、五八四壹同郡櫻榮村伊藤忠治甲五八四七同村村松明左衞門子甲自五貳六九至五貳七壹同村井ロ彥次甲五九〇參同郡寺尾村坂口勘太夫甲自五九〇五至五九〇七同村酒井新太郎甲五九〇八同村宮林金太郎甲五九壹壹同村宮林五三郎甲五九壹貳同村宮入登治甲自五九壹參至五九壹六同村清水原保甲五九參參同村小林穀之助甲五九參六、五九參七同村長田巳克子甲五參九參、五參九四同村中澤性吉甲五八八五同村丸山ちせ甲貳〇九八貳同村丸山すみ甲自五九六壹至五九六參、貳壹〇五〇同郡西條村松本誠男甲自五九六九至五九七壹同村東條兵衞甲五九七貳同村丸山存應子甲五四貳貳、五四貳參同村永井五郎甲自五九八六至五九八八同郡清野村齋藤孝助甲自五九八九至五九九壹同村淸野村甲自五九八貳至五九八五同村小林金太甲六〇〇〇同郡東條村小山安太郎甲五九九六同村青木元治甲自壹七貳五五至壹七貳五七同郡屋代町宮坂克巳甲自五五八六至五五八八同郡五加村中村周太郎甲五壹參四、五壹參五同村中村よん甲自壹參八七壹至壹參八七參同郡南條村瀧澤忠郎

甲自六〇〇五至六〇〇七同縣上高井郡井上村市川嘉十郎甲自六〇〇九至六〇壹壹子甲五四五壹同村横山勝之助甲六〇壹四同村高橋嶋之助甲六〇壹五、壹四貳四七、貳壹〇九壹、貳壹〇九貳同村塚田二之助甲六〇貳〇同村小林今朝太郎甲六〇四貳、六〇

四參同郡川田村今井馨甲自六〇五四至六〇五七同村千原邦作甲自六〇五八至六〇六壹同村千原左一郎甲六〇六參同村岡村善治郎甲六〇六四、壹四貳九貳同村岡木茂松甲六〇六七同村義家判之助甲六〇七五同村丸山善平甲自六壹〇貳至六壹〇四同村北城すい子甲自壹〇〇〇至壹〇〇參同村小森忠治甲六壹壹七、六壹壹八同郡日野村坪井井藏甲自六壹貳五至六壹貳七同村上原仁總治甲自六壹參四至六壹參六同村黑岩金十郎甲六壹四〇同村古平登作甲六壹四參、貳壹壹八〇子甲五五四九同村佐藤仙之助甲參五六參、參五六四同村富澤芳三甲六壹四九、六壹五〇同郡日瀧村勝山金八甲自六壹七壹至六壹七參、壹四參七貳同村北澤茂吉甲七〇六參、貳壹貳壹壹六子甲五五九六同村牧良助子甲五五〇參甲貳壹壹參六同村二ノ宮邦三郎甲自壹四四貳八至壹四四參〇子甲五六參〇同村牧みよし甲六貳〇壹、六四八四同郡須坂町神林民藏甲六貳壹六同町廣田菊太郎甲自六貳壹八至六貳貳〇同町田中田嶋甲自六參貳七至六參貳九同町堀內末之助甲六參參參八六參參四同町曾澤元吉甲六參參五同町塚田篤之助甲六參五貳、壹四五六九、貳壹參八四、貳壹參八五同町山岸慈治子甲五六四八、五六四九同町須坂春木町青年支會子甲五七壹〇同町小田切菊治甲六貳參六同郡保科村竹內覺彌甲六貳四九、六貳五〇、壹四四六五同村山本嘉ひ甲六貳五五、壹四四七壹同村小林袈裟造甲六貳六五同村平林恒一郎甲壹四四五六同村玉井德太甲自六貳八六至六貳八八同郡高井村山崎善重郎甲自六貳九參至六貳九五同村小出和四郎甲六貳九六、六貳九七同村齋藤鷄之助甲自六貳九八至六參〇壹同村湯本儀助甲

自六參〇貳至六參〇五同村宮前大祐甲六壹九貳、六壹九參、六壹五參、六壹五四同村勝山榮三郎甲自六參壹五至六參壹七同郡豐丘村羽生田勘藏甲六參壹九同村羽生田末次郎甲六參八四、六參八五同郡山田村關場組甲自壹四六參壹至壹四六參參同村涌井國治甲六四〇參同郡豐洲村市村乙女甲六四壹四同村北村宇市甲自六四壹八至六四貳〇同村三木虎藏甲六四〇七同村中島仲作甲六四〇九同村中島たけ甲六四貳九、六四參〇同郡小布施村芳賀三治甲六四參壹、六四參貳同村本間小一郎甲六四參參同村富岡又七甲自六四參七至六四參九同村田中鷄吉甲自壹貳六八壹至壹貳六八參同村田中十一郎甲自六四五壹至六四五參同村久保唯之助甲六四五七同村迅山政治甲六四六五、六四六六同村三田梅治郎甲六四七〇同村島田總之助甲六四七參同村樋田一郎甲六四七八同村持田兜三郎甲自六四八五至六四八八同村土屋定藏甲六四九貳、六四九參同村鷄田卷光子甲五八九貳、五八九參同村久保龜之助子甲五八九六、五八九七、五六貳壹、五六貳貳同村久保健治甲自六四四參至六四四六同村實瀬同志會甲貳壹四五〇同郡郡住村高野新三郎甲自七五〇貳至七五〇四同村矢島正吉甲壹五貳五壹、壹五貳五貳同村矢島きく甲五七九、五八〇、六〇九同村矢島きよ甲八〇〇五、八〇〇六同郡綿內村峰村淸水甲六壹參〇同郡日野村黑岩淸之助甲六貳七四、壹四四八七、貳壹參參〇、貳壹參參壹同郡仁禮村坂田太三郎

甲自六四九六至六四九九同縣下高井郡夜間瀨村山崎嘉市甲六五〇四同郡瑞穗村江村豐作甲六五〇五、貳壹五五壹貳子甲五九〇七同村大平留太郎甲六五〇六、

貳壹五壹參子甲五九〇八同村大平鐵藏甲六五〇七壹四七參五、貳壹五壹四、貳壹五壹五同村岡本平作甲六五〇八、貳壹五壹六子甲五九〇九同村大平宇太郎甲六五壹壹、貳壹五壹九子甲五九壹壹同村吉原源吉甲六五壹四、六五壹五同村宮崎繁春甲六五壹六同村闕口千代松甲六五壹七同村鈴木久治郎甲六五壹八、六五壹九同村小林俊治郎甲六五貳貳同郡日野村小林濟八甲六五貳四同村小林庄右衞門甲六五參四同郡穗高村山崎貞造甲六五四七、六五四八同郡豐鄉村富井米作甲自貳壹五七參至貳壹五七五、六五五八同村竹井豐吉甲六五七壹同郡中野町青木龜藏甲自六五七貳至六五七五同町闕小三郎甲六五七七同町海野武夫甲貳壹五四四同町樋ロひき甲六五七八甲六五七九同郡科野村池田濟右衞門甲自六五八貳至六五八四、壹四八貳五同村畦上直吉甲六六貳參同郡住鄉村芳原寬一甲六六貳四同村土屋常藏甲自六五八八至六五九〇同郡倭村山岸賓次郎甲六五九壹、六五九貳同村町田八郎甲自六五九八至六六〇壹同村丸山宇助甲六六〇八同村小林連甲六六壹壹甲六六壹貳同村畦上高之助甲自六六壹參至六六六壹五、貳壹六壹九同村望月勇次良甲六六貳〇、六六貳壹同村須藤伊三良甲壹四八六參、壹四八六四同村山田宗之助甲六六貳七同郡平岡村荻原高吉甲六六參壹同郡高丘村伊藤善八甲六六參貳、六六參參、壹四八七壹同村若林妙治甲六六四〇、六六四壹同村鈴木管太郎甲六六四貳、六六四參同村鈴木九藏甲自六六四五至六六四七同村鈴木常五郎甲自六六參四至六六參六同村丸谷吉郎治甲自六六參七至六六參九同村酒井芳次甲壹參參五四、壹參參五五同村春原一二甲自六六五〇

至六六五參同郡平野村竹內伊左衞門甲六六六八同村阿部類之助甲貳壹六七五貳壹、六七六同村春原辨吉甲六六五七、貳貳五壹九、貳貳五貳〇東京府荏原郡蒲田町小林景德甲壹八參〇七長野縣下高井郡平穗村宮崎かね甲自六六八八至六六九〇同郡延德村金子大次郎甲貳壹六八五同村酒井信治甲六六九壹同村木村丑五郎子甲五七參五同村宮崎準次郎甲六七〇七同郡長丘村發田隆信甲六七〇四、六七〇五同村高山源五郎甲貳壹六九九、六六九八子甲六〇八四同村山崎鶴治甲六七壹四、六七壹五同郡穗波村中山賢吉甲壹壹六貳同郡木島村小林宇喜彌甲六五參〇、六五參壹同郡日野村關谷逸治

甲五參參〇、五參參壹同縣上水內郡安茂里村塚田七郎甲自六七參〇至六七參參同村塚田佐市甲七〇七〇同村戶雄茂三郎甲六七參七同郡大豆島村西澤卓月甲六八〇七同郡南小川村中牧磯善甲六八壹六、六八壹七同村山中亥三男甲六八貳壹同村松本菊雄甲六八貳貳、壹五〇七八、壹五〇七四、貳壹八四五同村松本仲治甲六八六九同村新井幸治甲六八參〇、貳八參壹同村酒井友吉甲六八參[illegible]同村酒井小右衞門甲六八參五同村南小川村甲壹五〇六五、壹五〇六六六子甲六貳壹九同村北田喜佐治甲貳壹八參八同村松本尧治子甲六貳參貳、六貳參參同村鐵倉敏雄甲六八四四同郡鳥居村白井又吉甲六八四參、壹五〇九九同村島居村甲六八五貳、六八五參同郡北小川村柳澤流治甲六八五五同村峰村齋信子甲六貳參壹、六八五四、貳壹八八壹同村松澤景二夫甲六六八〇參、貳貳四九八、貳壹八貳壹、貳壹八貳貳同村小林弁治甲自六九五八至六九六壹同郡中鄉村山本虎之助甲自六參壹壹至六參壹

參同村原田利榮子甲六貳四四、六貳四五同村丸山龜太郎甲自六九八八至六九九壹同郡戶隱村松本喜和治甲貳壹九九〇、貳壹九九壹子甲六貳六五同村二本松龜太郎甲自七〇〇貳至七〇〇五同郡神鄉村神鄉村甲七〇〇九同郡朝陽村瀧澤忠市郎甲七〇貳參、七〇貳四同村森山獺市甲七〇貳七、七〇貳八同村横四啓助甲七〇五四同郡水內村町田利三郎甲壹參六〇九同村町田直治郎甲壹〇五參九同村森幹甲自七〇五五至七〇五八同郡古里村刀根川長雄甲七〇七四、壹五貳九八同郡津和村津和村甲壹五四四參、壹五四四四、同村村社豊受神社甲自七壹壹參至七壹壹六同郡柵村柵村甲七壹壹七同村鈴木安治甲七壹壹八同郡柏原村柏原村甲七壹參貳同郡鬼無里村宮下綾之助子甲六參六參、六參六四、六九九九同村佐藤碩太郎甲自七壹參五至七壹參八同郡淺川村淺川村甲七壹四參同郡榮村榮村甲七壹八〇、七壹八壹同郡柳原村藤森市之助甲六六貳五、六六貳六同村渡邊菊之助甲八參貳、八參參、八參七〇同郡古間村木田邦治甲自七壹六壹至七壹六四同郡信濃尻村信濃尻村甲七壹六五同村平探雅作甲六八壹五、六八貳八同郡南小川村久保田文重甲六八〇六、貳壹八貳五同村和田啓吉甲六八貳七、壹五〇八〇、貳壹八五壹、貳壹八五貳同村松本忠吉子甲自六貳〇五至六貳〇七同村宮下奴齊甲自貳貳〇五五至貳貳〇五七同郡津和村篠根綾

甲七壹九〇同縣下水內郡太田村今淸水森作甲自七壹九八至七貳〇〇同村水野貝一甲自七貳〇四至七貳〇六甲七壹九壹同村森山守甲壹五五九七、壹五五九八同村水野惣藏甲七壹九貳、貳貳壹六壹、壹五四五貳同村野口德治子甲六四五貳、六四五參甲貳〇

九參〇同村野口多助甲七貳〇七同郡飯山町長瀨幸一子甲自六四五八至六四六〇同町堀內庄八甲自壹〇貳〇至壹〇貳貳、貳八四八同町小林權次郎甲七貳四壹同郡柳原村武田仁作甲七貳四貳同村月岡巍三郎甲七貳四參同村清水武市甲壹五五壹四、貳貳貳貳貳、貳貳貳貳參、貳貳五貳四同郡常盤村沼田清一郎甲七貳五貳同村大熊金藏甲七貳五參同村高橋偵造甲自壹五六〇四至壹五六〇六、貳貳貳參〇同村常盤共濟會甲七貳五八同郡外樣村丸山勝治甲七貳五九、壹五五貳四、貳貳四貳同郡秋津村荻原太作甲七貳六七同村荻原龜吉甲七貳八七、七貳八八同村猪瀨熊吉甲自七貳八參至七貳八五同郡豐井村神田定治甲七貳八六、壹五五四五、貳貳貳六四、貳貳貳六五同村高橋要藏甲七貳九四、壹五五五參、貳貳貳七參、貳貳貳七四同村佐藤一甲七貳九七、七貳九八同村佐藤德右衞門甲七三〇八、七三〇九同村宮本佐太郎甲七參壹〇、七參壹壹壹同村宮澤製治甲自七參壹貳至七參壹四同村宮澤寅藏甲七參壹五、貳貳參〇參子甲六五七五四同村清水多市甲七參貳參、七參貳四、同郡水內村與瀨與八郎甲七七貳參九、七貳四〇同郡柳村村高柳林三郎甲七貳〇壹、貳〇貳、壹五四五七同郡太田村宮澤定吉

子甲七〇〇六長野市權堂町青木直人甲自七參參八至七參四〇同市大門町藤井正五郎子甲六五七六、六五七七同町松澤廣甲自貳壹七五〇至貳壹七五貳同市縣町早川泰信甲貳壹七七、貳壹七八同町小斐清合養會社甲自七四壹七至七四壹九同町小笠原德治甲自七四〇參至七四〇六同市石堂町小池清三郎甲六九六九同市西之門町藤井伊右衞門甲七四〇貳同市鶴賀新地饒邊萬平甲七參

第1192号　本文

京大教授
法學博士　佐々木惣一著

新刊

日本憲法要論

公法學の權威として推重されてゐる博士の憲法論が出た。本書は、整然と組織をたてゝ、その下に、個々の事項を正確に考察したもので、學術的に精密な立論を、明快な文章で開展してある。我憲法を理解するには、最も有力な根據を示すであらう。業務や研究の爲憲法の知識を必要とする實務家や修學者は勿論、苟も立憲國民たるの自覺を持つ人々の、座右の好伴侶である。

菊判背革裝幀
紙數七二六頁
正價　五圓
送料二十七錢

振替東京八四二四
金刺書店
東京市神田區今川小路

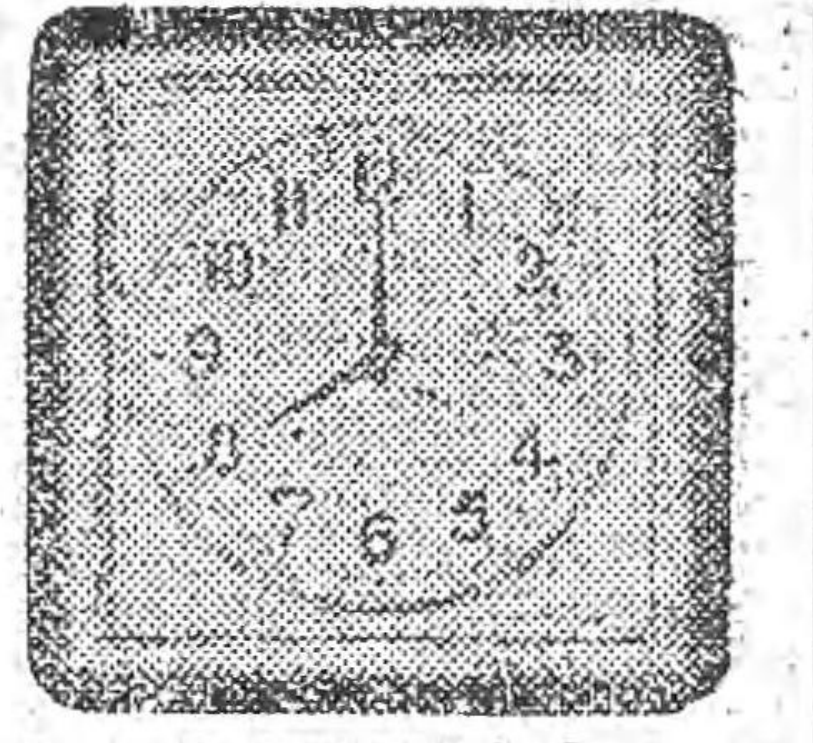
登錄商標

御用品＝諸官衙、各銀行、會社、商店、
絕對的優秀品として斯界に冠絕せる本品の賣行益々熾んなり

ミカド印複寫紙

製造元　大阪　東洋複寫紙合資會社

全國到る處の和洋帳簿商文具店に販賣す



諸官省學校會社銀行御用品

純國產
アクメ電氣時計の特長

一、懷中電氣用の乾電池壹個で六ヶ月以上動きます
一、乾電池式ですから時間は絕對に正確です
一、純國產品ですから價格は至極低廉です
一、ゼンマイも無く、油さす事もなく故に絕對修理なし
一、器械に故障の出來た場合は三ヶ年以內何時でも新品と取替へます

アクメ單獨電氣時計

（丸型）（御註文ハ前金又ハ引替證付）
全型一尺四寸
金拾五圓也

（長型）
長サ……二尺五分
巾……一尺一寸
金拾八圓也
（大阪渡シ）

合資會社　アクメ電氣時計商會
大阪市東區天滿橋南詰西

ロイドインキ

筆記用
萬年筆用

優良國產

豆形
二弓入
六弓入
十二弓入
廿四弓入

各地文具紙店ニアリ

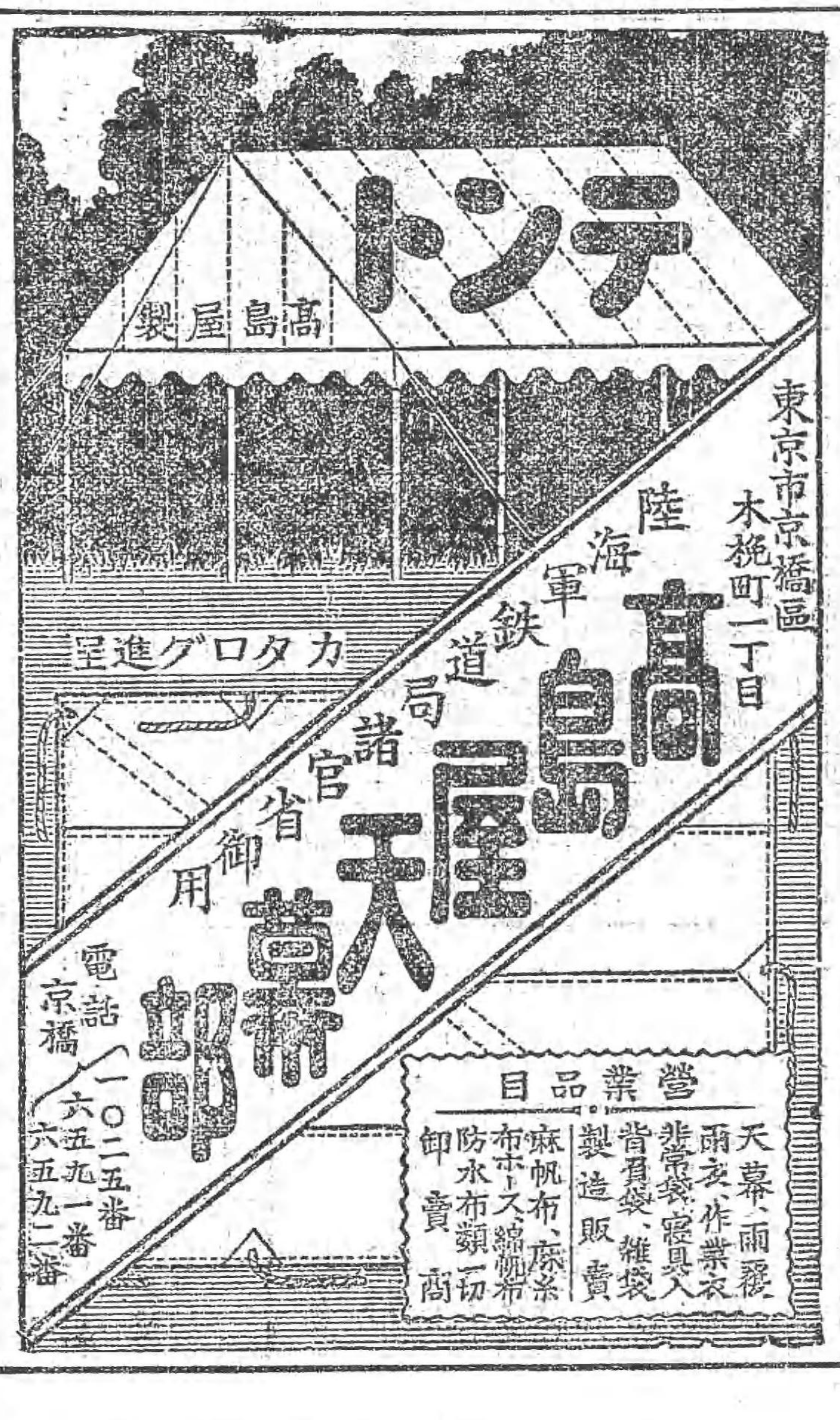
東京鈴木インキ店

特許　タイガー印
カーボンペーパー

國產の最高位

輸入防遏の宿志を
貫徹せる苦心研究
貳拾四年間の製品
品質常に一定
手を汚さず字跡鮮明

發賣元
堀井謄寫堂南店
東京神田



テント
高島屋製

カタログ進呈

東京市京橋區木挽町一丁目
陸海軍鉄道局諸官省御用
高島屋天幕部
電話京橋（一〇二五番　六五九一番　六五九二番）

營業品目
天幕、雨覆
雨衣、作業衣
非常袋、寢具入
背負袋、雜袋
製造販賣
麻帆布、麻系
布ホース、綿帆布
防水布類一切
卸賣商

定價　一ヶ月　九十五錢　一箇[illegible]八十錢（外國郵便ニ依ル地域）各送料共
一部　五錢　八錢
廣告料　本公告　六號一行　三十錢　五圓五錢四號十錢增
一般廣告　六號十四字詰一行　二十五錢

發行所
東京市麴町區大手町
內閣印刷局
電話番町九ノ內三五一四　振替東京一九〇〇〇番

明治三十一年十一月十五日第三種郵便物認可　◎廣告ニ別刷一六頁

付録

◎商業登記

●小松電氣株式會社變更（支店）
一監査役殿瀬鎮之ハ昭和五年十月二十一日死亡ス
右昭和五年十月三十一日登記　金澤區裁判所津幡出張所

●合名會社加藤商事部解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和五年十月三十一日解散ス
右昭和五年十月三十一日登記　七尾區裁判所高濱出張所

●富山電氣鐵道株式會社變更
一取締役佐伯宗義ハ昭和五年九月三十日住所ヲ左ノ地ニ移轉ス
東京府北豐島郡瀧野川町大字上中里三一番地圖號
右昭和五年十月七日登記

●喜多駒酒造株式會社變更
一監査役大崎常次郎ハ昭和五年十月十二日死亡ス
右昭和五年十月二十四日登記

●富山無盡株式會社變更
一取締役大崎常次郎ハ昭和五年十月十二日死亡ス

●株式會社不動貯金銀行更正（支店）
小倉市室町一番地ノ支店ヲ左ノ如ク更正ス
小倉市室町一番地ノ一
右昭和五年十月二十七日登記

●日本海電氣株式會社變更
一取締役殿瀬鎮之ハ昭和五年十月二十一日死亡ス

●合資會社設立
一商號　合資會社長澤商店
一本店　富山市向川原町十九番地
一設立ノ年月日　昭和五年十月二十七日
一目的　荒物販賣
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金一千圓也　無限　長澤清五郎　富山市向川原町十九番地
一金二千圓也　有限　庄司竹次郎　同市石倉町六番地ノ二
一金一千圓也　同　長澤清一　同市向川原町十九番地
右昭和五年十月二十八日登記

●商號設立
一商號　松月
一營業ノ種類　壽司製造販賣
一營業所　富山市常盤町一番地
一商號使用者ノ氏名住所　吉川儀太郎　富山市常盤町一番地

●國際製藥株式會社變更
一昭和五年十月二十五日左記ノ者監査役ニ新任ス
藤岡清七郎　富山市愛宕町五八番地
右昭和五年十月二十九日登記

●合資會社森並商會解散
一昭和五年十月二十八日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
昭和五年十月三十日登記

●黒部川電力株式會社變更
一取締役殿瀬鎮之ハ昭和五年十月二十一日死亡ス
昭和五年十月三十一日登記

●株式會社日本勸業銀行
昭和五年十月二十日埼玉縣北足立郡浦和町三千八百八十八番地株式會社埼玉農工銀行及盛岡市本町百四十番戸株式會社岩手縣農工銀行ヲ合併シタルニ付左記事項ヲ追加ス
一合併ニ因ル増加資本ノ總額　金三百万圓
一合併決議ノ年月日　昭和五年六月二十七日
一各新株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一合併ニ因リ繼承シタル社債
株式會社埼玉農工銀行第三回社債
一社債ノ總額　金五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　明治四十五年四月十六日ヨリ大正三年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其ノ翌月償還スルモノトス但隨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第五回社債
一社債ノ總額　金八千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正元年十一月一日ヨリ同四年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第六回社債
一社債ノ總額　金六千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年三月一日ヨリ同五年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第七回社債
一社債ノ總額　金二万四千三百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年十二月一日ヨリ同五年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回六千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第八回社債
一社債ノ總額　金二百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月一日ヨリ同六年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第九回社債
一社債ノ總額　金一千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月十六日ヨリ同六年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回二千三百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第十二回社債
一社債ノ總額　金十七万二千四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　大正六年十一月十六日ヨリ同九年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万六千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第十三回社債
一社債ノ總額　金十二万四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月十六日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第十四回社債
一社債ノ總額　金四万三千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月三十一日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但シ臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第十五回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年二月十六日ヨリ同九年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

第1192号　付録

同第十六回社債

一社債ノ總額 金十一万八千六百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分三厘

一社債償還ノ方法及期限 大正八年六月十五日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第十七回社債

一社債ノ總額 金五万八百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分三厘

一社債償還ノ方法及期限 大正八年八月三十一日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第十八回社債

一社債ノ總額 金六万五百圓

一各社債ノ金額 金五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分四厘

一社債償還ノ方法及期限 大正八年十一月十六日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金三千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第十九回社債

一社債ノ總額 金二万八千圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年六分九厘

一社債償還ノ方法及期限 大正九年五月一日ヨリ同十四年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓ヲ其翌月償還シ十二箇年中ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第二十回社債

一社債ノ總額 金一万三千五百圓

一各社債ノ金額 金五百圓一千圓

一社債ノ利率 年七分五厘

一社債償還ノ方法及期限 大正九年八月三十一日ヨリ同十一年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金四千五百圓ヲ其翌月償還シ十箇年ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第二十一回社債

一社債ノ總額 金五百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年七分五厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十一年六月十六日ヨリ同十二年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第二十八回社債

一社債ノ總額 金二百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年八分

一社債償還ノ方法及期限 大正十五年三月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトヲ得

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第二十九回社債

一社債ノ總額 金十万九千圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年五分四厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時償還ヲ爲スコトアルヘシ臨時償還ノ場合ニ於ケル償還ノ時期ハ其都度之ヲ定メ利子ハ其期日ノ當日迄ノ分ヲ計算スルモノトス償還當籤ノ債券ニシテ償還期以後ノ利札ニ不足アルトキハ其不足利札ニ相當スル金額ヲ元金ヨリ控除シ支拂フモノトス但後日ニ至リ其利札ノ提出アリタルトキハ之ヲ支拂フ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第三十二回社債

一社債ノ總額 金二十一万九千圓

一各社債ノ金額 金一百圓五千圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千二百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第三十四回社債

一社債ノ總額 金一百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年七分三厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万一千圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第三十五回社債

一社債ノ總額 金一百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年七分三厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第四十七回社債

一社債ノ總額 金五十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分二厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第四十八回社債

一社債ノ總額 金五十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分二厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第四十九回社債

一社債ノ總額 金十万圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年六分二厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年八月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十回社債

一社債ノ總額 金五十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十一回社債

一社債ノ總額 金四十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万二千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第五十三回社債

一社債ノ總額 金十八万圓

一各社債ノ金額 金三万圓

一社債ノ利率 年五分

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年十二月十五日迄ニ抽籤ニヨリ全額ヲ償還スルモノトス但本資金ニヨル貸付金ニシテ昭和四年十二月十五日以前ニ償還ヲ受ケタルモノアルトキハ四年十二月十五日ニ於テ右金額ヲ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十四回社債

一社債ノ總額 金一百万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓五千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和六年二月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三万圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十五回社債

一社債ノ總額 金十六万圓

一各社債ノ金額 金一万圓

一社債ノ利率 年五分

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年四月十六日抽籤ニヨリ元金十七万圓ヲ償還シ昭和六年四月十六日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同昭三第一地社債

一社債ノ總額 金十万圓

一各社債ノ金額 金二千五百圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和八年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二千五百圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同昭三第二地社債

一社債ノ總額 金三十万圓

一各社債ノ金額 金一万圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和九年五月三十一日迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月還償シ昭和二十二年十二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同昭三第三地社債

一社債ノ總額 金四十五万圓

一各社債ノ金額 金一千圓五千圓一万圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和九年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万五千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十六回社債

一社債ノ總額 金三十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回九千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十七回社債

一社債ノ總額 金六十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万八千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十八回社債

一社債ノ總額 金三十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回七千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第五十九回社債

一社債ノ總額 金七十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分

一社債償還ノ方法及期限 昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万七千五百圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同昭三第四地社債

一社債ノ總額 金四十二万圓

一各社債ノ金額 金一千圓一万圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和五年七月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金六万六千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和八年八月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第六十回社債

一社債ノ總額 金五十万圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓一千圓五千圓

一社債ノ利率 年六分二厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和七年三月三十一日迄据置其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二万五千圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同昭三第五地社債

一社債ノ總額 金三十一万三千圓

一各社債ノ金額 金一千圓五千圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和八年三月三十一日迄据置其以降毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年三月三十一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

株式會社岩手縣農工銀行第二回社債

一社債ノ總額 金一百圓

一各社債ノ金額 金一百圓一千圓

一社債ノ利率 年六分二厘

一社債償還ノ方法及期限 大正四年一月迄元金ヲ据置キ同年二月ヨリ向フ十二箇年以内ニ毎年一月七月ノ二回ニ抽籤ノ方法ニヨリ毎回六千圓以上ヲ償還ス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第七回社債

一社債ノ總額 金九万圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年六分三厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十年七月迄元金ヲ据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以内ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回金六千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第八回社債

一社債ノ總額 金四万九千圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年六分三厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十年七月迄元金ヲ据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以内ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第九回社債

一社債ノ總額 金三万五百圓

一各社債ノ金額 金一百圓五百圓

一社債ノ利率 年六分五厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十一年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ向フ十箇年以内ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ以テ毎年一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第二十回ノ乙社債

一社債ノ總額 金十六万二千圓

一各社債ノ金額 金一千圓

一社債ノ利率 年五分四厘

一社債償還ノ方法及期限 大正十五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ八箇年以内ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

同第二十五回社債

一社債ノ總額 金五十八万五千圓

一各社債ノ金額 金五千圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以内ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万五千圓以上ツツノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

同第二十六回社債

一社債ノ總額 金二十二万五百圓

一各社債ノ金額 金五百圓五千圓

一社債ノ利率 年四分八厘

一社債償還ノ方法及期限 昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以内ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ

一各社債ニ付キ拂込ミタル金額 全額

第1192号付録

續第三十六回社債
一社債ノ總額　金五十九万二千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年十一月三十日迄元金ヲ据置同年十二月ヨリ十箇年以內ニ毎年五月十一月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万五千五百圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第三十八回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年七分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年九月迄元金ヲ据置同年十月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第三十九回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分七厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十回社債
一社債ノ總額　金一百九十三万一千圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回七万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十二回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十三回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十三回ノ乙社債
一社債ノ總額　金七万四千圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年九月一日ニ金二万七千圓同六年九月一日ニ金四万七千圓ヲ償還スルモノトス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタル時ハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十四回社債
一社債ノ總額　金一百五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年三月迄元金ヲ据置同年四月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回五万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十四回ノ丙社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月一日迄但シ昭和五年二月一日以前ニ本資金ニヨル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年二月一日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十五回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十六回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万七千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十七回ノ乙社債
一社債ノ總額　金十一万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年三月二十日迄但昭和五年三月二十日以前ニ本資金ニ依ル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年三月二十日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十八回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第一回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第二回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第三回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同第四十九回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年八月迄元金ヲ据置キ同年九月ヨリ八箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第四回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第五回社債
一社債ノ總額　金六万八千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十箇年以內ニ毎

年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ其翌月ニ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
同預第六回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
右昭和五年十月二十七日登記

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
第三回割引
一社債ノ總額　金一千万圓
一各社債ノ金額　金二十圓
一割引歩合(利率)　最終償還ノモノニ於テ眞割引ノ方法ニ依リ年三分八厘三毛ノ半箇年複利ニ相當ス
一社債償還ノ方法及期限　元金ハ昭和五年十二月三十一日迄据置キ同年同月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ其後毎年二回(六月十二月)抽籤ヲ爲シ毎回金五万圓以上ヲ各其翌月ニ償還シ十八箇年以內ニ全額ヲ償還ス但シ最終ノ償還抽籤ハ昭和二十三年十二月之ヲ執行シ殘額全部ヲ償還スルモノトス尙買入消却ヲ爲シ又ハ抽籤ニ依リ臨時ニ償還スルコトアルヘシ償還抽籤ノ方法ハ債券一組ノ籤數ニ依リ執行シ其當籤シタル番號ヲ各組ニ通用スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
昭和五年十月二十八日登記　富山區裁判所

●株式會社設立
商號　株式會社大島商會
本店　上新川郡東岩瀨町大字東岩瀨町四四六番地
一目的　和洋酒及醬油等ノ卸小賣販賣業及之レニ關聯スル業務
一設立年月日　昭和五年十月二十日
一資本總額　金一万圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金十二圓五十錢
一公告方法　本店ノ店頭ニ掲示
一取締役ノ氏名住所　上新川郡東岩瀨町大字東岩瀨村
豐田樅四郎
二二番地
大島留次　同郡同町大字東岩瀨町四四六番地
豐田梅次郎　同所二二番地
渡邊福七郎　富山市古鍛冶町四三番地
一監査役ノ氏名住所
大村春次郎　富山市鍛冶町一五番地
藏堀由太郎　上新川郡東岩瀨町大字西宮村一九一番地
昭和五年十月三十日登記　富山區裁判所東岩瀨出張所

●灘浦漁業株式會社變更
取締役間瀨鎭之ハ昭和五年十月二十一日死亡ス
右昭和五年十月三十日登記

●紀越漁業株式會社變更
取締役間瀨鎭之ハ昭和五年十月二十一日死亡ス
右昭和五年十一月一日登記　高岡區裁判所氷見出張所

●福町藝妓置屋合名會社變更
一代表社員タル社員中島嘉作ハ昭和五年十月三十日脫退シ左ノ者同日代表社員ニ選定ス
代表社員　松元佐一郎

●株式會社坂海銀行變更
一監査役高松覺太郎ハ昭和五年十月二十二日資格消滅ニ因リ退任ス
右昭和五年十月三十一日登記　出町區裁判所石動出張所

●變更登記
一妻ノ氏名住所　岡田シマ　廣島市堀川町五十八番地
一營業ノ種類　絲類及旅行用具販賣
一營業所　廣島市堀川町六十四番地
昭和五年十月三十一日登記

●關西石油合資會社變更
一社員佐々木金樋ハ昭和五年十月二十九日其ノ出資額全部ヲ左記社員ニ讓渡シテ退社シ左記社員ハ之ヲ讓受ケ其ノ出資額ヲ頭書ノ如ク變更ス
金二万八百十六圓　三上靜一

●森永製品山陽販賣株式會社變更
一監査役今井貞吉取締役皆川信民ハ昭和五年十月二十一日辭任シ左記ノ者同月二十日取締役ニ就任ス
片桐直樹　岡山市藤野町四十一番地
昭和五年十一月一日登記　廣島區裁判所

●賀茂鶴酒造株式會社變更
一取締役木村靜彥石井啓吉三宅清一郎竹尾三郎平佐々木爽夫監査役栗原省三中村久吉宇都宮識職ハ任期滿了ノ處昭和五年十月二十日重任
昭和五年十月三十一日登記　廣島區裁判所西條出張所

●合資會社原田藥舖變更
昭和五年十月二十日社員井上和一郎細野多賀雄ハ各其ノ出資持分全部ヲ社員原田壽ニ讓渡シテ退社シ社員原田壽ハ讓受ニ因リ其ノ出資額ヲ金二万八千圓ト變更ス

●株式會社常盤會株金拂込
昭和五年十月二十四日各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金三十二圓五十錢ト變更ス

●飯野商事株式會社變更(支店)
監査役津留秀熊ハ昭和五年十月二十四日其住所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
京都市上京區平野八丁柳町十八番地
昭和五年十月二十九日登記

●商號新設
商號　丸文百貨店
營業ノ種類
一吳服雜貨類ノ販賣
二食料品ノ販賣
營業所　吳市本通七丁目十五番地
商號使用者ノ氏名住所　村山圭市　佐賀縣三養基郡鳥栖町大字鳥栖九百六十七番地
昭和五年十月三十一日登記　吳區裁判所

●沼隈織物株式會社解散並淸算人選任
一昭和五年十月二十一日解散
一同日左ノ者ヲ淸算人ニ選任ス
櫻田　齋　沼隈郡赤坂村赤坂六百二十七番地
友瀧止一　同郡瀨戶村長和八十一番屋敷
福田惠一　同郡同村地頭分甲千四百二十二番地
占部章三　同郡水谷村千五百二十七番地
右昭和五年十月三十一日登記　福山區裁判所

●株式會社共榮社變更
一取締役三谷芳松ハ昭和五年十月二十二日辭任ス
昭和五年十一月一日登記　福山區裁判所鞆出張所

●株式會社日本勸業銀行社債(支店)
第三回割引
一社債ノ總額　金一千万圓
一各社債ノ金額　金二十圓
一割引歩合(利率)　最終償還ノモノニ於テ眞割引ノ方法ニ依リ年三分八厘三毛ノ半箇年複利ニ相當ス
一社債償還ノ方法及期限　元金ハ昭和五年十二月三十一日迄据置キ同年同月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ其後毎年二回(六月十二月)抽籤ヲ爲シ毎回金五万圓以上ヲ各其翌月ニ償還シ十八箇年以內ニ全額ヲ償還ス但シ最終ノ償還抽籤ハ昭和二十三年十二月之ヲ執行シ殘額全部ヲ償還スルモノトス尙買入消却ヲ爲シ又ハ抽籤ニ依リ臨時ニ償還スルコトアルヘシ償還抽籤ノ方法ハ債券一組ノ籤數ニ依リ執行シ其當籤シタル番號ヲ各組ニ通用スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
昭和五年十月二十九日登記　山口區裁判所

●華浦酒造株式會社變更
一監査役島內嘉市岡本關太郎ハ昭和五年十月二十日再任シ左記ノ者同日監査役ニ新任ス
柳淸人　佐波郡右田村大字高井百九十六番地
右昭和五年十月三十一日登記　山口區裁判所三田尻出張所

●株式會社日本勸業銀行變更(支店)
第三回割引
一社債ノ總額　金一千万圓
一各社債ノ金額　金二十圓
一割引歩合(利率)　最終償還ノモノニ於テ眞割引ノ方法ニ依リ年三分八厘三毛ノ半箇年複利ニ相當ス
一社債償還ノ方法及期限　元金ハ昭和五年十二月三十一日迄据置キ同年同月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ其後毎年二回(六月十二月)抽籤ヲ爲シ毎回金五万圓以上ヲ各其翌月ニ償還シ十八箇年以內ニ全額ヲ償還ス但シ最終ノ償還抽籤ハ昭和二十三年十二月之ヲ執行シ殘額全部ヲ償還スルモノトス尙買入消却ヲ爲シ又ハ抽籤ニ依リ臨時ニ償還スルコトアルヘシ償還抽籤ノ方法ハ債券一組ノ籤數ニ依リ執行シ其當籤シタル番號ヲ各組ニ通用スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

●株式會社日本勸業銀行變更(支店)
昭和五年十月二十日埼玉縣北足立郡浦和町三千八百八十八番地株式會社埼玉農工銀行及盛岡市本町百四十番戶株式會社岩手縣農工銀行ヲ合併シタルニ付左記事項ヲ追加ス
一合併ニ因ル增加資本ノ總額　金三百万圓
一合併決議ノ年月日　昭和五年六月二十七日
一各新株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一合併ニ因リ繼承シタル社債

第1192号 付録

一株式會社埼玉農工銀行第三回社債
一社債ノ總額　金五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　明治四十五年四月十六日ヨリ大正三年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五回社債
一社債ノ總額　金八千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正元年十一月一日ヨリ同四年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第六回社債
一社債ノ總額　金六千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年三月一日ヨリ同五年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第七回社債
一社債ノ總額　金二万四千三百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年十二月一日ヨリ同五年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回六千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第八回社債
一社債ノ總額　金二百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月一日ヨリ同六年七月三十一日元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第九回社債
一社債ノ總額　金一千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月十六日ヨリ同六年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回二千三百圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十二回社債
一社債ノ總額　金十七万二千四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　大正六年十一月十六日ヨリ同九年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万六千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十三回社債
一社債ノ總額　金十二万四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月十六日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十四回社債
一社債ノ總額　金四万三千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月三十一日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十五回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年二月十六日ヨリ同九年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十六回社債
一社債ノ總額　金十一万八千六百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年六月十五日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十七回社債
一社債ノ總額　金五万八百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年八月三十一日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十八回社債
一社債ノ總額　金六万五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年十一月十六日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金三千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第十九回社債
一社債ノ總額　金二万八千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分九厘
一社債償還ノ方法及期限　大正九年五月一日ヨリ同十四年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓以上ヲ其翌月償還シ十二箇年半ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第二十回社債
一社債ノ總額　金一万三千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正九年八月三十一日ヨリ同十一年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金四千五百圓ヲ其翌月償還シ十箇年ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第二十一回社債
一社債ノ總額　金五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十一年六月十六日ヨリ同十二年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二万二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第二十八回社債
一社債ノ總額　金二百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年八分
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年三月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトヲ得
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

一同第二十九回社債
一社債ノ總額　金十万九千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年五分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時償還ヲ爲スコトアルヘシ臨時償還ノ場合ニ於ケル償還ノ時期ハ其都度之ヲ定メ利子ハ其期日ノ當日迄ノ分ヲ計算スルモノトス償還當籤ノ債券ニシテ償還期以後ノ利札ニ不足アルトキハ其不足利札ニ相當スル金額ヲ元金ヨリ控除シ支拂フモノトス但後日ニ至リ其利札ノ提出アリタルトキハ之ヲ支拂フ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第三十二回社債
一社債ノ總額　金二十一万九千圓
一各社債ノ金額　金一百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千二百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第三十四回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分三厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万一千圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第三十五回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分三厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第四十七回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第四十八回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第四十九回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年八月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十一回社債
一社債ノ總額　金四十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万二千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十三回社債
一社債ノ總額　金十八万圓
一各社債ノ金額　金三万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十二月十五日迄ニ抽籤ニヨリ全額ヲ償還スルモノトス但本資金ニヨル貸付金ニシテ昭和四年十二月十五日以前ニ償還ヲ受ケタルモノアルトキハ四年十二月十五日ニ於テ右金額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十四回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三万圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十五回社債
一社債ノ總額　金十六万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年四月十六日抽籤ニヨリ元金十七万圓ヲ償還シ昭和六年四月十六日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同昭三第一地社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金二千五百圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和八年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二千五百圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同昭三第二地社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和九年五月三十一日迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月償還シ昭和二十二年十二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同昭三第三地社債
一社債ノ總額　金四十五万圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和九年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万五千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十六回社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回九千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十七回社債
一社債ノ總額　金六十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万八千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十八回社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回七千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

第1192号付録

第1192号付録

同第五十九回社債
一社債ノ總額　金七十萬圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一萬七千五百圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同昭三第四地社債
一社債ノ總額　金四十二萬圓
一各社債ノ金額　金一千圓一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年七月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金六萬六千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和八年八月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第六十回社債
一社債ノ總額　金五十萬圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月三十一日迄据置其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二万五千圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同昭三第五地社債
一社債ノ總額　金三十一万三千圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和八年三月三十一日迄据置其以降毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年三月三十一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

株式會社岩手縣農工銀行第二回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　大正四年一月迄元金ヲ据置キ同年二月ヨリ向フ十二箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回ニ抽籤ノ方法ニヨリ毎回六千圓以上ヲ償還ス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第七回社債
一社債ノ總額　金九万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十年七月迄元金据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回金六千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第八回社債
一社債ノ總額　金四万九千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十年七月迄元金ヲ据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第九回社債
一社債ノ總額　金三万五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十一年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ向フ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ以テ毎年一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第二十回ノ乙社債
一社債ノ總額　金十六万二千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年五分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ八箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第二十五回社債
一社債ノ總額　金五十八万五千圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万五千圓以上ヅツノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第二十六回社債
一社債ノ總額　金二十二万五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第三十六回社債
一社債ノ總額　金五十九万二千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年十一月三十日迄元金ヲ据置同年十二月ヨリ十箇年以內ニ毎年五月十一月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万五千五百圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第三十八回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年七分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年九月迄元金ヲ据置同年十月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第三十九回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分七厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第四十回社債
一社債ノ總額　金一百九十三万一千圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回七万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十二回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十三回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第四十三回ノ乙社債
一社債ノ總額　金七万四千圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年九月一日ニ金二万七千圓同六年九月一日ニ金四万七千圓ヲ償還スルモノトス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタル時ハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十四回社債
一社債ノ總額　金一百五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年三月迄元金ヲ据置同年四月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回五万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十四回ノ丙社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月一日迄但シ昭和五年二月一日以前ニ本資金ニヨル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年二月一日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十五回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十六回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万七千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十七回ノ乙社債
一社債ノ總額　金十二万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年三月二十日迄但昭和五年三月二十日以前ニ本資金ニ依ル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年三月二十日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十八回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第一回社債
一社債ノ總額　金廿万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第二回社債
一社債ノ總額　金廿万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第三回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同第四十九回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年八月迄元金ヲ据置キ同年九月ヨリ八箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第四回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第五回社債
一社債ノ總額　金六万八千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ其翌月ニ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

同預第六回社債
一社債ノ總額　金廿万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

右昭和五年十月二十九日登記

◉昭和簡易建築合名會社清算人選任
昭和五年十月十五日左ノ者ヲ清算人ニ選任ス
一清算人ノ氏名住所　大谷芳太郎　下關市大字岬之町百五番地

◉昭和簡易建築合名會社解散（本店）
昭和五年十月十五日總社員ノ同意ニヨリ解散ス
昭和五年十月二十八日登記

◉株式會社那須商店變更
左ノ者昭和五年十月二十日監査役ニ就任ス
　愛媛縣西宇和郡川之石町五番耕地
三〇六番地　那須義治
昭和五年十月二十九日登記

◉東下關土地建物株式會社變更（本店）
監査役林米吉菊谷茂吉安永雄原田岩吉ハ昭和五年十月二十五日重任ス
昭和五年十一月一日登記　下關區裁判所

◉株式會社山陽銀行（變更）
昭和五年十月二十日久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
支店　久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地

◉合資會社山田商店（解散）
昭和五年十月二十九日總社員ノ同意ニ依リ解散シタリ
右昭和五年十月二十九日登記

●合資會社設立
一商號　小六合資會社
一本店　岡山市仁王町四十七番地
一目的　各種屑物並ニ古物ノ賣買及仲買
一設立ノ年月日　昭和五年十月二十八日
一代表社員ノ氏名　小六通矩
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
　一金一千圓　無限責任　小六通矩　岡山市仁王町四十六番地
　一金五百圓　有限責任　小野藤右衞門　岡山市野田屋町八十一番地
　有限責任　佐藤孝司　岡山市紺屋町六十六番地
一存立ノ時期　昭和五年十月二十八日ヨリ向フ十五箇年
右昭和五年十月三十日登記

◉株式會社吉備自動車工場
取締役三浦誠一監査役山本助太同宇野光夫ハ昭和五年十月十七日辭任シタリ
右昭和五年十月三十一日登記　岡山區裁判所

◉株式會社山陽銀行支店（變更）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
　岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月二十九日登記　岡山區裁判所圓城出張所

◉飯田運送合資會社支店設置（支店）
昭和五年十月二十四日支店ヲ當管內ニ設置シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號　飯田運送合資會社
一本店　勝田郡飯岡村大字飯岡千五百十一番地
一支店　勝田郡飯岡村大字吉ヶ原百五十九番地
　赤磐郡周匝村大字周匝千四百七十四番地
　和氣郡鹽田村大字鹽田六百五番地ノ一
一目的　物資ノ取扱運送
一設立ノ年月日　昭和五年十月二十四日
一代表社員ノ氏名　久永義三郎久永禮次從野健藏鈴鹿高四郎上吉太
一社員ノ氏名住所出資及責任
　一金八百圓　無限　久永義三郎　和氣郡山田村大字田土二千五十八番地

金八百圓 無限 鈴鹿高四 勝田郡飯岡村大字飯田千五百十一番地
金六百圓 無限 岡上吉太 同郡同村大字吉ヶ原百五十九番地
金八百圓 無限 從野健藏 和氣郡山田村大字岩戸百四十番地
金四百圓 無限 久永謙次 同郡同村大字田土二千五十三番地
金六百圓 有限 吉岡文太 同郡和氣町大字和氣六百四十三番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和五年十月二十八日登記 岡山區裁判所仁堀出張所

●三石窯業株式會社變更
監査役谷口靜志ハ昭和五年十月二十日重任ス
右昭和五年十月三十一日登記 岡山區裁判所本莊出張所

●株式會社山陽銀行變更（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
一支店 岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月三十日登記 岡山區裁判所牛窓出張所

●株式會社山陽銀行變更（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左記ノ地ニ移轉シタリ
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月二十九日登記 岡山區裁判所足守出張所

●株式會社山陽銀行（支店變更）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニアル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月三十一日登記 岡山區裁判所撫川出張所

●株式會社山陽銀行支店移轉（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ同所三百三十九番地ニ移轉ス
昭和五年十月三十日登記 玉島區裁判所倉敷出張所

●合資會社備産商會變更
昭和五年十月三十一日總社員ノ同意ニヨリ有限責任社員藤原金一ノ責任ヲ無限ト變更シタリ
昭和五年十月三十一日社員ノ承諾ニ依リ無限責任社員高橋謙治ハ出資額ノ内金一千圓ヲ仁科覺二ヘ各讓渡シテ退社シ有限責任社員高橋誠三ハ出資額ノ内金四千圓ヲ無限責任社員藤原金一ヘ金二千圓ヲ藤原粂次郎ヘ金二千圓ヲ藤原宗治郎ヘ各讓渡シテ退社シ讓受タル者左ノ通リ出資額ヲ變更シ又ハ入社シタリ
出資額ヲ變更シタル社員
出資金七千圓 無限 藤原金一 後月郡井原町八百二十七番地
入社シタル社員
一出資額金二千圓 有限 藤原粂次郎 同所同番地
一出資額金二千圓 有限 藤原宗治郎 同所同番地
一出資額金一千圓 有限 仁科遜一 小田郡大井村大字小平井千八百九番地
一出資額金一千圓 有限 仁科覺二 同所同番地

●合資會社備産商會變更
昭和五年十月三十一日總社員ノ同意ニヨリ商號ヲ合資會社藤原織物所本店ヲ後月郡井原町八百二十七番地ト變更シタリ
右昭和五年十月三十一日登記 笠岡區裁判所西江原出張所

●播美自動車株式會社變更（支店）
一取締役澤田哲三ハ任期滿了ニ付昭和五年十月二十三日臨時株主總會ニ於テ改選ノ結果再選セラレ同日重任シタリ
右昭和五年十月三十一日登記 津山區裁判所江見出張所

●株式會社山陽銀行支店移轉（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニアル支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月二十九日登記 津山區裁判所大原出張所

●株式會社山陽銀行（支店變更）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月二十九日登記 津山區裁判所弓削出張所

●株式會社山陽銀行支店移轉（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十月三十日登記 勝山區裁判所湯原出張所

●株式會社山陽銀行移轉（支店）
昭和五年十月二十日岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百八十三番地ニ在ル支店ヲ左ノ地ニ移轉シタリ
岡山縣久米郡垪和村大字中垪和谷三百三十九番地
右昭和五年十一月一日登記 勝山區裁判所八束出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社岩佐屋商店 一本店 米子市朝日町七十番地 一目的 和洋酒食料品罐詰類靑物類ノ販賣營業 一設立年月日 昭和五年十月三十日
一社員ノ氏名住所出資及責任 金二百圓外ニ動産價格金六百圓 無限 岩佐隆吉 米子市朝日町七十番地 金二百圓 有限 岩佐英子 同所同番地 金五百圓 有限 松井經康 東伯郡逢來村六百五十九番地 金五百圓 有限 大西孝吉 同郡伊勢崎村大字槻下六十四番地
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿十箇年
右昭和五年十月三十一日登記 米子區裁判所

●合資會社設立
一商號 大和商店合資會社
一本店 松江市外中原町百十七番地
一目的 煉炭製造販賣及之ニ附帶スル營業
一設立年月日 昭和五年十月二十日
一代表社員ノ氏名 伊達孝之
一社員ノ氏名住所出資及責任
金五百圓 無限 伊藤孝之 松江市外中原町百十七番地
金二百圓 有限 藤原得一郎 大原郡木次町大字木次町四百二十八番地內一番地
金一百圓 同 竹內武 松江市片原町四十六番地
金二百圓 同 古賀三作 同市外中原町百五十五番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿十箇年
昭和五年十一月一日登記 松江區裁判所

●合資會社設立
一商號 合資會社土居製麵所
一本店 伊豫郡南伊豫村大字宮下二百十七番地ノ三
一目的 米麥雜穀ノ賣買製粉製麵業並ニ之ガ賣買及之ニ附帶スル事業一切雜貨販賣
一設立年月日 昭和五年十月三十日
一社員ノ氏名住所出資及價格並ニ責任
伊豫郡南伊豫村大字宮下字竹ノ宮二百十七番地ノ三及ヒ同郡北伊豫村大字出作字南分二百十九番地ノ建物總坪數六十七坪五合及ヒ器械類六點此價格千五百圓 無限 土居庄太郎 伊豫郡南伊豫村大字宮下二百十七番地
金五百圓 有限 土居鬼志雄 同番地
金五百圓 有限 茂川熊太郎 同郡岡田村大字北川原六百四十一番地
代表社員 土居庄太郎
一存立時期 滿二十年
右昭和五年十月三十一日登記 松山區裁判所郡中出張所

●合資會社巴商店
一昭和五年十月二十日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
右昭和五年十月二十七日登記

●明間製糸株式會社變更
一昭和五年十月二十六日監査役得村稻一郎辭任ニ付抹消ス
右昭和五年十月三十一日登記

●株式會社卯之町銀行變更
一昭和五年十一月一日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
愛媛縣東宇和郡宇和町大字卯之町一番耕地千三百三十二番地第一
右昭和五年十一月一日登記 宇和島區裁判所卯之町出張所

●合資會社澤山商會變更（支店）
一昭和五年十月二十三日社員澤山市松ハ其出資持分金三万圓ヲ社員澤山昇吉ニ同天見新一ハ其出資額金一千圓ヲ社員野原周造ニ各讓渡シテ退社シタルニ付社員澤山昇吉ノ出資持分ヲ金四万圓ト同野原周造ノ出資持分ヲ金四千圓ト變更ス
右昭和五年十月二十九日登記

●東合名會社變更
昭和五年十月二十六日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
本店 長崎市山里町百五十六番地

●長崎合同運送株式會社變更
昭和五年十月三十一日取締役浦稻市ハ住所ヲ長崎市浦五島町三十番地ニ移轉ス
右昭和五年十月三十一日登記 長崎區裁判所

●佐賀無盡株式會社
一取締役松永梅次ハ昭和五年十月二十日辭任ス
昭和五年十月三十日登記

●株式會社古賀銀行變更
一取締役横尾雄一靑木德一郎ハ昭和五年十月二十日重任ス
右昭和五年十月三十一日登記 佐賀區裁判所

●肥前畜産株式會社變更
一取締役森有吉ハ大正十四年六月一日死亡シ同鶴田佐太郎ハ昭和五年六月二十六日死亡シ同中山辯太郎ハ任期滿了ニ付昭和五年十月十八日株主總會ニ於テ左記ノ通リ新ニ取締役ヲ選任シ同日就職ス
中山辯太郎 三養基郡南茂安村大字天建寺一七五四番地
五島和三郎 同所二二五〇番地
中山小太郎 同所一八〇九番地
一監査役北島正浩ハ昭和三年三月五日死亡シ同中山小太郎ハ任期滿了ニ付昭和五年十月十八日株主總會ニ於テ左記ノ通リ新ニ監査役ヲ選任シ同日就職ス
古賀七三郎 三養基郡南茂安村大字天建寺二一七四番地
中山芳枝 同所同一九〇六番地
右昭和五年十月三十日登記 佐賀區裁判所北茂安出張所

●武內酒造株式會社變更
一取締役原田喜藏潮重圓平福田又吉樋口忠行大宅助市大宅保雄松尾武ハ昭和五年十月十九日重任ス
一會社ヲ代表スヘキ取締役原田喜藏大宅保雄ハ同日重任ス
昭和五年十月二十八日登記 武雄區裁判所三間坂出張所

●五町田酒造株式會社變更
一監査役池田東稻ハ昭和五年十月二十日退任シ同納富卯七古賀與平ハ同日重任ス
右昭和五年十月二十四日登記 武雄區裁判所鹽田出張所

●辰巳屋商事合資會社變更
昭和五年十月三十日左記ノ者入社ス
入社シタル社員ノ氏名住所出資及責任
金五万圓 有限 坂本嘉久 福岡縣糟屋郡箱崎町箱崎三千十四番地
昭和五年十月三十一日登記 福岡區裁判所箱崎出張所

●株式會社設立
一名稱 今宿漁市株式會社
一本店 福岡縣糸島郡今宿村谷千二百二十番地
一目的 魚類ノ委託ヲ受ケ之ヲ糶賣シテ手數料ヲ收得スルヲ以テ目的トス但時宜ニヨリ指定問屋ニ業務ノ一部ヲ委任經營セシムルコトアルヘシ
一設立年月日 昭和五年十月二十六日
一資本總額 金八千圓
一一株ノ金額 金五十圓
一各株ニ拂込ミタル株金額 金三十七圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法 所轄裁判所カ登記事項ヲ公告スル新聞紙ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所
伊藤傳吉 福岡縣糸島郡今宿村谷千二百二十番地
伊藤吉次 同所同番地
天野倉介 同縣同郡周船寺村女原七十番地
代表者ノ氏名 伊藤傳吉
一監査役ノ氏名住所
伊藤留吉 福岡縣糸島郡今宿村谷千二百二十番地
德重貞次郎 同縣福岡市上赤間町一番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿十箇年
昭和五年十月三十日登記 福岡區裁判所周船寺出張所

●妻登記
一妻ノ氏名住所 二又ハマ 嘉穗郡飯塚町飯塚二百五十番地ノ一
一營業ノ種類 蠶製造及同販賣業
一營業所 嘉穗郡飯塚町飯塚五百五十八番地ノ三
昭和五年十月二十五日登記 飯塚區裁判所

●大隅酒造株式會社變更
一監査役山本勝太郎吉田和太郎ハ昭和五年十月二十七日重任ス
昭和五年十月三十日登記 飯塚區裁判所大隈出張所

●株式會社古賀銀行變更（支店）
一取締役横尾雄一靑木德一郎ハ昭和五年十月二十日重任ス
昭和五年十月三十一日登記 久留米區裁判所

●株式會社古賀銀行變更（支店）
一取締役横尾雄一靑木德一郎ハ昭和五年十月二十日各重任ス
昭和五年十月三十一日登記 柳河區裁判所

●株式會社古賀銀行變更（支店）
一取締役横尾雄一靑木德一郎ハ昭和五年十月二十日重任ス
昭和五年十月三十一日登記 柳河區裁判所榎津出張所

●株式會社大牟田花の露商店變更
一昭和五年十月二十日左記ノ者新ニ取締役ニ就任ス
大木數知 大牟田市曙町一番地
一同日左記ノ者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
大木數知
昭和五年十月三十一日登記

●三池無盡株式會社移轉
昭和五年十月二十五日本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ
大牟田市橋口町四番地
昭和五年十月二十八日登記 柳河區裁判所三池出張所

●合資會社設立
一商號 合資會社今田商店
一本店 門司市大字門司三千百二番地
一目的 洋反物子供服婦人服販賣業右ニ附帶シタル業務
一設立ノ年月日 昭和五年十月十九日
一社員ノ氏名住所出資及責任
信用及勞務 無限 今田乙吉 門司市大字門司三千百二番地
商品七百九十八點器具二十二點以上價格金四千圓 有限 橋本一 廣島縣豐田郡御手洗町二百十七番地
金一千圓 有限 今田ナヲ 門司市大字門司三千百二番地

●日本スレート販賣株式會社變更（支店）
一昭和五年十月二十一日左ノ者監査役ニ就任ス
野澤幸三郎 兵庫縣武庫郡御影町申御田九百三十二番地
昭和五年十月三十日登記

●合資會社設立
一商號 合資會社野口商店
一本店 門司市大里四千七百六十九番地
一目的 小間物メリヤス其他雜貨類一般ノ販賣之レニ附帶シタル業務
一設立ノ年月日 昭和五年十月二十六日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓 無限 中部悅二 門司市大里三千二百七十九番地
金一千圓 有限 野瀨武三郎 門司市大字門司三千百二番地
金五百圓 有限 藤井清市 福岡縣企救郡松ヶ江村字恒見九百五番地
金五百圓 同 野口アサノ 門司市大里四千七百六十九番地
昭和五年十月三十一日登記

●合資會社設立
一商號 合資會社日野出看護婦會
一本店 門司市大字大里五千五百三十七番地
一目的 災厄ニ因ル傷病者ノ看護附添手傳及天災事變ノ看護婦ノ派遣ニ附帶シタル事業
一設立ノ年月日 昭和五年十月二十三日
一社員ノ氏名住所出資及責任
信用及勞務 無限 日野出淺助 長崎市炭町三十六番地
金一千圓 有限 日野出マサコ 同所同番地
金一千圓 有限 日野出ハズエ 同所同番地
金一千圓 有限 若杉勝 同所同番地
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿三十箇年

●合資會社設立
一商號 合資會社日野出家政婦會
一本店 門司市大字大里五千百三十七番地
一目的 附添婦家事手傳及臨時事務員女中ノ派遣右ニ附帶スル業務
一設立ノ年月日 昭和五年十月二十三日
一社員ノ氏名住所出資及責任
信用及勞務 無限 日野出淺助 長崎市炭町三十六番地
金一千圓 有限 日野出ハズエ 同所同番地
金一千圓 有限 若杉太郎 同所同番地
金一千圓 有限 若杉勝 同所同番地
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿三十箇年
昭和五年十一月一日登記 小倉區裁判所門司出張所

●三洞運輸株式會社變更
一取締役山岡英三ハ昭和五年十月二十日退任シ左ノ者同日取締役ニ就任ス
橫山藏造 若松市修多羅三百一番地
昭和五年十月二十八日登記

●大谷炭礦株式會社資本減少
一昭和五年十月十九日資本減少ニ依リ左ノ如ク變更ス
一資本總額 金十万圓
昭和五年十月三十一日登記 小倉區裁判所若松出張所

第1192号 付録

●商號新設
一商號　貞女泉酒造場
一營業ノ種類　酒類醸造販賣
一營業所　大分縣速見郡朝日村大字鶴見字明礬千二百四十六番地ノ二
一商號使用者ノ氏名住所　福岡縣久留米市通町百六十六番地　國武金太郎
右昭和五年十月二十九日登記

●株式會社吉田呉服店變更
一取締役後藤作市吉良縞一藤内菊監査役藤内琴治石井三次ハ昭和五年十月三十日各辭任ス
昭和五年十月三十一日登記　杵築區裁判所日出張所

●武藏醸造株式會社變更
一取締役瀧口源三郎ハ昭和五年十月二十日辭任ス

●武藏醸造株式會社變更
一取締役補缺選擧ノ處昭和五年十月二十五日左記ノ者取締役ニ就任ス
大分縣東國東郡武藏町大字古市五百五十四番地　大谷大作
右昭和五年十月二十九日登記　杵築區裁判所鶴川出張所

●株式會社姥玉社（變更）
監査役諫山淸吉ハ昭和五年十月二十五日死亡ス
右昭和五年十月三十一日登記　日田區裁判所

●株式會社日本勧業銀行（支店）合併
昭和五年十月二十日埼玉縣北足立郡浦和町三千八百八十八番地株式會社埼玉農工銀行及盛岡市本町四十番戶株式會社岩手縣農工銀行ヲ合併シタルニ付左記事項ヲ追加ス
一合併ニ因ル增加資本ノ總額　金三百万圓
一合併決議ノ年月日　昭和五年六月二十七日
一各新株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一合併ニ因リ繼承シタル社債
株式會社埼玉農工銀行第三回社債
一社債ノ總額　金五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　明治四十五年四月十六日ヨリ大正三年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五回社債
一社債ノ總額　金八千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正元年十一月一日ヨリ同四年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第六回社債
一社債ノ總額　金六千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年三月一日ヨリ同五年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第七回社債
一社債ノ總額　金二万四千三百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正二年十二月一日ヨリ同五年十二月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回六千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第八回社債
一社債ノ總額　金二百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月一日ヨリ同六年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第九回社債
一社債ノ總額　金一千一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分
一社債償還ノ方法及期限　大正三年十二月十六日ヨリ同六年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回二千三百圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十二回社債
一社債ノ總額　金十七万二千四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　大正六年十一月十六日ヨリ同九年七月三十一日迄元金ヲ据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万六千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十三回社債
一社債ノ總額　金十二万四百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月十六日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十四回社債
一社債ノ總額　金四万三千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正七年八月三十一日ヨリ同十年六月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年六月十二月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三千圓以上ヲ其翌月償還シ廿五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十五回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年二月十六日ヨリ同九年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十六回社債
一社債ノ總額　金十一万八千六百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年六月十五日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金五千圓以上ヲ其翌月償還シ二十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十七回社債
一社債ノ總額　金五万八百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年八月三十一日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　金額
同第十八回社債
一社債ノ總額　金六万五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正八年十一月十六日ヨリ同十一年五月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金三千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十七箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第十九回社債
一社債ノ總額　金二万八千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分九厘
一社債償還ノ方法及期限　大正九年五月一日ヨリ同十四年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓以上ヲ其翌月償還シ十二箇年半ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

同第二十回社債
一社債ノ總額　金二万三千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正九年八月三十一日ヨリ同十一年五月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金四千五百圓ヲ其翌月償還シ十箇年ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第二十一回社債
一社債ノ總額　金五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十一年六月十六日ヨリ同十二年十一月三十日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万二千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第二十八回社債
一社債ノ總額　金二百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年八分
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年三月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還スルコトヲ得
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第二十九回社債
一社債ノ總額　金十万九千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年五分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時償還ヲ爲スコトアルヘシ臨時償還ノ場合ニ於ケル償還ノ時期ハ其都度之ヲ定メ利子ハ其期日當日迄ノ分ヲ計算スルモノトス償還當籤ノ債券ニシテ償還期以後ノ利札ニ不足アルトキハ其不足利札ニ相當スル金額ヲ元金ヨリ控除シ支拂フモノトス但後日ニ至リ其利札ノ提出アリタルトキハ之ヲ支拂フ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第三十三回社債
一社債ノ總額　金三十一万九千圓
一各社債ノ金額　金一百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月二十八日迄据置其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千二百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第三十四回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分三厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万一千圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第三十五回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年七分三厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年九月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回五千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第四十七回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第四十八回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十一月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第四十九回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年八月三十一日迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回金二千圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五十回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万五千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五十一回社債
一社債ノ總額　金四十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万二千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五十三回社債
一社債ノ總額　金十八万圓
一各社債ノ金額　金三万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年十二月十五日迄ニ抽籤ニヨリ全額ヲ償還スルモノトス但本貸金ニヨル貸付金ニシテ昭和四年十二月十五日以前ニ償還ヲ受ケタルモノアルトキハ四年十二月十五日ニ於テ右金額ヲ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五十四回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月迄据置同月第一回ノ抽籤ヲ行ヒ其以後ハ毎年二月八月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回三万圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同第五十五回社債
一社債ノ總額　金十六万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年四月十六日抽籤ニヨリ元金十七万圓ヲ償還シ昭和六年四月十六日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同昭三第一地社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金二千五百圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和八年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二千五百圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同昭三第二地社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和九年五月三十一日迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月償還シ昭和二十二年十二月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
同昭三第三地社債
一社債ノ總額　金四十五万圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和九年一月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万五千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年二月一日殘額全部ヲ償還ス但本

資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十六回社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回九千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十七回社債
一社債ノ總額　金六十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年五月迄据置其以降毎年五月十一月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万八千圓以上ヲ其翌月償還シ十三箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十八回社債
一社債ノ總額　金三十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回七千五百圓以上ヲ其翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第五十九回社債
一社債ノ總額　金七十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年十月迄据置其以降毎年四月十月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回一万七千五百圓以上ヲ其ノ翌月償還シ十五箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若クハ低利債ニ借替ヲ爲スコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同昭三第四地社債
一社債ノ總額　金四十二万圓
一各社債ノ金額　金一千圓一万圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年七月三十一日迄据置其以降毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金六万六千圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和八年八月一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第六十回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月三十一日迄据置其以後ハ毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金二万五千圓以上ヲ其翌月償還シ八箇年以內ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但臨時ニ償還シ若シクハ低利債ニ借替ヲ爲スコトヲ得
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同昭三第五地社債
一社債ノ總額　金三十一万三千圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和八年三月三十日迄据置其以降毎年三月九月ノ二回抽籤ヲ爲シ毎回元金一万圓以上ヲ其翌月ニ償還シ昭和二十三年三月三十一日殘額全部ヲ償還ス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一株式會社岩手縣農工銀行第二回社債
一社債ノ總額　金一百圓
一各社債ノ金額　金一百圓一千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　大正四年一月迄元金ヲ据置キ同年二月ヨリ向フ十二箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回ニ抽籤ノ方法ニヨリ毎回六千圓以上ヲ償還ス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第七回社債
一社債ノ總額　金九万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十年七月迄元金据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回金六千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第八回社債
一社債ノ總額　金四万九千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年六分三厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十年七月迄元金ヲ据置同年八月ヨリ向フ十五箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第九回社債
一社債ノ總額　金三万五百圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十一年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ向フ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ヲ以テ毎年一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第二十回ノ乙社債
一社債ノ總額　金十六万二千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年五分四厘
一社債償還ノ方法及期限　大正十五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ八箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金一万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第二十五回社債
一社債ノ總額　金五十八万五千圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万五千圓以上ツツノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第二十六回社債
一社債ノ總額　金二十二万五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第三十六回社債
一社債ノ總額　金五十九万二千五百圓
一各社債ノ金額　金五百圓五千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和三年十一月三十日迄元金ヲ据置同年十二月ヨリ十箇年以內ニ毎年五月十一月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万五千五百圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第三十八回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年七分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年九月迄元金ヲ据置同年十月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第三十九回社債
一社債ノ總額　金四十八万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分七厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回金二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同第四十回社債
一社債ノ總額　金一百九十三万一千圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分五厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和四年八月迄元金ヲ据置同年九月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回七万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十二回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額

一同第四十三回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十三回ノ乙社債
一社債ノ總額　金七万四千圓
一各社債ノ金額　金一千圓五千圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年九月一日ニ金二万七千圓同六年九月一日ニ金四万七千圓ヲ償還スルモノトス但本資金ニヨル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタル時ハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十四回社債
一社債ノ總額　金一百五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和五年三月迄元金ヲ据置同年四月ヨリ十箇年以內ニ毎年三月九月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回五万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十四回ノ丙社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月一日迄但シ昭和五年二月一日以前ニ本資金ニヨル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年二月一日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十五回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十六回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年一月迄元金ヲ据置同年二月ヨリ十箇年以內ニ毎年一月七月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回一万七千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十七回ノ乙社債
一社債ノ總額　金十一万圓
一各社債ノ金額　金一万圓
一社債ノ利率　年五分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年三月二十日迄但昭和五年三月二十日以前ニ本資金ニ依ル貸付金ノ償還アリタルトキハ昭和五年三月二十日ニ於テ其ノ金額ヲ償還ス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十八回社債
一社債ノ總額　金一百万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三万五千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同預第一回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ因リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同預第二回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同預第三回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同第四十九回社債
一社債ノ總額　金五十万圓
一各社債ノ金額　金一百圓五百圓一千圓五千圓
一社債ノ利率　年六分
一社債償還ノ方法及期限　昭和六年八月迄元金ヲ据置キ同年九月ヨリ八箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回二万圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但臨時償還スルコトアルヘシ
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一同預第四回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年二月迄元金ヲ据置同年三月ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同預第五回社債
一社債ノ總額　金六万八千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ其翌月ニ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
一同預第六回社債
一社債ノ總額　金十万圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年四分八厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和七年三月一日迄元金ヲ据置同年三月二日ヨリ十五箇年以內ニ毎年二月八月ノ二回ニ抽籤ノ方法ニ依リ毎回三千圓以上ノ金額ヲ償還スルモノトス但本資金ニ依ル貸付金償還高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還スルモノトス
一各社債ニ付キ拂込ミタル金額　全額
右昭和五年十月二十八日登記

◎株式會社日本勸業銀行（支店）社債

第三回割引
一社債ノ總額　金一千万圓
一各社債ノ金額　金二十圓
一割引歩合（利率）　最終償還ノモノニ於テ眞割引ノ方法ニ依リ年三分八厘三毛ノ半箇年複利ニ相當ス
一社債償還ノ方法及期限　元金ハ昭和五年十二月三十一日迄据置キ同年同月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ其後毎年二回（六月十二月）抽籤ヲ爲シ毎回金五万圓以上ヲ各其翌月ニ償還シ十八箇年以內ニ全額ヲ償還ス但シ最終ノ償還抽籤ハ昭和二十三年十二月之ヲ執行シ殘額全部ヲ償還スルモノトス倘買入消却ヲ爲シ又ハ抽籤ニ依リ臨時ニ償還スルコトアルヘシ償還抽籤ノ方法ハ債券一組ノ籤數ニ依リ執行シ其當籤シタル番號ヲ各組ニ通用スルモノトス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
右昭和五年十月三十日登記

◎合名會社設立

一商號　合名會社加茂川
一本店　熊本市草葉町二十六番地
一目的　牛肉豚肉鷄肉販賣ノ卸賣及ヒ小賣業並ニ料理店業及ヒ之ニ附帶隨スル一切ノ業務
一設立ノ年月日　昭和五年十月十六日
一代表社員ノ氏名　福井吟次郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及ヒ價格
一商品六點比評價格金八百五十七圓六十四錢
一什器四十四點比評價格金五千三十一圓六十錢
一賣掛代金六千三百七十八圓五錢
一宅地百十三坪三合四勺　熊本市草葉町二十五番ノ一
一宅地百十三坪四合同所同番ノ三
一宅地七十四坪二合五勺同所同番ノ四
一宅地六十六坪熊本市內坪井町五十九番
一宅地百六坪六合熊本市大江町本字北原二百四十五番ノ二
一宅地百四坪同所字同二百四十番ノ二
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪四十三坪八合外二階三十三坪熊本市草葉町二十五番所在
一木造トタン葺平家住家一棟建坪四坪九合熊本市草葉町二十五番ノ一

第1192号 付録

第1192号　付録

一木造瓦葺二階建住家一棟建坪二十七坪二合
外二階十八坪一合右同番所在
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪十五坪六合外
二階十一坪二合右同番所在
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪十二坪八合外
二階廿二坪八合右同番所在
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪二十七坪二合
外二階建九坪九合右同番所在
一木造瓦葺平家建住家一棟建坪十九坪二合熊
本市内坪井町五十九番所在
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪二十六坪外二
階九坪三合　熊本市大江町本字北原二百四十
五番ノ二
一木造瓦葺二階建住家一棟建坪三十六坪九合
外二階十一坪三合右同番ノ二所在
此評價格合一万八十二圓七十一錢
一福井吟次郎　熊本市草葉町二十六番地
一金八百圓　福井安以　同所同番地
一金九百五十圓　福井吉次郎　同所同番地
一金九百圓　福井善男　同所同番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和五年十月三十日登記

◎商號新設
一商號　ラジウム温灸院
一營業ノ種類　温灸器械ノ製造販賣及灸ノ販賣
一營業所　熊本市上通町四丁目五十七番地
一商號使用者ノ氏名住所　河野義　東京市神田區花房町三番地
右昭和五年十一月一日登記　熊本區裁判所

◎合資會社森民魚市場變更
一存立ノ時期設立ノ日ヨリ滿十箇年トアルヲ昭和十五年六月三十日迄ト變更ス
右昭和五年十月三十一日登記　山鹿區裁判所

◎合資會社久保風月堂解散
昭和五年八月二十七日無限責任全社員退社ニ因リ解散ス
右昭和五年十月三十日登記　人吉區裁判所

◎合資會社設立
一商號　合資會社小西商店
一本店　囎唹郡志布志町志布志三千六十二番地
一目的　吳服反物販賣
一設立年月日　昭和五年十月二十八日
一代表社員　小西文平
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及出資額
土地四筆建物一棟（此價格金四千圓）商品一切（此價格一万圓）無限　小西文平　囎唹郡志布志町志布志三千二十四番地
金三千圓　有限　小西文一　同所同番地
金二千八百圓　有限　小西ヨネ　同所同番地
金二千五百圓　有限　小西幸子　同所同番地
金千圓　有限　岩重鐵二　同所二千七百八十八番地
金二百圓　有限　田中信義　同所二千五百七十三番地
勞務　有限　河村半次郎　同所三千六十二番地
一存立時期　十五年
昭和五年十月三十一日登記　鹿屋區裁判所志布志出張所

◎清武株式會社變更
取締役湯地彌三郎ハ昭和五年十月四日死亡シタリ
右昭和五年十月十五日登記

◎株式會社宮崎銀行變更
取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
右昭和五年十月二十七日登記

◎宮崎製糸株式會社變更
取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
昭和五年十月三十一日登記　宮崎區裁判所

◎株式會社宮崎銀行變更（支店）
一取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡ス
右昭和五年十月二十九日登記　宮崎區裁判所高鍋出張所

◎株式會社宮崎銀行變更（支店）
一取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
右昭和五年十月三十一日登記　宮崎區裁判所高岡出張所

◎株式會社宮崎銀行變更
取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
右昭和五年十月二十九日登記　飫肥區裁判所

◎株式會社宮崎銀行變更（支店）
取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
右昭和五年十月二十九日登記　都城區裁判所

◎合名會社設立
一商號　合名會社城戸自働車商會
一本店　宮崎縣東臼杵郡延岡町大字船倉町五番地六十九
一目的　自働車部分品並ニ附屬品及修繕販賣購買ヲ營ムコトヲ目的トス
一設立ノ年月日　昭和五年十月二十七日
一代表社員ノ氏名　城戸福治
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　金三千圓　城戸福治　宮崎縣東臼杵郡延岡町大字船倉町五番地六十九　金千圓　城戸八百吉　宮崎縣東臼杵郡延岡町大字恒富北二千六百八十二番地　金千圓　松田豐治　宮崎縣東臼杵郡延岡町　大字祇園町三百五十七番地三
一存立ノ時期　會社設立ノ日ヨリ滿十箇年

◎商號株式會社宮崎銀行變更（支店）
一取締役綾部千平ハ昭和五年十月二十日死亡シタリ
右昭和五年十月三十日登記　延岡區裁判所

◎合資會社村上商店變更
昭和五年十月二十六日無限責任社員村上勝利ハ總社員ノ同意ニ因リ其出資ノ持分全部ヲ社員村上カンニ讓渡退社　村上カンノ出資額ヲ金八千二百圓ニ變更　有限責任社員村上富貴雄ハ其責任ヲ無限ニ無限責任社員近藤爲一ハ其責任ヲ有限ニ何レモ同日變更　代表社員ヲ無限責任社員村上富貴雄ト變更ス
右昭和五年十月三十日登記　延岡區裁判所瀧下出張所

◎妻登記
妻ノ氏名住所　池村千代　宮古郡平良町字西里三十七番地ノ五
營業ノ種類　藥品賣藥請賣業並雜貨商
營業所　宮古郡平良町字西里三百一番地
右昭和五年十月二十七日登記　平良區裁判所

◎涌谷合同運送株式會社
一監査役内藤泰助ハ昭和五年十月十九日死亡ス
右昭和五年十一月一日登記　古川區裁判所涌谷出張所

◎株式會社郡山合同銀行變更（支店）
一取締役小池鏡ハ昭和五年十月二十四日辭任ス
昭和五年十一月一日登記　福島區裁判所本宮出張所

◎小濱自働車株式會社（變更）
昭和五年十月三十日左記ノ者會社代表取締役ニ選任セラレタリ
　高濱國保　安達郡小濱町大字小濱字藤町六十二番地
右昭和五年十一月一日登記　福島區裁判所小濱出張所

◎合名會社（設立）
一商號　合名會社宍戸醬油釀造店
一本店　伊達郡富野村大字舟生字馬坂五十七番地
一目的　味噌醬油ノ釀造販賣業製粉業精米業養蠶業以上ノ事業ニ附帶スル一切ノ業務
一設立ノ年月日　昭和五年十月三十日
一代表社員ノ氏名　宍戸忠兵衞
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
金五千圓　宍戸忠兵衞　伊達郡富野村大字舟生字馬坂五十七番地　金一千圓　宍戸ワキ　同上同番地　金一千圓　宍戸ヤス　同上同番地　金一千圓　宍戸登　同上同番地
一存立時期　設立登記ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和五年十一月一日登記　福島區裁判所梁川出張所

◎御藏入電氣株式會社變更
一取締役佐久間寅之助　長谷川源太郎　青柳五郎　長谷川三四郎　長谷川覺滿　山内善太郎　長谷川佐重ハ昭和五年十月三十日重任シ　左記ノ者同日取締役ニ就任ス
　船城利平次　大沼郡川口村大字玉梨字上中井千二百八十九番地
一會社ヲ代表スヘキ取締役　佐久間寅之助
右昭和五年十月三十一日登記　若松區裁判所川口出張所

◎合資會社設立
一商號　合資會社佐藤商店
一本店　福島縣石城郡泉村大字瀧尻字上谷地三十七番地
一目的　精米雜穀肥料雜貨一般木炭ノ買入販賣並ニ之レニ附帶スル業務
一設立年月日　昭和五年十月三十日
一代表社員ノ氏名　佐藤一平　佐藤要
一社員ノ氏名住所出資價格及責任
一勞務　無限　佐藤一平　石城郡泉村大字瀧尻字上谷地三十七番地
一金一千八百圓　無限　佐藤要　同郡同村大字同字同番地
一金二百圓　有限　佐藤市治　同郡同村大字同字同番地
一金一千圓　有限　吉田正造　同郡同村大字同字根ノ町百九番地
一存立時期　定款作製ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和五年十一月一日登記　平區裁判所小名濱出張所

◎濱田酒造合資會社支店廢止（支店）
昭和五年十月二十二日左ノ支店ヲ廢止ス
　東村山郡出羽村大字七浦四百九十五番地
右昭和五年十一月一日登記　山形區裁判所

雜報

374

農村と農家の公租公課の負擔狀況

農林省農務局

（一）緒　言　本調査は農村の不況に際し、農家の公租公課の負擔が、各方面の問題となりつゝあるに際して、參考資料としてこれが最近の狀況を調査したものであつて、以下便宜上農村全體の負擔狀況と、農家個々の負擔狀況とに分つて、その大要を述べることにする。

前者即ち農村全體の負擔狀況は、主として稅目別に農村が幾何を負擔しつゝあるかを、示さんとするものであつて、これが調査については全國各府縣に照會して、その地方に於て中庸と認められる、農村一箇村を選定して、その昭和四年度の負擔狀況の報告を徵した次第である。たゞ集計の際、その材料中やむを得ず、東京、北海道（特殊地方のため）、山梨、和歌山、長崎（報告延著のため）五道府縣を除いたため、四十二箇村の資料について記述することにする。

後者即ち農家個々の負擔狀況については、極めて精密な調査集計を要し、特別にこれが調査を行ふことは困難であるから、こゝには從來より農林省に於て、道府縣農會をして調査させて來た、農家經濟調査資料により、昭和三年度分即ち昭和三年二月より、昭和四年一月までの全國四十戶の自作農家の負擔狀況について調査したものである。

（二）農村全體の負擔狀況　全國四十二箇村の農村について、昭和四年度の國稅、府縣稅、村稅、諸負擔を見ると、一箇村平均負擔總額は、七万九百七十三圓四十二錢に達し、國稅はその全額の一六%二七で、一万一千五百四十八圓六十二錢、府縣稅は二九%〇三で、二万六百四圓十錢、村稅は四〇%一五で二万八千四百九十六圓六十九錢、その他諸負擔は一四%五五で一万三百二十四圓一錢となつてゐる。即ち村稅最も多く、府縣稅、國稅、諸負擔の順で、租稅のみで六万六百四十九圓四十一錢、全負擔の八五%四五に相當してゐる。

今以上の內容を各稅目每に細分すると、別表の通りになる。（別表農村の公租公課負擔狀況表參照）

なほ、租稅總額と各種租稅との割合について見れば、國稅は租稅總額の一九%、府縣稅は三四%、村稅は四七%となり、國稅に比し地方稅の負擔は非常に高位を占めてゐる。

國稅のうち、地租は金額の一二%二六で、うち田租は最も多く九%五五である。なほ、地租を基礎とする國稅、府縣稅、村稅に於ける地租附加稅、特別地租等は、次の如く相當多額を占め、農村負擔の中心をしてゐることが解る。

	圓	負擔總額に對する割合 %	地租、地租附加稅總額に對する割合 %
國稅　地租	八、七〇〇・〇九	一二・二六	三二・六七
府縣稅地租附加稅	一〇、五一〇・七二	一四・八二	三九・五一
同　特別地稅	九三五・五六	一・三二	三・五一
村稅地租附加稅	五、八六四・三七	八・二六	二二・〇二
同特別地稅附加稅	六〇九・四九	〇・八六	二・二九
計	二六、六二〇・二三	三七・五三	一〇〇・〇〇

本表によれば、土地に對する公租公課は全負擔の三七%五三を占め、そのうち府縣稅地租附加稅が最高で三九%五一である。

府縣稅は國稅附加稅、家屋稅、雜種稅が根幹をしてゐる。即ち府縣稅二万六百四圓十錢の內譯を示すと次の通りである。

	圓	府縣稅總額に對する割合 %
國稅附加稅	一一、八三二・四一	五七・三七
家屋稅	三、二二六・六〇	一五・六一
雜種稅	四、一八四・八三	二〇・三一
特別地租	九三五・五六	四・五四
營業稅	四四四・七〇	二・一七
計	二〇、六〇四・一〇	一〇〇・〇〇

なほ、雜種稅の農村に於ける、主なるものは自轉車稅、荷車稅、水車稅、自動車稅、電柱稅、畜犬稅、狩獵稅、不動產取得稅、建築稅である。

村稅は總負擔額の四〇%一五に當り、國稅附加稅、府縣稅附加稅、戶數割を中心としてゐる。今その內譯割合を見ると、次の通りである。

	圓	村稅總額に對する割合 %
國稅附加稅	六、三二六・〇二	二二・一九
府縣稅附加稅	五、六七二・一二	一九・九〇
戶數割	一六、四一六・五六	五七・六〇
その他	八一・九九	〇・三一
計	二八、四九六・六九	一〇〇・〇〇

本表によれば、村稅中戶數割は全體の半額以上、全負擔額の二三%一三に該當してゐる。從つて、戶數割は地租と共に、農村負擔の根幹をなし、かつ本稅は全農家に負擔せしめられるのであるから、農家の負擔としては、實に重要なる地位を占めてゐる。

以上租稅のほか諸負擔として、農會費、水利組合費、協議會費等が全負擔の一四%五五、即ち一万三百二十四圓一錢であり、水利組合費と協議費とが最も高位を占めてゐるが、全負擔からいふとさしたる額には達してゐない。その他のうちには衞生組合費、養豚組合費、耕地整理組合費、養蠶組合費、養鷄組合費、煙草耕作組合費、畜產組合費等がある。

以上擧げた四十二箇村は、元より中庸の農村を撰擇したものであるが、參考のために、その狀況の概略を擧げれば、左の通りである。

		四十二箇村平均	割合
農家戶數	農業	戶 五五六・五	% 七二・九
	工業	四六・七	六・一
	商業	六八・〇	八・九
	その他	九二・一	一二・一
	計	七六三・四	一〇〇・〇
人口	男	人 二、二〇七・四	四九・八
	女	二、二二三・七	五〇・二
	計	四、四三一・一	一〇〇・〇
土地面積	田地	町段 四五一・九	三九・四
	畑地	二〇七・三	一八・一
	宅地	四八・二	四・三
	山林原野	四一八・九	三六・五
	その他	一九・九	一・七
	計	一、一四六・二	一〇〇・〇

以上の狀況に對して、前記農村負擔をみるに、一戶當および一人當平均各稅は次の通りである。なほ、農家一戶當耕地面積は、田八段一畝、畑三段七畝、計一町一段八畝となる。

農村一戶割負擔額
國稅　十五圓十三錢　府縣稅　二十六圓九十八錢　村稅　三十七圓三十三錢　諸負擔　十三圓五十三錢　計九十二圓九十七錢。

農村一人當負擔額
國稅　二圓六十錢　府縣稅　四圓六十五錢
村稅　六圓四十三錢　諸負擔　二圓三十二錢
計　十六圓。

第1192号 付録

農村の公租公課負擔狀況表（昭和四年度分）（全國四十二箇村平均、%は全負擔額に對する割合を示す）

- 負擔總額　七〇、九七三・四二円（一〇〇%〇〇）
  - 租稅總額　六〇、六四九・四一円（八五%四五）
    - 國稅　一一、五四八・六二円（一六%二七）
      - 地租　八、七〇〇・〇九円（一二%二六）
        - 田租　六、七七六・四七円……九・五五%
        - 畑租　九一四・二八……一・二九
        - 宅地租　九四一・五七……一・三三
        - 雜地租　六七・七七……〇・〇九
      - 所得稅　二、三〇一・六七……三・二四
      - 營業收益稅　五一三・二二……〇・七二
      - 資本利子稅　三三・六四……〇・〇五
    - 府縣稅　二〇、六〇四・一〇（二九%〇三）
      - 國稅附加稅　一一、八二三・四一（一六%六五）
        - 地租　一〇、五二〇・七五……一四・八二
        - 所得稅　九三一・一一……一・三一
        - 營業收益稅　三七〇・五五……〇・五二
      - 獨立稅　八、七八一・六九（一二%三八）
        - 家屋稅　三、二一六・六〇……四・五三
        - 特別地租　九三五・五六……一・三二
        - 營業稅　四四四・七〇……〇・六三
        - 雜種稅　四、一八四・八三……五・九〇
    - 村稅　二八、四九六・六九（四〇%一五）
      - 國稅附加稅　六、三二六・〇二（八%九一）
        - 地租　五、八六四・三七……八・二六
        - 營業收益稅　四六三・三六……〇・六五
        - 所得稅　〇・二九……—
      - 府縣稅附加稅　五、六七二・一二（七%九九）
        - 特別地租　六〇九・四九……〇・八六
        - 家屋稅　一、五〇〇・三二……二・一一
        - 營業稅　三四九・二二……〇・四九
        - 雜種稅　三、二一三・〇九……四・五三
      - 獨立稅　一六、四九八・五五（二三%二五）
        - 戶數割　一六、四一六・五六……二三・一三
        - 其の他　八一・九九……〇・一二
  - 諸負擔　一〇、三二四・〇一（一四%五五）
    - 農會費　二、五一八・三二……三・五五
    - 水利組合費　三、四〇六・〇八……四・八〇
    - 協議費　三、〇〇八・二五……四・二四
    - 其の他　一、三八九・三六……一・九六

負擔總額に對する割合　100%

獎健會主催のスキー無料教授

▼期日　本年十二月二十七日から六年一月二日まで。

▼場所　妙高溫泉スキー場。

▼目的　スキーは滑れなくては面白くない。まただん／＼と上手になるところに、いふにいはれない興味がある。

スキーは一寸指導を受けただけで、見違へるほど上達する。そこで、本會は、初心者に一日も早く愉快に滑れる様に。熟練者にはさらにいろ／＼な高等技術を覺える様に。男にも女にも老人にも、子供にも眞にスキーの醍醐味を味はへる様にといふ趣旨で無料教授を催すことにした。

▼講師　石川縣體育協會指導員宮下カネヨ　全日本スキー聯盟常務委員小川勝次　全日本學生スキー聯盟理事泉翔次郎　鐵道省運輸局河上壽雄　全日本學生スキー聯盟理事中川新　同麻生武治　同委員小松長司　獎健會主事出口林次郎の諸氏。

▼教授要項　教授を受けたい希望の方は、右期間中スキー場にゐる、當會係員に口頭で姓名を告げ、「マーク」を受領の上遠慮なく右の講師につき教授を受けること。講師は胸に「獎健」のマークをつけてゐる。

またマークを帶びてゐる者には、講師の方から隨時隨所で各人の缺點などを正し、その他スキーに關する一際の質問及び相談に應ずる。（文部省體育課內獎健會）

石油についての知識（その四）

燃料協會

▼用途　石油の用途としては色々あるが、熱用と動力發生用がその主なるものである。

動力用として石炭と異なる點は、石油は多く移動しつゝ動力の發生を要する場合に使用されることである。飛行機、自動車、發動機船、魚船等に最も多く使はれるのは、左の諸點が石炭よりも優つてゐるからである。

一、液體であるから管を通じて自由に取扱ひ得るのみならず、その調製が極めて簡易　二、同一重量をもつて比較すれば、石炭よりも發熱量が多いから動力の發生が大きい　三、取扱に人力を節し得る上に、效率が大であるから經濟上極めて有利　四、石炭の如く必ずしも一度蒸氣を發生してからでなければ、動力を發生し得ないのでなく、自動車またはディーゼル機關の如く爆發によつて直に動力とすることができる　五、流動性であるから船舶等では如何なる空所にも貯へられる　六、燃やした時少しも灰を出さないために、これが除去に要する費用を節約できる。

以上は移動性の機關に於て、石油がよろこばれる主なる理由であつて、また商船軍艦等は快速力を尊ぶために石油を必要とするのである。これ等の諸點はまた陸上の機關に於ても、同樣に石油を要する理由となつてゐる。殊に（一）、（三）、（四）は小發電所灌漑用水の配給等の場合に石油の需要がます／＼多くなるわけである。

揮發油需要の急增は、もちろん自動車の增加であつて、內務省警保局の調査によると、その臺數は乘用貨物用を合して、大正十三年には一万七千二百餘臺であつたものが、十五年には四万七千臺、昭和三年には六万六千三百餘臺となつてゐる。これ以外に自動自轉車の數が、昭和二年に於て約一万七千臺ある。自動車每年の增加は約一万臺、自動自轉車は約三千臺、その上その利用率が增加して來るから、揮發油需要量增加の觀測にも相違を來たすのである。

今これを東京市內だけで見ると、最近一箇年四千臺の自動車が增加するが、內一千臺は廢車その他として見るも、一年に三千臺の純增加があり、一臺平均一日五十マイルの利用率としてかつ一ガロンの揮發油で平均十五マイル走り得るものとして、一年間に約二千五百立の需要が增加する譯である。從つて一年間に一万臺の自動車が增加すれば、六千六百万立の增加を要することになる。さらにその走行距離も增しかつ地方乘合自動車等に、高級車を使用する傾向の盛んなる點から見て、一ガロン十五マイルは困難と見られ、加ふるに自動車の增加率が一年に一割の差が起れば、それだけ揮發油消費量が增すのであるから、一年に五十万石即ち一億立の增加を豫定しても、なほ不足であるといふ說が出るのである。

重油の需要は船舶燃料であるが、そのうち殊に注目すべきは、ディーゼル船と發動機船の增加である。農林省水產局調べによる發動機附漁船の統計によると、大正十一年七千隻、十万トンに對し、昭和元年には一万五千隻十六万トン、昭和三年には二万一千隻十九万トンといふことになつてゐる。また旅客貨物等八千トン七十九隻で、昭和四年末には七十九隻の二十一万六千トンである。

燈油はその名の示す通り、燈火用に供されてゐたが、現在では燈明臺とか鑛山とかの、特別なところでなければ使はれてゐない。現在の燈油は家庭用の廚爐、ストーブ等がその最大な用途であつて、モーターボート、發動機船等にも使はれてゐるが、これ等は燈油の總需要量の十分の一にも充たない程である。しかしながら、昭和三年の燈油消費量が三百八十万函であつて、そのうち、三百万函が外國からの輸入であり、純國產は僅かに八十万函であることは、相當考慮を要する問題である。今外油から製造した燈油の四十六万函を、製品輸入の三百万函に加へて、三百四十六万函が輸入品であつて、その八割が家庭用に供せられてゐるものと推定すれば、二百七十四万函の輸入石油が家庭で消費されるといふことになる。一函四圓として合計一千万圓の巨額である。

機械油の用途は說明を要さないが、機械の進步につれて要求される、機械油の種類も增加しつゝあることを忘れてはならない。飛行機の進步に對してわが國もその製作上には相當の進展を見、また運轉上にも多數の人材を出して來てゐる樣であるが、生命ともいふべき燃料はもちろん、機械油の自給もなし得ない狀況である。自動車にしてもほゞ同樣であつて、乘客と運轉手は日本人であるが、運轉に必要な車體、揮發油、機械油の大部分は外國品である。寫眞が進步して、多數の藝術寫眞もでき、また文化の一助ともなつてゐるが、直接に國產のものは光線と水とのみであるといふ、皮肉な批評は飛行機や自動車の上にもなし得るのである。

重油の用途は、艦船の燃料ばかりでなく、ディーゼル機關の發達と共に、この需要が增進するのは、前に述べた通りであるが、さらに、一面製鋼工業、陶磁器の製造方面に及び、殊に最近大都市のビルヂングの暖房用としても採用されつゝある。

要するに、石油類の用途は、その性質上移動性を有する機關の動力發生に、最も便利なために、急に需要を增加したものであるが、さらに人力及び面積の節約、取扱簡便、效率增進のために、靜止せる機關その他にも用途が急速に開拓されつゝある現狀であつて、石油の需要は今後年と共に、ます／＼急進的に增加するのであらうから、これが補給はます／＼困難となる譯である。この問題に對する攻究解決はいよ／＼必要のことが解るのである。（をはり）

十年振の物價ガタ落

＝お正月の食膳は樂に賑はん＝

底の知れない深刻な不景氣裡に、一九三〇年も暮れやうとしてゐる。歲末を控へて市井の隨所にたへ難い悲劇を生んで、歲末氣分が漸く濃厚になつて來た。

日用主要品物價は、實に十何年振りかのガタ落ちで、お正月用の主要食料品も、近年にない暴落振りである。

お正月の餅、蜜柑、或は歲末年始の贈答品用新卷鮭等と、確定的なことではないが、現在の相場から推して、歲末の相場について、商工課の調査したお話。

餅の相場…糯米は豐作…今年は近縣の上糯米場所が、作付が非常に多く、品質もよくできてゐる。東北地方のできは、近縣地方に較べて、やゝ劣るが、例年に比して作付け品質共によくできてゐる。

近縣上糯や東北もの丶外に、臺灣の臺北糯米の買付及び約束等が約六、七万石入荷する豫定になつてゐるが、しかしこの種の糯米は劣等品であるから、使用方面に制限されてゐるが、この臺北米の出來値如何によつて、上糯米の値段にも相當影響を來たすこと丶思へる。

上糯は、單價は高いが、餅に加工する時はその量目が多くなるだけでなく、食味に於て臺北米などは比べ物にならない。餅の相場であるが、昨年末ののし餅一枚重量は、搗上り直後二キロ五百グラムで六十九錢であつたが、本年は五十錢或はそれ以下に賣れるだらうと豫想する。大體が四十錢から五十錢のところだと考へられる。

消費者への注意　單價の安いものは煮た後でとけてしまうので、結局高いものになるから、上糯を信用ある店から購入するのが經濟である。

蜜柑……果物の王座を占める……大衆的の果物としてその王座を占めてゐる。從つて消費量の點からも一番多いのである。日本人は外國人ほど果物を消費しない國民ではあるが、獨り蜜柑だけは貧富の差別なく、大に消費されてゐる。東京市だけでも、卸賣値段で年七百万圓內外。蜜柑は一箇十四錢位から三、四厘まであつて値段は極端の開きがある。

東京市に來る蜜柑供給地は、古い傳統を持つ紀州と靜岡、神奈川、廣島、愛媛等で、最近鹿兒島及び大分の一部から入荷を見る。

暮の相場は、現在の荷動きや相場から推して、歲末の相場を大膽に思つて見ると、九月、十月及び十二月（上旬）は、昨年に比して三割方安く、强いものは四割方安値であるから、暮が來ても相當安値を呼ぶものと考へられる。この樣に安値を呼ぶの原因は、財界不況による購買力の減退と今年は押しなべて豐作年（各產地平均一割方）であつたからである。歲末が近づけば一時的にい丶相場があると思ふが、例年より二、三割の安値で押し通すのではないかと思はれる。

今年は小箱一圓五十錢といふと、飛び切りの上品で、八、九十錢が普通相場である。

蓮根が馬鹿安　特にお正月の蔬菜といふものではないが、蓮根の如きはお正月になると、消費量が一番よけいに出るものである。ところが、この蓮根が今年はお話の外の相場で、十月の如きは昨年の八割安といふ、お話にならない安値であつたが、これも歲末に近くなるのに從つて幾分盛り返しはしやうが、大したことはなく、結局蔬菜類に押しなべて安いのではないかと思はれる。

鮭……新卷鮭の相場……鮭には堅物と軟物（鹽引と新卷）の二種類がある。

贈答用としては新卷の方が多いが、これにも內地物とカムチヤツカ物とあつて、內地もの丶うちで一番よいのは根室や北見產等で、カムチヤツカものは、これ等に較べてずつと劣る。

今年は、各鮭共去年に比して、つい最近まで殆んど昨年同期の半分値であつたが、最近少しもち直して來て、各品ともいくらか値段が上つて來た。今までのところでは、十貫目二十五圓乃至三十圓もしてゐたものが、現在の相場を見ると、內地產の上物が二十圓以下で、カムチヤツカ物は八圓位、年末までには多少の變動を見るのであらうが、大體この調子で僅かに上下する程度のものではないかと見られてゐる。

鹽鮭の見分け方　量目がほんとうの鮭の量目であること。腹の中や鰓の中に鹽が澤山入れてないもの、品質の方からいふと、先づ押して見て、相當ふつくらした感じのもの。內地のものは、胸の皮が厚く、押して見て手答がふつくらと來る。そして、腹にさびがなく見事な銀色。

鮭の顏がやゝ圓味を帶びているのが內地、登想で尖つてゐるのがカムチヤツカ。

數の子と田作　數の子は本年は量が少くて一般に高くなつてゐるが、しかし昨年ほど高くないだらうとの見込。田作も本年は不漁で品薄であるから、昨年と同じ位か、昨年以上の高値を呼ぶかも知れない。（東京市役所商工課の談）

最近刊行　官廳圖書目錄抄報

左の抄報は各官廳近刊書中當局へ到著分の一部

◉（英文）日本財政經濟年報　昭和五年　（大藏省）
內閣印刷局發賣（麴町區丸ノ內）　二圓　郵共
◉小賣物價調査月報　一〇月分　（商工省）
日本商工會議所發賣（麴町區丸ノ內）　（二錢　郵二錢）
◉トラホーム檢診成績　（內務省）
◉職業紹介年報　昭和四年　（中央職業紹介事務局）
◉司法一覽　（司法省）
◉文部省教育映畫時報　特輯號　（文部省）
◉帝國學士院紀事　第六卷第八號　（文部省）
◉東京工業試驗所年報　昭和四年　（商工省）
◉第三十七回貯金局統計年報　昭和四年度　（遞信省）
◉現業調査資料　第四卷第六號　（鐵道省）
◉臺灣事情　（臺灣總督府）
◉昭和四年關東州貿易統計　（關東廳）
◉警察實務教科書　第一卷　（警視廳）
◉道米の知識　（北海道廳）
◉千葉縣の麥統計　（千葉縣）
◉栗樹栽培手引　（山梨縣）
◉福井縣學事要覽　（福井縣）
◉篤農家懇談會要錄　（石川縣）
◉昭和五年度生徒兒童身體檢查統計表　（島根縣）
◉漁業組合並漁業組合聯合會狀況調　（愛媛縣）
◉福岡縣小麥檢査の概要　昭和四年度　（福岡縣）
◉產業組合要覽　（佐賀縣）
◉昭和四年宮崎縣の生產額　（宮崎縣）

なほ各官廳刊行物の全部及びその內容についての詳細は當局發賣の「官廳刊行圖書目錄」に掲載されてゐる

◈ 前週の官報に ◈

◉市街地建築物法適用區域の件中改正（勅令）　八日
◉宗教、國寶保存および史蹟名勝天然紀念物保存に關する報告例（文部省訓令）　八
◉昭和六年各官立高等學校高等科に入學せしむべき生徒概數その他（文部省告示）　八
◉特命全權大使、外務次官および特命全權公使異動（敍任および辭令）　八
◉十月の十三都市卸賣物價概況（彙報）　九
◉陸軍佐尉官異動（辭令）　一〇
◉十一月末日現在大藏省預金部狀況（同）　一〇
◉內地米銘柄別買入豫定數量および買入價格（農林省告示）　一二
◉昭和五年國勢調査の結果概要（彙報）　一二
◉帝國全版圖の人口概數（同）　一二
◉「クリスマス」および新年祝賀特別外國電報規則による祝賀電報を發受することを得る地名（遞信省告示）　一三
◉十一月末の紙幣および銀行券流通高（彙報）　一三

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

第1192号 付録